降矢静夫光岑書簡集

最後の山村農人からの贈物、希望

刺繍　山里の四季（予定 2020）

降矢静夫光岑書簡集：最後の山村農人からの贈物、希望

はじめに

雑穀の調査研究に山梨県上野原市西原を訪れて以来 30 年近く、山村農について降矢静夫光岑老師から教えを受けた。降矢夫妻は私より 40 歳ほど年長であったが、若輩を大切にもてなしてくださった。誠実な人生から、どれほどに励ましを受け、勇気を与えられてきたことか。今にしてもこの想いは変わらず、真の教養とは何かを身をもって導いていただいたのだと感受している。

ここに長らく親交を結び続けた降矢静夫師の編者個人宛書簡を公開することにした。そのわけは 20 世紀後半の貴重な農事記録であるからだ。また、調査者が聞き取り、記録した文書ではなく、本人が記述された手紙（283 通）で、とても貴重な山村農の生活資料だと考えた。山村農人の教養は絶望的な世間にあって、パンドラの壺に残された希望のようなものだ。ありきたりに、過去が良いとか、過去に戻れとか言っているのではない。素のままの自然に添い、美しく暮らした山村農人の生活史から学ぶことはとても多いと言いたいのだ。

俳句や漢詩は赤紫色で示してある。個人情報にあたる部分は削除して、出来る限りの内容を公開する。文脈に若干のずれがある個所は削除した部分とご理解いただき、ご寛恕願いたい。個人情報でも削除しなくても良いと考える場合は、個人名をそのまま、あるいは ABC で示した。旧仮名遣い、旧漢字、送り仮名、誤字、脱字等もあるが、独自の語感があるので、できるだけ原文に即して記録した。崩し字で読めない字は〇で代替している。

なお、対談を録音し（約 120 時間）、文書化した記録は別に公開する予定である。

2020 年 7 月 20 日

書簡記録

1/1976. 10. 16

刈干柴刈りされど蜂の威は弱し。光岑。ご丁寧なお便り御礼申し上げます。皮肉か農林省の喜ぶ冷害の秋になりました。私も夜長を静かにもの思ひまた読書を楽しんでいます。農閑期に石仏でも訪ね歩き、いいものがあったら撮って戴きたいと思ひます。西原単位に生きていますが、未知の世界が一杯です。その世界え何処まで行けるか？是非又御出掛け下さい。御検討を。愛知県木花の木が紅葉しはじめました。この木が紅葉で一位の由です。毎年新しい木を一種求めています。御返を兼ねて、九日雨のつれづれに。敬具。

2/1977. 2. 8

引き続き寒が厳しく、困りますが、雪国や米国などから比すれば文句がありませんが、朝は 0.8～0.1 度が続き、日中でも 0 度の日があります。筆硯が夜は凍り、ペンにしました。奈良えお出掛けなによりでした。小菅より西原の方が雑穀類は多いでせう。旧桐原村西原東隣も雑穀が多い長寿村です。お約束の件、忙しくはないですが寒に弱い年齢になり、まだ探してもみません。矢張り農人はだめですね。僅かな小雪が 2 回降っただけですから、実行すれば出来ますが、御都合が出来ましなら、学校の休みにお越し下さい。雪が降れば日蔭はだめでしょうが。寒いと読むことも書くことも夜は仲々でテレビばかり夜は見てしまふ。日中は山の日向でのんびり仕事です。御厚志の写真有難う存じました。妻よりも宜敷しく御礼との由です。ご送信遅れました。お詫びします。野は荒涼鳥喰柿薄日して。光岑。

3/1977. 3. 21

梅の風日脚ののびの頼母しき。二月は小雪が時々あり、寒のためと存じましたらば意外な出来ごとの由、然しご本復のことと嬉しく思ひます。鶯も山峡でも鳴き、春を感じてきました。冬眠のような生活をつづけていた私も活動期に入りました。でも御心配なく御出掛けください。二月中の如くのんびりも出来ませんが、句の宗匠の百峰雅兄が地方区参議院選出馬です。農のかたわら援助です。私が若い頃短歌を楽しんで折々の木俣先生を連想されます。私には私のいるここの事がありますしね。お出掛けをおお待ちして御返信まで。敬具。

4/1977. 4. 6

都は桜花爛漫の春ですね。当地は梅花の盛です。桜の蕾が赤くなってきました。朝早くみそさざえが忙しく鳴きます。こうなると植林の植え付けの開始です。先日は合憎の天気でしたが、私は暇でいる時期でした。天気が好いと冬眠からさめた如く忙しくなります。晴耕雨読といふが雨読の方はむずかしい事です。萌芽なんだか希望の色ですね。年齢は忘れて頑張りたい。御都合して御出掛けください。晴天は桜見物の暇も得られず、雨だと遊んでいます。みそさざえ仕事の合図の如く。鳴く忙しげにみそさざえが朝鳴き、薯作り植林への励ましです。ご自愛専一にいづれ又お便りします。敬具。

5/1977. 4. 18

あくびして背のびする猫と雨の私。光岑。先般は期待に添えなかった事とお詫び申します。やっと平年並みの気候に復しました。書籍有難う存じました。小菅村長作の調査面白拝見。隣村だけに西原と大半は同じです。稲作以前は雨日ゆっくりと読予定です。和歌森先生の死去は残念でした。都留に何かをと期待していたんです。御都合してお出掛下さい。終日雨だと拙句の通りの生活です。盆栽の鉢替も八分終わりました。鉢

の桜が満開です。続いてつつじに移り早咲きが咲き出しました。萌芽から若葉と自然の法則は忙しいことです。ストの期になると桜は終りですね。御礼に添え雑文を。敬具。

6/1977.8.9

炎暑の候お元気ですか。咲きのぼる葵の花の炎天下。光岑。農繁期に入り、妻が弱くなり、参議選があり、地元となりまして(拙宅の上の家)西原より議員が生まれました。こんな事で岑子仕事は遅れ田畑は荒らしてしまい、句も作れず、盆栽も徒長になりました。雨期の低温のためか楓が秋の如く紅葉した鉢があります。只今やっと落着で午睡の機を得ました。御伺まで。稗ぬきを終えて山の子昼寝かな。光岑。

7/1977.9.19

楚々として雨にも耐えて今日の萩。雨の多い年で、11 号台風が来襲の様子、今日雨が強くなりました。その後、お体の御経過はいかがですか。神が休養を與えて下さったですが、何といっても空白が生まれますが、農子も長い病床生活の経験を持っています。負けずに心の修養を併せてお願申します。御見舞いの言葉として申し上げます。夏の長雨に陸稲は凶作で、只、水稲だけが雨に負けずです。昨年は祖母の葬式で春以来、からり、本年は長雨に狂はされて作物も盆栽も散々で、。でも標本も作れず、空白は農子も沢山あります。これが人間の生活でせう。一生涯崩れても崩れても築き上げる努力を続け、自分自身に勝ことが、尊い人生か？十七八日の村祭りと孫の宮参りを済せた、今日の雨に御伺いまで。

8/1977.11.8

立冬のおだやか日和麦蒔きて。昨六日お越しだのに、失礼してしまいました。休んでも戴けなかったかと思ひます。御健康に復されましたか。無理をなさらぬよう。野佛の写真有難う御座います。落ち葉はしげいが暖で、十月半頃の如き立冬です。異常気象が祟って、仕事が残って、いつまでも追われます。急に寒が来るでせう。麦を少し作ろうかとかかりました。月末頃からは暇が得られます。ゆっくりして戴けるようお出掛けください。円高で経済は混乱で、田舎え響てきます。取急ぎ御礼を兼ねお詫びまで。

9/1977.12.10

短日や乾菜あむ手え日もあんで。御芳信有難くお礼申上げます。御健闘のご様子何よりにて、もしも亦御不例ではなかろうかと心配していました。暖冬で日和続きで心忙しい暮とはいえ半面妙な気がします。妻と二人だけの生活で妻が弱くなると農家も型なしです。私も暖かな毎日矢張り元気で畑仕事です。仰せの如く正月半の方が暇ですが寒いと元気がでませんね。気兼ね無くお越し下さい。暖冬といふのに風邪が流行しています。お気を付け下さい。本年も僅かになりました。新しい夢を描き度い。

10/1978.1.10

萌土駆馬。賀春。穏やかな暖かさなので、畑です。世の中は激動の波乱ですに。松とれて侘しき妻との生活かな。光岑。

11/1978.1.23

竹林の竹伐る音や山眠る。光岑。正月行事も小正月で終わりました。十五六日はお待ちしていました。寒中といえ暖冬でまだ畑仕事で山の仕事は二月からです。妙なことに二回の雪が東京が当地より積雪が多いことですね。十八日竹を伐る日向に休んでいると眠くなりました。その折の句です。風邪が次々と流行していま

す。どうぞお気をつけて下さい。今日は雪も雨も僅かで晴れてきました。午後より何か仕事にと思います。猫と妻との生活は単調で静寂です。真昼。

12/1978.2.13

春泥や馬蹄ぽくぽく小径かな。光岑。梅はまだですが、何か春を感じてきました。風邪でも引かれましたか。音沙汰がありませんが？岑子の農閑期半終ります。冬眠から醒めた虫のように三月に入れば動き出します。月はじめに昭島にはじめて行き雑木林の多い町を歩いてきました。十二日午後まで雪ですが、積雪は日蔭でやっと十センチ位でした。昨日は午後より冬眠で炬燵を離れず、今日は盆栽仲間でも尋ねます。風邪が当方も流行しています。幸いに無事です。実に山野が美しい雪景色でテレビで毎日見ている雪国の中に来た感じです。又

13/1978.2.19

雲の間え紅梅あかむ春ごころ。この処北陸（いたことなし）の空に似て、毎日曇りで小雪が降り家居のみ。予想通り健康をそこねた御様子御大切に研究成果お送り下され御礼申し上ます。三重の山村え出掛けられた御様子、ともあれ機械文明の通じぬ土地はさびれるばかりです。寒さに弱ります。然し三月も眞近になりました。先日ははじめて昭島に行き雑木林の多い町で爆音の多い聞てきました。暖な日向で茸の榾木でも伐りますが、この方がいいです。まったく虫の冬眠と同様の近頃です。柳田先生の木綿以前の事を読みました。春が近くなると盆栽の本です。幸に暇をもてあますことも、独りでもいい性格ですから晴耕雨読ですね。くれぐれも御大切に、御礼に添えて、近況まで。

14/1978.3.11

日の延や紅梅あからむ春ごころ。御安産をお祈りいたします。不安と安堵それが人生ですが、精一杯の御愛情を尽くして下さい。岑子も下旬より薯・野菜等下旬より作り始めました。麦の中耕と施肥を侘しき気持で致しました。山村農は滅びる方向に一途進むのみです。お願いがあります。西原えお出掛けの節に寫眞を撮って戴きたいですが、それは岑子の座像とブロンズで（二つです）来年は数え七〇歳で記念に知友にと今より思っています。最後の農人でせう。夜から雨が雪になり五センチ位積り一日降るか又雨に戻るか、暇なので筆を執りました。

15/1978.5.12

降れば読む晴れれば耕す冥加かな。光岑。遅れた自然も急に若葉の世になりました。御健康で御飛躍とお悦申し上げます。お奥様もご安泰でせうね。予定より遅れて五月一日苗代を、五日に都留市から未知のＭ夫妻が朝鮮稗（エゾ稗）の種を求めて訪ねてきました。この五・六年種を失った由、今後は種を絶やさず栽培する由で分けてあげました。私の稗の種も方法で植えて行くでせう。四月半より孫の初節句で仕度にかかり、農事の遅れた次第。雨でも降ったらお出掛下さい。やっと降っても寒さを感じません。清流にカジカが清く鳴き山梨やつつじが美しく、竹の子わらびの味もいいです。雨の閑ありておたよりいたしました。

16/1978.8.3

夏草や若蝉追って朝の露。光岑。暑い年です。農は豊作型ですね。暑い程忙しい農です。御夫妻御健ですか。六月の日照り高温は花木の花芽にどんな影響があるのか。来春の課題（はじめての経験の六月）です。今年は何年んか小鳥の被害で休んだ黍を作りました。秋小鳥の餌にされるかどうか？パミールえの挑戦を期待し

ています。幸か不幸か、日本の農は過酷に弱まるばかり、離農は増すばかり、朝鮮稗も種保存で四株作りました。雑穀を作ることも一般農家では不可能になりました。西原で唯一の水田です。出穂はじめました。暑中御伺方々久々にて。八号台風余波に家居して。

17/1978.10.5

忽然と焔の如く曼殊沙華。土手に突然真赤な彼岸花が咲き出し驚きて秋を知ったような岑子でした。御無沙汰でした。六月より記録的な日照り高温でした。今夏ははじめての旱魃の体験で桑を除く畑作はみんな被害がありました。只水稲だけが大豊作です。暑ければ暑いほど忙しい百姓ですからね。七月二十五日掃立初秋蚕拙宅で二十三四で上簇は記録です。八月二十日掃立晩秋蚕は最盛期から雨で例年より二三日遅れ上簇でした。水稲例年より半月早い刈上げで、九月三十日終了。十月に入りやと暇になり近況を兼ねて御一報です。余技の盆栽も日照りで散々で今秋は自慢する紅葉の鉢はありません。御健闘を祈ります。暇を見てお出掛け下さい。今日雨です。

18/1978.12.6

初冬になりました。木々が一日一日裸木になります。いつも乍ら御健闘の御様子探求研磨尊く存じます。一方には失業者が出、他方では忙しく人手不足です。山村も亦過疎なれば残りの者は忙しです。御無沙汰でした。今年は夏の日照りで、畑作物は駄目でした。水稲丈が大豊作、次に柿が大豊作ですが、採る人手なく未だ沢山あり、いい小鳥の餌で鳥喰柿と名づけます。次岑子には解されませんが、論文並雑誌わざわざ御送り戴き厚く御礼申し上げます。寫眞の事御心配なく年内はお互いに忙しいと存じます。いづれ来一、二月は暇ですから、その節お出掛けください。馬祀る碑の時雨たり山の村。光岑。御礼まで

19/1979.1.1

献寿。御飛躍の年でありますことをお祈り申します。時代の調子に合わせられぬ精か、旧年は忙しかった。とうとう生き残った一人の農人になりました。勅斗雲の如き雲浮く春の空。光岑。寒い間は空想に生きられるが暖になると現実は厳しい。悟空になった気持で雲に乗り下界を見たらと思う。元旦。

20/1979.1.31

先日は御多忙の中をわざわざ御出掛下され猶かつ消えゆく山村農の生活の記録を丹念に未来伝え下さる結晶の出来より、御礼申し上げます。もつとゆっくり致して戴き度く思いましたが、拙宅だけではない由、岑子少し心残りもありました。いづれ又御面談の日もありてと存じます。御承知の如、既に現役を退き、余生を楽しむの現在で、一、二月が年を通じ一番暇なので、暖に連れ冬眠から醒めた虫の如く又草木の如く活動季に入ります。時代は変わる、西原も三年前と今日では全く変り、山村農は完全に亡びました。日本として将来に是は善悪別として時代の流れは仲々変えられませんですね。暖冬の冬で老人には助かりました。でも二月一杯は寒さが戻る心配はあります。御健闘をお祈り申します。御礼に添えて。敬具。寒梅やひそかに花あり。旧元旦。

21/1979.3.5

拝復。余寒が戻り、雪が降ります。然し春雪ですからすぐ消えます。昨日は御健斗の中を御丁寧なる御芳書と共に寫眞早速御送り下され御礼申し上げます。好い出来栄えで心から御礼申し上げます。紅梅の花がふるえて余寒来ぬ。光岑。三月に入り寒さで閉口、桃の節句とは名のみです。棡原は西原より耕地が広く日当た

りもよいので、食・雑穀事情よい土地、長作は西原より海抜高く奥地ですから作物の種類が少ないので違いが調べてわかると存じます。私の事いずれ後便でゆっくり申し上げます。今の世の変わり者というか山村農の遺物ですからね。今日は取り急ぎ御礼まで。敬具

22/1979.3.10

先日は有難とう存じました。三月に入り寒さが戻りましたが、やっと平年並に復しました。降ったらゆっくり書こうと思いますが、降りそうで降りません。山村農人に対して格別の声援に感激致し居ります。私は若い時代は離農の夢に燃えていましたが、運命か、家庭の事情で山村農を継ぐことになり、離農出来ないなら精農家にと研究も致し、新しい農法もこころみ、土地では農では負けぬまでになりました。然し、戦争、応召、留守中家は類焼、後、病人が絶えず、最後には自分が大病にて、やっと死線を越えた次第、回復する頃より、米麦農は急降下で今日に至った次第です。山村で手作り農ですから、私の農法は駄目でした。私の兄は裁判官で今は退職、勲三を、弟は赤字農です。以前は短歌、詩でした。みんな焼けました。戦後句作りに変わりました。今日は淡々としています。いずれ又。みそさざえ早春の譜峡（さと）え告ぐ。光岑。

23/1979.3.23

早春や父えといえる黒砂糖。光岑。学理探求で御多忙の中を今日御芳書御礼申し上げます。雑穀に付て猶探求敬仰仕ります。第二期栽培調査、私の予想通りの如くで、西原は中間地で（小菅丹波槻原上野原）す。雑穀の収穫量も平均でせう。次に奥多摩町と西原の間に都下檜原村があり、西原と山一重の処で、今はどうですか。以前は雑穀地帯で地勢も西原と似ています。尋ねたこと有りますか。西原は上野原よりむしろ檜原、奥多摩、奥秩父につながって昔は拓けてきた土地と信じ、民俗学も調べる面白と思っていますが、農人にはむづかしい事です。面白いのはシコクビエで栽培が稲と同一で、ただ田と畑といふことだけです。苗の播種も植付、除草(田の根がき)出穂収穫。全部同一の期日です。私は稲が先でまねたと考えていたが、稲作以前か？とも。乱筆にいづれ又。老いると書こと大変で御判読下さい。視力も老てくるんです。いづれ面談の日。

24/1979.4.3

菜の花や石の地蔵も眠そうな(光岑古い句)。二月の暖冬で平年より十日近くも早く桜や菜の花開きました。一度農学部えお尋ねしたいが、出掛けることの面倒な農人で仲々実行出来ません。日帰りで済むことですのに。ご精励と存じます。馬鈴薯、大根、山芋を作りました。まだ山の仕事も残っていて、その方えも行きます。選挙の方はあまり深入りせず、農事と盆栽です。次に三十一日の風害は西原でも被害がありました。春としては珍しい風でした。岑子の氏神の森の杉の大樹が折れたり根こそぎにされ社殿がつぶされました。幸拙宅は被害なしです。いづれ改めて。久しぶりの雨日に。

25/1979.4.24

桜散りてかじか鳴く水田に入れる。光岑。昨日私も苗代を仕上げました。農はどんな技術を得ても、自然には負けますね。御骨折りの程よく判ります。山梨県は酷い晩霜に大きな被害がありました。異常つづきですね。成果を上げるよう大いに健斗して下さい。農は暖になると忙しくなりまして、老人ですから、日長になると疲れるので、蚕の無い折は盆栽の手入れを休息に使っています。先日高い山え（小菅村）五葉つつじを採りに行きました。根づきを楽しんでいます。それは若者のようにです。激戦の選挙戦は参加をさけて淡々としていました。御都合して五月半の日曜日にでも遊びにお手掛け下さい。竹の子食べに連休は子供や客があり妻が忙しいので、五月末より少し蚕を飼います。いつも尊い記録の書籍有難とう存じます。御礼まで。

26/1979.5.15

御神木の伐られて若葉の空ひろし。御忙しい毎日ですか。学ぶ、研む、教えられます。麦を休んだので、畑があまりましたので、久しぶりで粟と黍を作りました。サク巾約四〇～四五センチくらいで條蒔に種を落すと間ひきに手がかかるので、一〇センチ位に点蒔しました。両方とも西原では六月一杯が良いようで、春蒔の方がカラが堅く期間がかかるので、(熟する) 実張りが良いです。試作して見ませんか。種子を送ります。種はあるでせうが。氏神様が三月の風の被害で、森も社殿も目茶苦茶になり、社殿鳥居建替で復元に九月一杯かかります。森も若木になります。三百五十年の樹齢です。岑子も毎年家業外に暇をつぶすことがあり閉口。いづれ又。

27/1979.7.9

暑中お伺い申し上げます。御健闘と存じます。六月の異常高温の蚕、田植で疲れ果てて御無沙汰でした。梅雨も空梅雨が終りそうです。八月一日より初秋蚕です。お暇でしたら、七月中に御出掛け下さい。高温で粟、黍の生育が非常にいいです。今年もいろいろ記録的な事の多い年で後半はどうなりますか？万緑や昼寝の日課水うまし。盛夏

28/1979.7.19

戻り梅雨ポコポコ木魚の施餓鬼会。光岑。六月高温と反対に七月は涼しく、お盆は炬燵です。休暇に入った由、貴重な論文有難う存じます。御出掛の都合が出来た御様子お待ちします。雨が来て盆栽の水もいらずです。今日もゆっくり休息しました。町議選（二十二日投票）で賑やかですが、私は不参加、晴れると田の草取りで、土用が来るので、あわてています。黍は遠からず、出穂になりそうです。粟も好調、八月は初秋蚕。下旬晩秋蚕で九月下旬迄は又蚕です。水稲も生育は良く、八月上旬出穂ですが。御礼まで

29/1979.7.27

夕立や稗抜き終えて昼寝よし。二十六日ご来訪御礼申し上げます。休暇でもいろいろ御忙しい事にて、それを御来訪下され恐縮です。二十六日は六時頃よりの雷雨、今日は昼すぎ（一時）よりの雷雨で、仕事の都合は悪いが、昼寝を楽しんでいます。雨が上ると、盆栽ですが、山里特有のブヨが喰うので弱ります。猛暑どうぞ奥さんを大切に、お暇が有りましたら御出掛け下さい。八月半ばまでは暇はあります。暑ほど忙しいは農人の宿命で、蟻や蜂のように活動します。そこに邪念も湧かず、水さえ美味です。そうして昼寝で是が生くるよろこびでせう。

30/1979.8.8

山から秘境奈良田えとお歩きの由、彼地は焼畑農で有名で戦前は彼地の事を聞きました。奈良田の知人でしたがどうなりましたか。ダムで変わりました。さて昼寝済して仕事にかかったら、夕立ちで帰宅、ペンを執りました。水稲が出穂史て穂揃いは下旬でせう。黍は既に穂揃いで、粟はあの黄葉青くなりまだ出穂はじめず。水田で地虫が鳴き、蜻蛉が盛んに生まれています。暑中に秋の気配がするんですね。山野にすすきが穂を矢張り出しはじめました。近日白菜作りです。僅かな蚕ですが桑入れが暑いので忙しいです。とうもろこしでも喰べに来て下さい。山や海何処にも憧れはありますが、西原の狭い中にも、自然のよろこびもあって、昔応応召で硫黄島に八カ月ばかり過ごしたが、はっきり四季のある土地が一番いいことを知りました。平凡ですが満腹して昼寝を楽しむ生活は最高ですね。水がまた美味です。私の次男も山が好きで、槍ケ岳え行っ

てきた様子。雨の日は茶の間一つぞわが砦。光岑。私の砦かいな城か、茶の間に頑張っている次第です。忙中の閑です。

31/1979.9.21

夏去ぬ白露置きたり萩の花。御精励と存じます。最後晩秋蚕が上簇しました。今年は六月春蚕、八月の初秋蚕は高温多照で済みまして晩秋蚕は雨期に入ると予定していたが、これも亦雨は無く珍らしい年で好成績で飼育期間も短縮されました。いづれも豊作型で、山野の萩の花が非常に沢山花をつけて盛りです。これは私だけがはっきり見とめている事かも知れず、一般人はそうした事も気づかぬ生活でせう。お暇でしたら見にきて下さい。萩の花も豊作に関係がありそうです。黍収穫終り、今度は水稲、粟で豊作の如くです。栗の実が落ます。かけすが来ました。

32/1979.9.29

日を重ね秋雨降りて蕎麦の花。席の暖まる暇もない、お忙しさの事にて、いろいろ御厚志御礼申し上ます。前便の如く、岑子九月下旬よりは暇になりました。これから晴天になると収穫にかかりますが、蚕のようではありません。又いまは収穫するものも量が僅かで老人の仕事です。御都合してお出掛け下さい。只、六月から暑と雨の乏しい夏の疲れで、秋雨で幸、余技の盆栽の手入れです。御面談で申し上げます。今日は暇ですから、妻が留守で独居です。

33/1979.11.3

珍しい秋で十月中には一度は霜が来るですが、今年は十一月になっての霜です。過日は御忙しい中を時間を消費させ済みません。親になると責任が重大ですね。でも何かうらやましい。そうした時代もあったですが、巣立って了うと老妻と二人ですからね。その妻も泊り行き六日間ほど独居で、歯科えも通っているので、独りの中食が多い。十月の長雨で仕事が遅れ、まだ四五日乾柴や乾草刈です。夏の暑さで、葉をいためた盆栽の楓が何鉢か無事なものが、美しく紅葉しました。それが岑子の満足感であろうか。思想も経済も混乱した時代に、淡々盆栽に水くれとは自慢もできませんが、亡び行く山村農に生き残る老人の今日です。盆栽の乾く小春日妻は留守。早速御礼を思ひながら、暇はあるれど、何か心うかず無礼していました。いづれ。

34/1979.12.12

冬立ちて吾子は母え似妻えも似て。光岑。此の度も尊い研究の成果”雑穀食の伝承”恵与御礼申し上げます。岑子にも教えられる事が沢山あると存じます。雨の日ゆっくり拝読致します。十一月も降る日が多く、十二月も亦そうでしたが、やっと晴れがつづき、寒くなりました。平年より半月は寒さが遅れています。降ると暇で特に雪が来れば、冬籠りで、年を通じ休息期です。御都合してお出掛け下さい。お祝いとお礼まで。敬具

35/1980.1.1

迎春献寿。いろいろと事多き世、今年は良きの方え展開を願っています。親としての、思い出の多き年を迎えた年を特にお慶び申します。本年も宜敷しく、雪さえ来れば暇です。春ごころ茶の実がからから山の畑。光岑

36/1980.1.10

松明けて一輪一輪寒梅が。光岑。例年より一ケ月も早く私の寒梅（盆梅）が咲き出しました。然し六日からの寒波で駄目でせう。風邪が流行はじめたこと御子様大切に、二才位になれば体力が強くなりますがね。次男が暮れに帰省したので、元旦から二人で南面の日向の山畑で仕事をしました。小雪や小雨後は木を伐りました。親子で語りながらの仕事は楽しみです。六日に帰京、とうとう正月は返上でした。暖でしたからね。是からは寒いので雪がなくても暇ですから御都合の良い時お出掛けください。二月一杯は一番な時期です。段々都え縁が深くなりました。勝手に自分の事のみ申し上げました。

37/1980.1.20

着ぶくれて猶ちじみ込む寒の雪。十三日の雪二十五センチ、まだ日向の斜面丈で他は雪、全く冬眠です。一月は御多忙の由、何より結構で時代の歯車から跳ね出される年代層は何やら侘しい。健康で忙しいことが幸福であり、生甲斐でせう。二月に御出掛け下さい。寒いと暇でも他出の元気なく虫の如くです。でも虫と違って、生きてる限り夢があり設計があるんですね。黍飯を食べ見ると味がいいので食べています。読書も根気なく、寫経でも考えるが宗教は苦手でして夜時間つぶしです。呼吸だけしているのでは無意味ですかね。御近況に接しお礼かたがた、追っていづれ。敬具

38/1980.2.27

日脚の延を急に感じてきました。先日は尊い時間を西原までわざわざお出掛け、むだ話に終りお詫び致します。今日は二・ニ六日昭和十一年を想ひ出します。その年は寒は又実に厳しく、まだ雪と氷一杯でした。考えてみるとあれから日本は見方によれば狂い出して、今日及んでいるんですね。日本の文化は創造されたものがすくなく反映が多いですね。ふるさと運動もそこから出た愛態の一とも思えます。五月下旬蚕の時期に入るまでは御遠慮なくお越しください。でも一應日時をお知らせ置き下さい。是非三月お越しの節は入手出来ましたら、ゼンブ種一ケをお願いします。私には幻しの食物で、昔の昔の名ごりの一つでと私の推定です。何処の国にか原種があるでせう。穀物類ばかではなく、芋だって、きっと作っていたと信じます。凶作でも芋類の方が多少食べられます。穫れます。自然の法則は今も昔も変わりませんからね。日の延や町から運ぶ砂利車。暖冬で終りましたが、夏はどういふ事になりますか。いづれ又。

39/1980.3.11

今朝の雪木えだけ積もり降っている（句六日朝）。梅が咲き山峡にも春が来ます。雪が降っても地上に積らず、雪後の景色は墨絵の如くです。遠山は樹氷にも似る眺めです。御便り有難し、御親切なこと御礼申し上げます。二十二日はお待ちしています。いつも暴言ばかり申し上げて汗顔です。福祉国家とは良いが、自分で建設した安定でないと弱となり、うっかりすると怠民養成になりますからね。何でも自分に厳しくと努めています。三月になり降る日が多く、少し早いが軒下で盆栽の植替です。彼岸頃から畑仕事も加え、本格的には四月からです。今の世で晴耕雨読の生活とはまぼろしの生活かも知れぬ。時事のニュースは汚れたことばかりですね。だが農人には春が来る。雪が降っても赤蛙も春の謳歌をはじめました。赤蛙騒ぎ出したる峡の川。

40/1980.3.26

梅の風山並遥か日のあかし。雪日をお出掛け、お礼申し上げます。帰途を心配でしたが無事だったと思ひます。雪二十三センチ積もりました。尊い時間を無駄に使はせお詫します。暇を得てお尋ねください。山茶や茸、竹の子も五月出ます。食用菊を探して下さいませんか。一芽あればいいんです。三四年求めていますが、

自分他出しませんで、入手が仲々です。オカラク、ゼンブはうまいもんだと子供頃歌の如くききましたが、前後は知ず、オカラクとは楢（ナラ）の実の食品で、トチの実は食べたがオカラクは食べたことなく、うまいではなくまずいもののことかも知れません。ゼンブは種が無かったんでせうね。又何か古い食品でも試食をと探しています。御健闘お祈りします。

41/1980.4.11

わざわざ御返書御礼申し上げます。いろいろと御面倒おかけ申します。毎年四月は気象の変化が激しが、本年は格別で、下旬は水稲の苗代ですが困ります。花冷や咳かぜつらし葱坊主。都は桜が散るでせう。桜が咲き出しました。農場の方も整地されて、蒔付け植付けなさってと存じます。農耕は怠けて、少々雨が降っても軒下で盆栽の植替です。芽吹くもの芽の萌けるもの、暖だと一夜といえぬ変りかたです。早生の日蔭のつつじは満開で、三葉つつじ（紫の岩山に咲く）咲くところ、先日は町まで植木鉢を求めに行きました。一千三百米位の山え、五葉つつじ（ヤシオ）を採りに出掛けたいが、農耕がいよいよ忙しく、余芸は余芸で終ります。それで又いいでせう。四月下旬から五月は山茶、竹の子があります。折を見てお出掛下さい。御健闘お祈りします。

42/1980.5.16

黙念と桑の枝條の尺取り虫（旧作）。尺取り虫が葉の広がらぬ枝に黙念としていたその桑畑も若葉になりました。雑穀奨励の古守先生を御志の由、先生も前はよく西原に見えられました。雑穀が長寿のため、健康のためとはいえ、はげしい今の世にはとても実用化は無理で年々運動しても増えぬでせう。粟を作りソバを少し蒔ました。これからキビです。四国ビエを何年振りかで製粉しました。入用でしたら差上げます。四五年振りで作ろうかと考えています。さまざま作ることは人手を要することです。水稲は六月半ばに植える予定、筍の出盛りです。どうですか。

43/1980.6.26

蚕上簇暑くなる山の桜ンぼう。空梅雨で高温つづきで、忙しい毎日でした。御返信も遅れました。全く六月は左の闘です。二月茶摘、この飼育所より蚕が来ました。四眠、田植十三～十四日完了、蚕二十二日より上簇、二十四日迄、畑作の手入の暇もなく弱りました。蚕前妻が町え歯科通いでシコクビエは畑は仕度しましたが作ることが出来ず、粟と黍は蒔きました。水稲は本年ササニシキをはじめて試作。蚕上簇で暇はあります。お出掛下さい。何といても高温で蚕は忙しいです。取急ぎ御〇迄。

44/1980.7.2

遅れ梅雨あぢさい咲きて繭出荷。春が遅れ掃立をのばした蚕は高温空梅雨中に短期で上簇しました。あれだけ忙しい思いを重ねました。蚕上簇と共に梅雨が戻り、作物の方は手が廻りません。三日繭出荷が終了します。お出掛け下さい。妻共々疲れきりましたが、晴れるとぼつぼつ作物にかかり、残りの秋作を少し作ります。当地は七月のお盆で、七月下旬は初秋蚕を少し飼育です。早生の馬鈴薯の収穫期に入りました。今日のはげんの雨は珍しい。今日は例年晴天なのです。取急ぎお待ちして御一報まで。

45/1980.7.12

梅雨明けにならぬと駄目ですね。雨が降ると水稲の手入半日、後は休息で稲は土用入り迄ですから。学期末を忘れていました。古守先生の講演会を催す御様子、良い催しですね。山村農は老人ばかりですから、終り

です。蚕終了後粟、黍の手入でしたが、手遅れでした。でも六月高温でしたので、生育は良いようで薯も掘りたいがまだ作る作物も僅かありますが、晴れぬとかかれません。休暇になりましたらお出掛けください。遅れ梅雨緑したたる夏木立。紫蘇もめる香がする昼の雨の音。

46/1980.8.1

夏冷えといふ悪条件になりました。世界中が異常だから仕方がありません。休暇になるといろんな方面でさらにお忙しいですね。山村農は農の原点であろう。何に故崩れ滅するか。それを知って置く事がいるし、日本の如く手間の高い(人権費)国は手作り農はむづかしい。私など精一杯働き、家庭内職に及ばぬ収入で、大きくいえば農全体が今の日本では崩れそうですね。雑穀食が長寿につながる事を知っても仲々できません。それは手間がかかる高価になり過ぎます。政治経済から考え直した農政を建てなければだめでせう。私は年齢からいって無職で農ではいくら働いても所得は知れたもので無職に近く、私は笑いまた農は運動にやるんものですと。今食物は自給自足できています。都合してお出掛下さい。八月半迄は回復しない天気のよし。七月二十五日掃の蚕をすこし飼育です。夏冷え鎌砥ぐ山の杉木立。下刈にて。

47/1980.8.7

夏冷え鎌砥ぐ山の杉木立。梅雨の再来の如き、雨と低温で畑仕事は出来ず半日杉の下刈をつづけた。一週間、五日ようやっと僅かに日が出る日がつづき温度は昇らず、炬燵です。作物の成長も遅れ、このままでは凶作で、稲は早くも七日位遅れましたが、今後の天候では更に遅れるでせう。八月の下半期に望をかけています。初秋蚕も涼しくされ困ります。次に当方えお出掛けの節は是非鉢植えのゼンブを寫眞に撮って来て下さい。私外の同類にゼンブを知らせ度く、また期待しているのです。八月七日霧一杯の朝、お話と夏冷えの現況まで。

48/1980.8.14

稲穂のようや見え冷夏ゆく。(出穂十日遅れる)天候が回復しはじめたので、忙しくなり、留守になった時か、妻が二階の蚕のに給桑中で、知らなかったか?電話連絡がつながらず、でした。子供さんと大勢でした。九月下旬頃、再会の約束で別れました。私の事ですから、例の調子の話振りで満足出来なかったでせうで、今の世に全く手造り農業は時代に添えませんから。夏が戻ればいいと願っています。とりたての南瓜やとうもろこしを喰って昼寝がよろこびです。休暇中はそれなりの予定が一杯で御忙し御様子。はかなきや夜空の夢の流れ星(十二日夜)。

49/1980.8.22

とうとう冷夏で終わりました。休暇中の課題整理つきました。明峰氏自著書籍を送って下さったり、いろいろ自己紹介をされました。岑子とは年代の相違で一致できない点はあるでせうが、山村農、即ち農の原点からの心で語れば通ずるでせう。初秋蚕本二十二日上簇終了、後八月二十日掃晩秋蚕を飼育すれば後は段々暇になります。大根を作ると発芽を鳩が喰い雑穀が実入れば小鳥がかかり、老人の農も大変です。水稲もキミ、粟も今月中に穂揃いになると思ひ、晴れると平年作になるですが。お暇を見てお出掛け下さい。狐よけ針金張ってとうもろこし。

50/1980.9.28

妻眠る蚕上る夕べ栗落ちぬ。願望達成なされましたか。心配していた冷害の秋になりました。晩秋蚕十五日

上簇いたしました。蚕も日照不足で桑も悪しく病多発で近年珍しく不作でした。水稲は冷夏出穂は一週間遅れましたが穂揃いは急ぎ平年より七～十日くらい早く、一寸と不思議で理由がつかめず、然し今月中か来月早々刈取りできます。平年作にはと予想です。今日は黍の取り上げで、雀に襲はれました。粟も稲と同じです。二五～二六日頃繭出荷で、それが済めば暇があります。御都合が出来たら、お出掛下さい。新涼や送葬の日の秋海棠（九月は記録か葬式只今迄四人です）

51/1980.10.15

十二日明峰氏他二名でお越しになりました。シコクビエの餅とキミの飯を振舞ました。平野に住む人は山間部に憧れるようですが、岑子は日照る土地がいいです。でも遠望がきき、水のよい処で雑穀を多めに食ふ生活は夢であり、理想ではなく空想かも知れぬ。同行されなかった事が寂しかった。お忙し御様子いづれ改めて。秋桜のなよやかな花ゆれて晴れ。光岑。無事十九号通過、粟、黍、稲収穫終了。只今乾草乾柴刈、即ち刈り干し刈です。物価上昇で冷害で厳しい。天気は今朝は上々です。以上。

52/1980.10.29

霜が二十六日から来はじめました。例年よりやや早い程度です。京都お土産有難く早速妻と戴きました。わざわざ御送り下され幾重にも御礼申し上げます。現在の御勉強が終りお暇になったら御出掛け下さい。御成功をお祈りします。老生も年内は仕事が一杯で改年になれば暇です。二十六日午後子供とはじめて有料道路（三頭）を数馬、人里、迄紅葉見にゆきました。いずれ又御礼迄。好日やほのぼのいただくしめじ汁。光岑。奥山は茸が盛りで、友人よりしめじを贈られて、礼句です。雨の日は炬燵で読書や句作で、こおろぎの哀音も時に糾明されているような夜もあります。

53/1980.11.20

古都不知ず古都の味知る冬である。木々の露のお礼、遅きながら一句。光岑。御健闘のことと御推察してます。寒さがこの二三日和らぎ、里も小春日がつづきます。老生も収穫は終り、只今冬耕です。他は冬仕度で盆栽の冬がこいも暇を見てやるんですが、年がけると枝抜や整枝までやるんで、はかどりません。年々増る鉢数です。町の農業まつりの即売に出品しても数は減りません。七月終わりの日曜日に三頭の有料道路を檜原村人里で車でいって見ました。湖畔も美しく御前山も美しかった。昔、松姫が亡命した時一部は通った処でもありました。柿の熟柿が沢山あるので、二十三日に暇があったら明峰氏に採りに来るように便りしたが、どうなりますか。二十三日は老生も休業する予定です。木俣さんはとても暇はないでせうね。あれこれ申し上げました。御自愛のほどを、いづれ又。

54/1980.12.8

山え雪そろそろくるか秋の虫。光岑。師走七日夜。拝復、机に向っての御健闘仲々の事御成果の程祈り上げます。師走になると、何かに追われているようで、気忙しく、その上短日ですから、全く年内は悟りきった老生も人間臭くなります。水稲は八分作で、土地柄上作の部類で、粟、黍は実入りはよかったですが、小鳥の餌になって豊作は里芋、コンニャク、白菜、大根で小豆、蕎麦は凶作でした。弐月頃雪でも降ると、一年を通じ一番暇で、心から休息(冬眠)です。是非お出掛け下さい。明峰氏十一月二十四日に来宅でした。山村通ではないようですね。岑子も農には疲れました。きっと労働力が弱くなった。又それが年々苦労に感じてきたんです。然し生きる限りは続けるでせう。普陀楽行であり、如意宝珠を磨くことであろうと、宗教に縁のない身もそう思えます。盆栽の冬越の世話も大変です。拙宅は日当たりが悪いので、ご無事の越年をいづ

れ年改めて。敬具

55/1981.1.1
賀正。ことなげに温水器えぞさす初日。光岑。本年もどうぞよろしく。

56/1981.1.14
雪の上のある葬式。死せる者生きいる者も雪の道。光岑農子。寒中お見舞い申し上げます。近影楽しく拝見しました。家では孫はほんとに可愛らしく思ひます。論文の成果御期待致しています。岑子近年稀の寒に降参で、日中だけ働いています。冬は年余りと冬眠さながらですね。七十歳を越えましたら、寒に弱。二三日薄日で今日は正午四度で朝は戸内で〇.三、戸外は〇.一〇位でせう。二日の寒が北面は根雪で残っています。半ばより町え歯科え通うのですが、寒さで閉口です。炬燵で時間が余るので、七〇の手習いで、今になり短冊色紙の練習する日もあり、句は色紙には厄介で、漢詩の方がむくようで、生まれてはじめて漢詩の試作です。渓声脈脈山容麗。村落点散西原郷。大笑いです。一四日より小正月です。

57/1981.2.2
物忘れかさねる老え寒の風。如月初日小雪家居して。学研の成果を期待しています。御疲労したことでせう。一月二日十センチの積雪以来晴天つづきで例年になく寒は強かった。毎日仕事と運動を兼ね、日中は南面の日向に日を楽しむ。寒さもお正月（松の内）すぎになると訪う者もなく、老夫婦はまるでむじなの如き生活です。日没後から就寝までの時間が長いので、読む書くと今度は頭の体操です。二月はお出掛け下さる予定の由ですが、お待ちしています。但しまだ寒いです。その節写真を一枚撮って戴きたいですが、小正月行事に造った門男です。老人になったので、毎年は材料のヌルデの木を山奥に伐りに行けそうもありません。造るは手間はかかりませんが、材料伐が楽でなく、今年は二男が帰省中伐ってくれました。記念ですね。御入来の節は用件の方があっても二名くらいの小数にしてください。寒い時は大勢は困るんです。乾燥しているから咳かぜが長びきます。二月一日今日は七時頃より雪ですが小雪で終りそうです。御一報迄。

58/1981.2.13
義歯入れて街の雑踏春遠し。光岑。学位論文目出度く通過の由、永年の研磨御努力成果と御祝申し上げます。冬は年の余りと南面に日を楽しむ生活を続けていましたが、雪もなく、天気つづきで、仕事と運動を兼ね、少し働いていますが、年々体力の減退に矢張り年齢かと感じます。特に歯が弱り、一月より歯科医通いです。十五日過ぎは十八日は不在で、二十四日頃までは、それ以外は在宅です。取急ぎ御返事まで。十四日は三番目の姉葬式で、八十八歳です。

59/1981.3.5
うめ咲いて猫が背のびす日の溜まり。光岑。突然の猛寒波どうやら去って、この雨が春を呼びそです。過日は御忙しい中を、お越し下され御礼申し上げます。久し振りなので、何を語ればよかったか、判りませんでした。お詫び申します。あれから陽気もゆるみだしたのでと思ったら、眞冬より寒い寒波に日本列島はつつまれ、驚きました。雪、吹雪、又雪と、外出も嫌で、冬眠そのものでした。三日よりやわらぎほっとしました。夜より雨になり四日も終日霧と霧雨です。四日は歯科え行き次回は十一日です。その日は不在です。平年は十日過ぎになればぼつぼつ畑作業ですが、本年は少し遅れそうです。然し予報では桜前線は例年より二三日は早く進むといふ。春が突如と来て、忙しいかも知れません。お暇を見てお出掛け下さい。お詫びと近

況まで。雪おおう石に躓く寒かな。二日の句です。

60/1981.3.12

誰れかの詩に”春は枝頭に在ありて既に十分。日中パスで街への途中、そんな詩ごころが湧きました。今度ほんとうにありがとう存じました。岑子が長年探していた幻のゼンブ御礼申し上げます。いつも御歓待もできず、申し訳ありません。浮世のつとめかここ酒呑が来宅して閉口です。彼らは考えて見ると幼子に劣る虫かけもののようなので、風流も判らず、人間性の一面がかけているんです。そう解すと腹も立ちません。無理せずお暇がありましたら、お出掛け下さい。栩原では畑仕事がはじまっていました。残寒が強ので帰宅して鉢の植替えです。降るとゆっくり詩でも作ります。心の豊かさがあれば、こそ西原で満足していられるんですね。今度はとろしばを知らぬようでしたら教えます。今夏は採って粉にして試食是非してみる予定です。春の雪山なみ白く遥かなり。光岑。暖になることを願っています。子供や老人は寒さに弱いですから。御礼まで、いづれ改めて。

61/1981.3.20

御返信御礼します。十五日は春一番で、五月の陽気でした。この日は火事で飯尾四戸全焼、葬式、結婚式、等がありました。妻を子供の処え泊りにやりましたので、三日ほど独居です。盆栽の鉢替ですが、今日は半日畑仕事をはじめましたが、明日は又町の歯医です。暇のような、何か落つけない、近頃です。原始人の血が残っていて、寒さから解放されると、血が騒のかも知れぬ。平年彼岸に時無大根、小株、人参を作りはじめます。続て馬鈴薯で趣味に接木もはじめます。ですから桜の花見は農人には無用です。暇でしたらお出掛け下さい。夜は妻か私が在宅ですから一応電話を下されば、私の在宅日は判ります。他出はほとんど致しませんが、近頃は突発用事が起きやすいんです。盆梅が咲き出しました。寒波で寒に弱いものは沢山枯らしました。十九日みそさざえも訪れ春一報です。それでは御健闘をお祈りします。敬具。萌兆展開如月空香雪麗黄鳥戻来。如月之歌。光岑。漢詩を作った事の無いのに掟も知らず、今年は少し作りました。句にあきた事もあるが、色紙を貰ったのに、句は書きにくいので、詩の方がよいと思って試作してみたんです。そろそろ畑仕事で終わりです。それに盆栽です。

62/1981.4.3

春望の折花も戸惑う気候で、菜種つゆと云うか三十一日は終日雪で地上には積もらず一日午後より雨、二日午前中は雨、古都の春はいかがでしたか。晴耕雨読とはいえ視力も老いて読ことも根気〇、正月から折々漢詩を作るが、是もその道の教えを受けぬから、光岑流です。薯作りで中井清太夫代官を思ひ出しました。晴れると忙しいですが、今日も炬燵で怠けています。早稲田大、だの、医療団、政治家、みんな信じられない時代で、四月からは公定料金も上がり、つぶやいたってはじまりません。税額や葱坊主だまってならんでる。旧い私の句があります。盆栽の早生桜が今日咲き出しました。たいくつのまま、近況です。いづれ又。鶯声朗々春鶴蔭終日斜面段畑耕薯古来窮乏救援噫清太薯。（当地でじゃがいも）鶴蔭都留山蔭、当地の事、中井清太夫代官、昔薯を普及せる恩人。

63/1981.5.5

八十八夜が過ぎて夏といふ事ですね。是からが稲雑穀の蒔期になります。御忙しいですか。若葉が美しい季節です。渓流でカジかが鳴き雉が草山で鳴く、みんな夏の気配でせう。水稲四月二十七日播種、粟も近日作り度、次が黍です。四国ビエはまだやめようか作ろうか決心がつきません。蕎麦を今日三日作りました。ま

だニ三年休んだ雑穀に穂もろこしがあり、種子を貰ったばかりです。人不足なのにさまざま作るとさらに大変ですからね。咳風邪をひき苦しんでいます。矢張り老人になったといふ事であろう。御暇を見て筍でも食べにお越しください。近況まで。養花一年丹精盡花開旬日命短誰春来咲花年々変老境再若還春惜。桜花顕。光岑。

64/1981.5.18

若葉が青くなってきました。山菜もほうけてきました。御健闘の程何よりと賀上げます。岑子も元気を出し、粟、黍、四国ビエを作りました。四国ビエははじめて直蒔を致しました。苗から移植は手不足で不可能なので、今穂モロコシの種を入手しましたのが残っています。種継ぎに少し蒔たく日曜日はいろいろの催しで、休業になり弱ります。農人は雨天が日曜ですから。田植予定は六月十五・六日頃で、蚕は五月二十五日頃で、茶摘が末日頃から六月一・二日頃の予定です。頭の運動に漢詩作りですが、その道に師を求める元気もなく、未完のままで終りそうです。近くに書店がありましたら、角川書店の小辞典、日本漢詩鑑賞辞典を入手できましたら立替で求めてくださいませんか。一九〇〇円と思ひます。御入来の節に御支払いします。五月一七日雨日。新梢え郭公鳴きて山の麦。光岑。筍食べにお越し下さい。他は面談の折に。

65/1981.6.8

御勇健で御活躍と存じます。低温で作柄は悪く、十二日の田植でも終りましたら、お出掛け下さい。拙宅も仕事の関係少し田植を早めます。然し苗が小さいです。蚕が三十一日に来ました。お茶を三十日に、只今コンニャクの柴かけで、ニ三日軽い夕立が来はじめました。低温と乾燥がやわらぐでせう。凶作のような気が致します。さつまいもの苗がありましたら、ニ十本ほどお恵み下さい。品種はなんでもよいです。希望は紅小町、それは山国にはむかないでせうが。私菌床を失敗でした。あまり小量ですから世話をしませんでした。失敗したものばかりです。今日七日町で盆栽の即売会（さつき祭り）少し出荷ともかく六月は一年を通じ最も忙しい、珍しく里まで郭公が来て鳴きます。はじめてで何かの前兆か？白い花の咲く季節です。アカシア、水クサ、山ボウシ、さては卯ノ花、それにユズやミカン山は白い花のみが新緑に交え眠につきます。筍も竹になりました。新梢やだんだんそだつ桜ン坊。六月七日夕立にて、御一報迄

66/1981.6.19

一杯の日課の中をわざわざご持参下されました。さつま芋苗、あの日の夕方植え付け致しました。低温の土地ですから、良質のものは出来ませんが、矢張り楽しみです。農人でなければ味あえない期待です。後旬日は蚕で精一杯です。購入して戴いた詩集典も読んでいられません。六月詩はまだ完全でありませんが、新緑深山幽谷欝。郭公麦秋告眞近。雨止薯花咲段畑。旬日蚕児忙給葉。何もやってみると大変なことです。いつまで続く根気が？です。母の忌や新薯供え茶入れる。光岑。母の忌は十八日也。雨急に降り出し寸暇あり。御礼迄いづれ改めて

67/1981.7.13

急に暑くなりました。休暇前で御忙しい御様子ですね。先般は藷の苗有難とう御座いました。蚕の上族終るかといふ頃より隣組に重ねて葬式をいたし、繭の出荷に苦労しました。七月盆ですから弱りました。小麦を僅作りました。小麦取り入れです。平年より低温か半月位遅れていますが熟れ過ぎてもいません。黍も粟も雑草で一杯です。十一日十二日が盆踊りです。この暑さで遅れた作物も遅れをとりもどすでせう。お盆が終れば暇も得られます。是非下旬頃は御出掛け下さい。農繁期を雨と葬式で目茶目茶です。それで疲れきりま

した。老人には過激すぎました。暑さと疲れでヘトヘトです。弱い人は間引かれます。きっと病人も増え葬式も亦あるでせう。皆様にくれぐれも御健康に留意下され度いづれ又。

68/1981.8.7

北海道からは七月中に帰京と存じます。良き収穫がありましたか。私も若い頃の戦友が北海道にはありました。訪れる事もなく終ります。日本で大陸の面影をもつ北海道、近頃は西原から見物ゆく時代になりました。六七月の無理から体を少し疲労度を越し過ぎたので初秋蚕はやめました。ですから八月二十五日頃までは暇があります。晩秋蚕は八月二十六日頃からです。水稲は例年より一週間以上遅れたやうです。雑穀も亦同じで、凶作型の気がします。日曜日はいろいろと私自身でなく周囲の巻添えを受けますので、日曜日外にお出掛けください。キビは穂が出ました。天気なら作柄も見て下さい。三十六年前原爆広島に落ちた頃は大分の航空隊に主勤でした。朝顔や老て耕やす屋の庭に。全く歳月に流は早い。八月六日。　奥千丈ヶ原初霜の由、一寸と寒さを感ずる朝です。

69/1981.8.23

懶雲やほどなく秋の夏木立。あれから子供が帰省し、山の植林地に下刈に連れ立って行きました。帰るもの来るもので入り替でした。親子の対話も加えての労働で楽しいものです。父に替り世に出る事を願っている次第です。山も秋草が咲きはじめました。懶雲（ものうい雲）の流、その折の句感でした。二十一日からは、又静かな二人暮らしで二十六日頃は飼育所から（二十日掃の）蚕が来ます。畑仕事は残っているが中止で山え下刈でしたので、漬菜や大根をこれからです。それでは御面談の日を待っています。何年振りかの出水でした。風は弱かった。作物も倒伏したものも発芽したものはたた切れ被害も多少はあります。水稲七分出穂粟五分四国ビエは出穂はじめた処九月十日迄に穂揃すれば凶作にはなりません。あれから高温でした。昨日より硯を出して手習です。書道典でも探し度くなりました。

70/1981.9.26

日本列島半分は低温で秋が早いとの予報弱ります。豊作は望めませんが並作か八分作あればと思ひます。晩秋蚕上簇期から低温半月で、蚕も不作です。異常気象に一番弱いのは、農ですから、然し米国は豊作の年であるという。北海道から東北が特に悪いらしいですね。蚕が上簇した後、秋祭り済み、収穫に入る前です。繭は二十八頃出荷、収穫と乾草、乾柴刈りです。二十五日雨になり、家居です。昨日は十年振りで同窓会で生存者は半分を欠けました。生存者の三分の二出席でした。次回は五年か二年でと約しました。七十才の姿です。これから八十才九十才迄に何人残るか、戦争といふことでも戦死したが病死の方が多い。七十三才の平均にあてはまらない、若い頃から弱かった私が残っているから妙なものです。九、二十五日雨にて、いづれ改めて。熟年の秋ほのぼのとこの宴。句に流行語を使ってみました。七十才の同級会の句です。こうした会を句にとしても、句には作れぬものです。みんな白頭になりました。生る苦しみが出ているんです。

71/1981.10.3

台風一過好天気何日続くことか。何をおいても御大切にして下さい。何事も基本は夫婦からであることを、私は提唱しています。九月は行事の多い月で、秋祭りやら彼岸など、二十四日十年振りで同級会を催しました。七十七十一才です。誰も白頭で独身になった者が多く、何より気の毒です。夫婦揃って孫があれば全く幸福といふことです。北海道の不作は私などにも関係があります。来春購入の芋種は品不足だといふ。次、種類にて違はありませうが、粟は寒地は適しないかも知れず、暖地がいいのかも知れず、西原より東櫛原の

方がよく更に昔は相州や肥後粟がきました。キビ、ヒエの方が寒地にはいいのでせう。キビより先に作った粟はまだ実が入らず、只今雀が群団で来て弱りました。キビは欠点は連作いたしません。五年一七年です。九月二十八日繭出荷終了。低温で四五日遅れ、不成績でした。水稲は取上げられます。乾草乾柴刈も忙しく、御見舞かねあれこれを、敬具。熟年の秋ほのぼのとこのつどい（同級会の句）。明峰氏も藤野周辺ならば西原より条件がよいでせう。西原は五百～六百米海抜で、次は日照時間短いですからね。西原功成り隠居生活に趣味ならいいが、将来ある人達が農に生きようとしても、無理です。四月か今月北海道旅行に西原でも行きます。十月は旅行が何組かあります。岑子は黙々と乾草刈です。中頃妻を永年の労に報じ山の湯にでも湯治に行かせます。岑子は句があり、詩がある。それでいいと思ひます。農もまた趣味の１つですから。

72/1981.10.26

秋鶴水　　鶴水清澄天如鐘　流揺紅葉浮蜿蜒　山寺鐘滔々流送　鶴蔭秋映及相州　辛酉秋　光岑　　鶴水＝鶴川、鶴蔭＝都留山蔭で西原、相州＝神奈川、鶴川は神奈川の桂川と合流して入る。夜長をもてあまして戯作の詩です。句作りにあきた為か。台風一過秋が深くなります。穂ものは収穫終わりました。前日丹波山経由で渓谷から峠を通り塩山に出て帰りました。紅葉はちらほらで、葡萄園黄葉で遠望では水田の刈り上げ前と似ています。時に土地を離れた風景も参考になります。御案じ申します。私も妻を二三日湯治にやって独居で、何か空白な気がして、詩二つ作りました。頭の運動ですか。菊の秋ですが近頃は年間切花であるので、ひかれません。秋でこそといふものが好きです。秋冷の木立寂しく木の実ふる

73/1981.11.17

いろいろ御心配なされた事と存じます。良き御名命なされました。山の彼方の幸を求めることでせう。秋から冬え一直線なので驚きました。四五日平年に戻りました。収穫は終わりました。霜の早さに忙しい収穫でした。今日はじめて雪虫の飛ぶを見ました。短日なので昼は気忙しく、夜は長すぎて、暇で読んだり書いたりですが、年齢は根気が続きません。わざわざ御持参下さりましたさつま芋苗お蔭で沢山穫れましたが、一部畑で野鼠に喰れましたが、二人では食べきれません。御都合宜敷き折り御出掛け下さい。明峰氏よりも便りがあり、藤野町予定地にとの事ですね。昨日は一日盆栽の冬越しにかかり終わりました。七日日本観光文化とかのグループの一団が十二三名で雑穀を見に来ました。主任加曾利隆氏、四国稗の餅の試食をさせました。自動車をロボットで作る時代、山村農は夢の世界で現実性でないことを説きました。変わった生活のため時に変わった人が訪れます。いづれ御面談の説に。

74/1981.11.27

学期末になりますので、お忙しいでせう。次に記録的な早い寒で予定が狂います。これからどんな冬になるやら。西原唯一軒の水田作りで、一年がかりの夢だったササニシキを二十三日食べました。美味なものは弱いといふか上品といふか栽培は面倒で、収量は多くありませんでした。今度はゼンブの試食です。北海道の稗種を譲って下さい。来年は昔の稗飯を忘れぬよう、蒸かして昔ながらの稗飯を作り食したく、私も五十年近く食べてみません。昨日の雨から休息です。柿の凶作で、晩秋から初冬の風景に柿の無いのは淋しい。葉落ちた木に赤い柿は美しいものです。向寒の節、皆々様のご健斗をお祈りします。ガサゴソと大きな朴の葉が落る。光岑。十月は毎年近くの紅葉狩で今年は小菅丹波山から青梅街道を柳沢峠を経由、塩山駅に出て帰宅、来年は奥多摩を立川へと思ひます。十一月二十三日午後馬鈴薯奨励した恩人中井清太夫代官をまつった甲州薯大明神再建した社で見た町の立八来に行きました。是が岑子の見学の今年の部です。全く土地は離れぬ私です。それでも農人には不足もないんですね。

75/1981.12.9
寒さが早い都市で予定が狂いました。どうぞ御大事に、わざわざ今日の珍菓を御送り下され御厚志御礼申上ます。いつもお心尽くしに恐縮致します。二十日頃御出掛けの様子なので、雑穀の餅を搗きお待ちしていたんですが、。短日なので、一日の労働時間の僅な事,畑仕事なので霜の解けぬうちは始められませんでね。無理せず、御都合の良い折りにお出掛け下さい。奥様にもよろしく。漬菜、大根も干葉取り上げ終り、冬ごもりの支度に入ります。取急ぎ御礼に添えてあれこれ申上げました。短日の落日小豆打ち終る。三日は知友と丹波山経由で塩山市周辺の古い寺と社を見て一日遊びました。私としては珍しい事でした。閑散としている時期がいいです。果樹地帯も葉がおちて茫漠といふ風景で中耕している老人があり、自分の姿のような気がしました。社への道を尋ねて別れる。

76/1982.1.1
献春　千支六度巡りきたれる日を〇（招）す。気象が定まった年を願ひ、豊作を思っています。限界を越えた欲は無いですが、本年もよろしく。

77/1982.1.10
暖で静かな正月でした。新居の平和な迎春は何よりで、御祝詞申します。拙宅も四日迄賑やかでした。元旦より三日迄、次男と三日間山仕事で、四日より年賀回り（小雨で)、七日松をとり、平常に復した次第。老妻と二人になりました。今年も奥山から次男が太いぬるで（かつの木）例年のカドオトコを作るので伐って来ました。十四日には作り飾ります。小正月で農民の正月で繭玉を鍬鎌、粟穂稗穂を作ります。然し昔のままを継いでいる家は僅で、時代の流れに変りました。雪が降ると、私の雪降り正月で、長閑に心も身も休養できるんですが、雪が無いと、何やら遊ぶ事が申訳ない気がしてだめです。向寒の折皆様、御健やか祈ります。いづれ又。明日十一日は鍬入れで昼は鏡餅を食べます。

78/1982.2.24
黄梅のひと花みつけ春ちかむ。光岑。暖冬も立春から寒くなり、弐月は小雪もあり、冬籠りでした。いろいろお忙しい事だったと存じます。皆様風邪を引きませんでしたか、心配していました。雨から平年に戻り風も減ると思ひます。弐月一番暇ですから、小雪が降ると、若返ったつもりで、十余年振りで随筆を幾編か書きました。町の文芸誌に依頼されたのです。思った事を書くんですが、それが老人には大変なことです。何か人の心を動かそうとしたが、失敗でした。二月一杯は暇です。今日は山え行き下刈をしました。まんさくが咲いていました。一番早い花です。日蔭のつつじを採って帰りました。三月半頃から盆栽やら農耕にかかります。でも夜八時頃は留守はしていませんから、御来訪の節は電話をください。暖なら元気ですが、寒には弱いので。御返信迄。

79/1982.3.20
鶯や鷦鷯（みそさざえ）が訪づれるようになり嬉しくなりました。春はいいです。御多忙中を入来御礼申上げます。いつも相変わらずの歓待でいたみ入ります。鶴蔭のもぐらの大将ですから。何やらまだ気象も異常の如くですから本年も作物は早めに作ろうと思ひます。山蔭の土地ですから、それでも岑子の如く心の持ち方でこんな過疎地で満足しています。お堀なる鯉の漁紋や水ぬるむ（二重橋)。沈丁花新宮殿えのぼる坂（皇居中)。あらとうと雨晴れ千代田春霞（皇居中)。どうも句は作れませんでした。都内には句にはとらえきれ

ません。武蔵野の茫漠家なみ果てしなし（バス中にて）。奥様にもどうぞよろしく、御礼まで。御都合のよい折、またお出掛け下さい。暁から雪が降ってます。

80/1982. 4. 9

鷦鷯鳴く暮れがたに桜散る。光岑。北海道は昨年から出水また震災と気毒ですね。雪がまだ積もる様子、寒かった事でしょう。大陸の面影のあるは北海道のみの由、何処も知らす私です。お土産御菓子にて申訳ありません。御礼申し上げます。霜がまだ晴れるときます。上野原の町は桜が散りはじめた由なれど、西原は咲く処です。四月から五月上旬までは寒暖の交錯のはげしい時期ですね。雨の降る日は軒下で盆栽を持ち込んで植替やら枝抜きで、エゾ山桜を求めたが今年は美しい花が咲きそうで、赤味の濃い桜です。次男が高山で採集したハイ松が発芽してきたので、よろこんでいる次第。然しこのハイ松培養が私の力で及ぶか問題ですが、それが創る心であって楽しみなんですね。今日は終日雨で盆栽相手でした。明日は晴れて呉れることを願っています。御都合の好い折お出掛け下さい。御礼に添え。

81/1982. 4. 17

ほろ酔いに花はらはらとたそがるる。光岑。鶴蔭はやっと春爛漫です。花見の盛りです。本十六日貴重な稗の種有難く頂戴いたしました。非常に沢山で私は十分の一位の量で結構でした。篤志家に分譲したいと思ひます。実に良い粒（実）で驚きました。どんな成績になるか楽しみです。心配なのは小鳥に襲はれることです。取急ぎ御礼まで。十五日の雨は大雨で今度は山野も萌芽が急でせう。拙宅も桜やつつじの花で一杯です。芽ぶく落葉樹の盆栽の植替に追われています。いづれ又。

82/1982. 5. 10

予想より良い天候の大型連休も無事終りました。夏なみ高温に急に若葉から青葉に化してきました。連休は外来者がありました。また静寂にかえります。筍の出盛りです。五月は気候もいいですから。御都合ができたらお出掛け下さい。九日は結婚式に招かれています。どうも日曜はよくいろんな事があり、平常の日が好いので、でも前日夜七～八時頃一應電話を下さい。若葉風藤の花ぶさ揺れつづく。連休にも農人には終日休めず、雨でも降らぬと心なごめず、暑ので忙しくなり、盆栽の芽摘にあわてています。

83/1982. 6. 1

緑陰に時鳥が鳴き、山椒の青い実を食卓え、夏ですね。五月は御多忙だった御様子、筍堀りをお待ちしていました。老生も五月は高湿多照で忙しく生業に追われました。六月も雨が降らぬと暇なしで、それは例年のことながら。良き家庭の写真、嬉しく存じました。御礼致します。折りがありましたら、山を愛する老生も、雲採から三峰え、雲採から飛龍迄は歩いた事があり。新緑の山とあの美しい声の駒鳥、もう駒鳥が鳴くでしょう。自然に従って、悉皆は活況す、吟じたくなります。戴いた北海道の稗、又忙しいので直蒔しました。照りにも負ず良く発芽しました。田植えは半です。茶摘みつ青葉の眩し日は照て。光岑。御礼迄。

84/1982. 7. 7

暫くでした。御忙しいでせう。夏になりました。雨量のすくない梅雨で、低温で何か冷害の前兆の気がします。低温ですから馬鈴薯は豊作です。七日に繭の出荷を終了です。これからは午睡をしながらです。お暇も見て雑穀の生育を見に来て下さい。稗が成績が良いようです。四国稗は本年は休みました。黍、粟、穂もろこしは作りました。田植えは六月十七日低温ですから遅れています。忙しい毎日でした。蚕から解放される

と、どの畑も雑草です。疲れると読むことも、書くことも中止です。これから又はじめます。蚕上りまなこくぼみつ髭ののび。七日の七夕は雨の多い日ですね。今日は雨らしい。是からは高温になってと望んでいます。久々にて雨に閑を得て、御伺いまでいづれ又。

85/1982.7.15

あじさいの梅雨の終の雨である。今になり雨が降ります。低温なので水稲が心配です。皆様御元気ですか。異常気象ですから、かぜが引けるようです。冷害を春から予想して、雑穀は早く蒔きました。稗は一年作らねば性質が不明でしたが、出穂しはじめました。小鳥群が来るか、早いので被害無いかも知れません。休暇にでもなりました。御越し下さい。黍もそろそろ出穂になるでせう。雑穀類を一見して下さい。馬鈴薯は低温ですから、豊作です。お盆さんを本年から八月に致しましたから、百姓にはこれ好都合です。どうぞ向暑の折皆様の御健を祈ります。

86/1982.7.29

暑中お見舞い申し上げます。本日は尊い雑穀の研究に付いてのまとめ御送付下され、御礼申し上げます。精根を尽くされたこといつもながら敬仰いたします。春より予想はしていたが、こんな冷夏とは考えませんでした。国力の衰える時期は農も亦、何しろ異常気象で、矢張りまだ自然の力は征服しきれませんね。雑穀の豊作はむずかしいが、熟するでせうが、水稲陸稲は凶作で種もむずかしいかも知れぬ。土用中低温で日が当たらず平年より十日以上遅れている。八月が高温多照であってどこまで短めるかです。高冷地帯に近いですから。只今初秋蚕は休んで八月二十日掃立をと考えています。本年より八月盆ですが（十三日から十六日迄を除き）二十日頃までにお出掛をお待ちします。冷夏ですから拙宅も孫がカゼ熱を出します。御子供をお大切に○○に添えて。いづれ改めて。

87/1982.8.10

今回の台風の被害は何年振りかの大きなものでした。特に八月早々の台風は珍しく、八月下旬から九月が台風の時期です。道路や山林もいためましたが。農作物はほとんどが倒伏の上、雨と風でいためられて、私の雑穀もみるかげもなしです。稗は草丈があるので折られました。只今穂が揃いました。とうもろこしが一番台風に弱く、無事は里芋です。台風が四、五〇〇ミリの雨量で続いての豪雨が一三〇ミリです。相変ず俄雨や雷雨があって、散々です。拙宅は高台ですから、出水は安全です。上野原駅付近が増水でひどかった様子。いづれ又。濁流も事なし蝉は鳴きつづけ。台風の翌日。

88/1982.8.31

夏も終る頃猛暑になりました。夏の休暇は研究ため何処えかお出掛けでしたか。暑に負けませんですか。10号台風にきずついた雑穀も生き残ったものがこの暑に元気になり、小鳥がかかりますので、網を張りました。効果は早速で、今後台風でもない限り九月十日頃までには収穫できると思ひます。水稲やっと出穂し、もう少し高温が続いたら、六七分作にはと思ひます。一頃は絶望と思ひました。二十六日より晩秋蚕にかかり、九月半上簇予定で、八月お盆で十三日頃より子供や孫が集り雨中賑やかでした。お盆過ぎ頃はお越し下さるかと思っていましたが、意外な猛暑が続きましたので、それに学界の忙しいお仕事があってと思ひました。久々で明峰氏より消息がありました。皆様の御健かと願って、近況まで。台風のきず跡は大くまで残ってます。生き残る稗にかかしの暑さかな。

89/1982.9.19

農とは、暑いほど忙しいもので、残暑になりて強い暑でした。お暇も無く忙しいご様子、御健斗を重ねて下さい。菜園場に子供さんも一緒でうれしい事です。近況御知せ下され、有難とう存じました。農は霜の来る迄で、その頃は御都合してお出掛け下さい。10 号台風のために全く後々まで祟られて、閉口です。畑は草になり、異常時代ですから、天候も例年とは変わって、眞夏の低温は山村えは特に響き、実のいらぬ作物があり、私の心配した年になりました。水稲は一部を除き、花盛りになりました。18 号は幸、雨も風も軽少で被害は僅かですが、蚕の最盛期に三日間の雨には弱りました。桑も充分与えられず、きっと成績は悪いでせう。雑穀をさまざま作るので、収穫に追れます。粟畑は台風の当る場所なのでこれは五分作位です。十八日、十九日が秋祭りで彼岸が明ける頃より暇になります。稗の穂よ収穫する手に実のこぼれ。初秋の残暑の強き日、稗収穫、即脱穀す。

90/1982.10.2

拝啓、不順な気象にもかかはらず、御多忙の毎日と存じます。晩秋蚕繭出荷を境として、やっと忙しさから解放です。然し台風と低温で蚕も不作で畑作も亦不作です。水稲は一時持直した如くでしたが、台風で度々断水も加りて、はじめての大凶作です。何やら悄然とした秋です。盆栽類も、台風が日追って祟ったのが現はれてきました。是から雨が降らぬ日は、刈干刈りで（乾柴乾草）倒伏した柴草は刈り憎くく、秋晴れを待っている次第、お暇になりましたら御出掛け下さい。私の在宅の日は暇で、ときに何かの用事で不在の日もあるでせうから、一應問い合せて下さい。稗の試食は冬になってからです。予定の量を収穫出来ました。粟だけがまだ収穫できず他の雑穀は終わりました。近況迄。月代に似る禿らみのわれの秋。光岑。老いを感じる我の秋に。

91/1982.11.13

奥郡内柿の実赤々かがやかす（奥郡内は西原の意）。落葉がはげしく、落ち尽くした木の柿の実が赤い。皆様御健やかですか。異常気象ですから風邪が流行します。御多忙の毎日と御推察致します。本年は台風の為に余分の仕事が増し、仲々仕事もかたつかず、五月着工のお寺の改修工事、本月二十八日落慶式です。延べ日数では何日もかかりました。やっと一段落です。柿も二十日頃より収穫です。手人足で麦は作れそうもなしで、まだ葉落ちるのに干柴刈で畑仕事にかかれず、困りました。すぐ十二月になり、年内は心忙しく、でもお暇の節はお出掛け下さい。その節は日取り御一報下さい。西原でも三日にはじめての文化祭を催し盛会でした。久々にてお伺ひかたがた御一報迄。艸々。

92/1982.12.3

枯淡幽寂この語がありますが、段々枯木立になって、その風景を感じてきました。先般、御来遊の予定を狂はせました。御在宅なされていますか。いよいよ短日になり一日が惜しい。冬は年余といふが、そんな生活は現代はむづかしい。宝珠寺落慶式二十八日に終り翌日は夜かたつけで、十二月入り稲の脱穀をやりましたが、五分作になりませんでした。今日最終のコンニャク芋出荷にやっと間合せました。ほんとうに忙しかったです。これからはのんびりと日を楽しみながらです。お暇でしたらお出掛け下さい。日曜日は兎角いろんな事があるので、日曜日をさけて下さい。五日は妻の里で法要に招かれました。十二日もまた何かありそうです。

93/1983.1.1

賀新春、奥郡内霧の中より年あける。皆々様の御健やかをお祈り申します。旧年は事多き年でした。本年は安穏を願っています。

94/1983.1.8

年頭譜　快し麦飯と葱味噌汁　日々南面に　陽を楽む可く　年を迎え　三恩に只管謝す鶴蔭の小盆地で安住す　土竜　光岑老。本年は懸案の達成に期待しています。鍛錬されて大きな成果を得られます事を祈ります。暖冬は好いが、また冷夏が心配です。八四年になると平均年令に達します。土竜と称して淡々土に親しむ次第。松の内も終り、雪でも降れば是から年を通じ一番暇になります。暇でもう客もないので。御来駕の節は予告して下さい。コンニャク芋は有りますが畑です。寒いからそれによって畑より掘って来ます。掘った生芋は既に十二月上旬出荷ですから。八一年に戴いたゼンブは仲々殖えませんので試食しませんが大切にしています。

95/1983.1.20

拝啓　暖冬も終りの如く皆様風邪など引きませんか。学校は受験の時期、御忙しくと存じます。暖冬でしたから、お正月も返上で畑を耕していました。自稱土竜の大将です。いよいよ雪が十八日に来ました。是で休息です。暇なので不出来な乾柿少々御送りします。凶作の年の柿で晩秋からの暖さでカビて極く晩いものが、乾し上がった丈でした。次に先日コンニャクを見つけ出しました。用途は知りませんが花芽をもった大きなもので植えて置くと花が咲きませうか。一應畑の日向えいつでも掘出せるよう埋めて置きます。家は寒いので。雪は日向はすぐ消えますが、日蔭は根雪になります。南面の山えでも行き日を楽しんでの仕事です。冬枯や何処え出るのにも峠あり。暇になりましたが、周囲の山を越えるばかり、私は心にも峠があり、仲々他出は嫌なんです。そんな句です。御機嫌よう。雪で家居して、近況を兼ね、先は艸々敬具

96/1983.2.10

寒さが戻って来て平年並みになりました。それでも梅が咲き出しました。本日は富山のお土産わざわざ賜はられまして厚く御礼申し上げます。いつもお気にかけられ、御配慮を頂き、いたみ入ります。十四日はお待ちしています。早いもので一年以上語りませんでしたね。きっと一年でも岑子は年が寄っているでせう。他出はほとんどせず、この小盆地に土竜の大将だと自稱している次第。雪が舞う程度ですから、南面に日を楽しんでいます。御礼まで敬具。梅からの花信にふれた奥郡内。好もし十日夜。

97/1983.2.17

待望の雪がやっと来ました。三〇センチは積もりそうです。久々で面談、何を語ればいいか判りませんでした。どうも妙な世の中で、今の若者達は幸か不幸か解する事もできません。さてこの雪後寒さがどうなるか、それによって休養期間が変わります。久し振りで本でも読みたい。学校はまだ忙しい時期と思ひます。戦後子供育てで夢中だった時代がなつかしい。平凡な老夫婦で静かな生活も味気なしです。でも是が平坦な人生のありかたでせう。暖かくなりましたら、杣ちゃんを連れて、お暇を見てお出掛け下さい。取る処もない、山里にも何か幼い日の思ひ出が得られるかも知れません。自然は幼い人達を浄化するものがあると信じています。山野を虫やけものの如く駆る。その野生味も人間に尊いこともあります。雪は三十センチ近く積もり、後は雨になりました。皆々様流感の折御大切に。いづれ又。雪ふれば隣も遠し奥郡内。鶴蔭、奥郡内は西原の代名詞として、私の創作語なんです。

98/1983. 2. 20

今度の雪は四五年振りの大雪で三二センチ積りました。後が心配した通り寒波で仲々解けません。炬燵に籠っていると体力が低下するので、昨年とは変え、外をつとめて歩きます。さてこの雪がもう少し早いと、稗の粥が間にあったですが、今夜二十日に試食してみました。非常にねばります。味も好いです。僅か精粉にしてみましたが、お暇の節お出掛け下さい。稗の粥を作りますから、私も飯の方は食べましたが、粥ははじめてで、勿論妻も煮たことがないのでした。お蔭にて稗の粥が食べられました。御礼申し上げます。雪が深いので、こんな試食などが楽しみであり、喜びでもありです。もう山村でもこうしたものの味を知る人も稀れであろう。珍品でせう。取り急ぎ御報まで。いずれ又。

99/1983. 3. 21

拝啓。余寒の厳しさ去り難き、悲鳴をあげています。皆様流感、治しましたですか。当方にはまだ残っています。トレーニングに彼岸ですから、野菜花卉作り追はれてと存じます。岑子も冬籠りから別れて農作業にかかろうとしていますが、寒で前進できず、十八日は強風で植替た松の盆栽は全部倒れ、こんどはテープで縛りました。パミール深訪は楽しみですね。許されたら四国稗を一穂ほしいです。彼地のものと現在の西原のものと比較してみたいんです。稗手づきで精白して試食してみました。味はいいとしても老人には矢張り舌ざわりが悪く、粥食がよろしいですね。ともかく旧い食物を食べてみたことは、嬉しい事です。丸で新發見でもしたようです。晴耕雨読の生活であり、旧い生活を体験しようとすることが、生くることの岑子の證であろうか。余寒の中から日向の鶯が鳴き出しました。暁にミソサザエが訪づれて、気忙しく鳴き、愈々春が展開されて来ました。いづれ又。敬具。しとしとと春なる雨土えしみ。お彼岸の中日ですが、静かに雨で子供や孫は今日は帰り、又静かな生活です。今度は暖になるでせう。

100/1983. 4. 15

春爛漫、皆々様御壮健ですか。四月も半になりました。鉢の桜が満開で、続いて三葉つつじ日蔭のつつじが咲き出しました。四月二日珍しく府中から調布え雑用で行き、風邪気味を押して行き、六年振りで昭島に住む長女の宅え泊り、その夜発熱、一日寝て翌四日帰宅したところまた発熱いたしました。風邪で寝込んだのは三十年振りかも知れぬ。その風邪えどうも杉の花粉病も加ったらしく、只今体調、調整で労働力を半減しています。盆栽の手入はいたしますが、詩や句は湧いてきません。雨も多いので岑子には好都合かも知れません。悠々自適です。余生をおくるといった春です。好きな山菜でも採って食べたら、元気になりでせう。洛陽城東桃李の花飛び来たり飛び去って誰が家にか落つ。少年の日読んだ劉廷芝の詩を思ひ出しています。近況まで。お暇を見てどうぞ御来遊下さい。皆々様のご機嫌お祈りします。咲けば散る花を追ってる蝶である。花に雨降る。

101/1983. 4. 17

花の雨春眠さめず雨ときき。食用作物の教材冊子有難う御座います。農人は単純ですから、何処から起原して伝来したかは知らず、大変参考になると思ひます。雑穀も私あたりの時代で終るか、いろいろの條件で今後続けられて行くか？非常珍重されてきましたが、今の時代これを栽培することは、仲々の事で困難があります。雨の多い春で閉口しました。詩書を読んで昼寝になり、軒下え盆栽を運び、手入れをしたりです。老人で西原で詩書を読む人はないでせう。御礼まで。取急ぎ、敬具。自然の法則は判りきっていて、解けきれません。水は低い方へ流れ、堅いものはさけるが、水害に悩む。どこか矛盾があるんですね。先生も暴力を振るう。それも、どこか矛盾したものがあるからですね。お暇を見てお出掛け下さい。

102/1983. 5. 21

青葉が濃くなってきました。皆様お元気ですか。多照高温で例年より季節が急ぎました。四月は風邪やら雨で仕事は見送って、ここ忙しくなりました。昨日雑穀本年の作付分は、やっと作り終りました。松蝉が鳴きます。時鳥はまだ来ません。藷苗が少し残りがありましたら、五〇本お譲り下さい。郵送で三四日位ではさしつかえ無いと存じます。庭で水稲の苗は仕立てています。六月始頃田植え予定で、僅ですが火曜日頃、茶摘（自家用）です。盆栽の灌水はもう眞夏なみです。入梅になれば冷雨が続かなければ良いかと心配です。晩春から初夏は自然も農人も共にあわただしい。艸々敬具。

103/1983. 6. 16

御多忙の事御推察致します。本十五日午前九時御願いたしました、甘藷苗有難く頂戴いたしました。少しもいたまず、生々としていました。明日は雨が有りそうなので、夕方予定畑に挿しました。味が良い種類の由、野鼠に被害がなければ思ひます。収量は少なめでも、六十三本ありましたので、沢山穫れるでせう。十日頃では照り中なので、日蔭えかりに置き畑のしめりを待のだったでせう。厚く御礼申し上げます。冷害を心配して田植は六月四日終了、例年より十日ほど早めに植えました。照りで作物も被害が出ました。雨が十日ほど早くあればよかったんです。取急ぎ御礼まで、御厚志に報る術もなくいたみ入ります。艸々敬具。

104/1983. 7. 29

暑中御見舞い申し上げます。荒梅雨の明けて炎帝威を弄す。皆々様御健やかとおよろこび申し上げます。いよいよ御出途の事、御成功をお祈り致します。滞在日数は知りませんが、留守中は淋しいですね。これからの高温で多照でしたら、冷害は何とかのがれられるでせう。いづれ来る秋に御拝眉して。

105/1983. 8. 28

異常気象で暑いと思うと寒くなり、今度はどうなるのか。八月中に御出発と思っていました。愈々御決行御出発の事、壮途の御成功御祈り申します。今回の雨台風十四日午後より降り出し十七日迄降りました。雨量はですから新記録で六〇〇ミリでした。風が加はらぬ為被害は僅で（昨年より軽少）した。桐原の道路が崩れ一週間バス不通、電燈四時間停電の程度。水稲は暑い日もあり、早植で、平年より五六日早い穂揃で、花盛りですから、こんど照るといいんですが、只、水が断水で二三日中に入る予定ですが、台風で水路がいたみました。稗黍は水稲より早い出穂、粟が出穂はじめました。御不在中と思って、御無沙汰のままでした。御出掛の準備の中の忙しいに御芳信に謝して取急ぎ。艸々

106/1983. 9. 4

御主人より八月三十一日附の御手紙三日に頂戴ひしました。二日御出發なされたと存じますが、学校よりその御手紙は学生の一人が卒業研究でマンネングサの事を始められて拙宅の石垣に生えているのを研究資料に入用の由、草の事で帰国されてからでもいいのか、連絡すれば学生が採りに来る由ですが。私はその草は知りませんが、有りましたら、是非採りに来るよう、伝えられたらお願いします。正午頃から一時迄は毎日在宅しています。但し九月十日は来客がありその日をさけて下さい。三十一日に電話下されば、回答が出来たです。取急ぎ用件のみ。

107/1983. 11. 14

恙無く御帰国の事と御悦び〇しく、永らく留守だったので、お子供さんがお待ち兼ねだったと存じます。雨の多かった秋も十三日から冬型になって風もでて晩秋から初冬え移行し天気も定まるでせう。皆々様御健やかの程お祈りします。風があると木の葉が散る落ち葉しぐれです。本年は作物は豊作型でした。天候やら俗事で仕事は遅れてやっと乾草刈が終り、やっと畑仕事で、収穫は芋類を残すのみで、終りました。いづれ御拝眉に譲り、私も元気です。草きずにしみる夕べの風吹きぬ。艸々敬具。

108/1983. 12. 24

短日の足より冷えて干菜あみ。例年に比して寒が早く寒波の来た日は厳冬並みで寒には弱いので困りました。年内も僅かになりました。お疲れがとれましたか。長い間の事でしたから、帰国してから故障が出ることもあるでせう。また仕事も積もっていることでせう。ネパールの松の種、私にお譲りの分がありましたら、一月半頃までに御送り下さいませんか。もう老齢ですから、私が播種は適当ではないかも知れません。自然の樹種は落ちる時期が適期で秋から冬に播種の方が發芽が良いのです。採り蒔がよいです。現在、高い山のハイ松を試みていますが、こうした年令では自分では結果は見られぬかも知れません。現在二年生ですが、育ちませんね。皆々様の御健やかを祈ります。

109/1984. 1. 1

霧うまる奥郡内年明けそめし。皆々様の御健やかをお祈りします。本年もどうぞよろしく。新しい年と共に何か今年も夢を追いたいと思ひます。

110/1984. 1. 3

上々の新春をお迎えと御慶び致します。いろいろにお忙しい折柄を勝手なお願にて申訳ありませんでした。本三日ネパールのお土産有難く頂戴いたしました。貴重なお土産感激しながら御礼申し上げます。松は今日にも播種の予定でしたが、待望の雪が降りだして二三日延びます。ぜひ發芽させたいが、まだ異常気象は続きそうです。天変地異は今の科学も人智も及びませんですから。いづれ御拝眉の日又語り合ませう。七十四才に年内に達し年令的にはやっと一人前でこれからが私の勝負でせう。そう考へています。取り急ぎ御礼まで。年賀客もに三日は来ます。みんなきよめる雪がふり年あける。

111/1984. 1. 20

十九日の雪は二十五六センチの積雪で極く軽雪でした。春より引き続き寒の連続で何年振りか寒になりました。お子様達も寒に負けずお元気ですか。古守先生より賀状を頂きました。棡原長寿村でよく知っていますが、年々短命になってきましたね。食生活の変化と精神的の変化に依ると私は思っています。入試やその他でお忙しいでせう。寒がやわらいだらお出掛け下さい。寒で風邪気味で半分冬眠といった次第です。二月一杯は休養期です。貉の如き生活です。日中は運動に南面の山で仕事です。雪後は二三日家居です。昨年は露地に置いた梅が今頃は一輪二輪咲きましたが、本年はまだまだです。晴耕雨読ですから、何か読むか書くんですが、雪や水の風景も見に歩きたいとも思ひます。近況添えお伺いまで。珍しく達磨を貰い、小正月（十五日）団子マユダマを作り達磨を飾り、蚕の豊作を願いました。かた眼いれ蚕えのねがい達磨かな。昨年度はやめたが又例のカドオトコを作り門にたてました。旧行事も残すには骨折りです。

112/1984. 2. 7

御健闘と存じます。節分になりましたが、重なる雪に南面を残して他は雪に埋まっています。待望の雪も念

が入りすぎました。寒中の大雪は何年振りかで豊作を想えます。弐月弐日山日紙のネパール報告が大きく掲載されました。大きな反響が湧くと存じます。それと共にネパールが身近に感じられてきました。3900m 日本では想像外の高地で自然破壊、それを報告の炯眼、実に貴重と存じます。すっかり冬眠といった有様で、家居のみでは体力が持ちませんで、日中は体力調整と戸外で何かを求めて運動しています。楽しんでいた読書は中止です。年令的に余程気力を出して錬磨せぬと暖になって農耕に耐えられなくなります。生きる限り働くことが人間だといふ自論通りです。昨年は暖冬でしたから盆梅がもう咲き出したんですが、まだ蕾が堅いです。一月二十四日山日紙で山日常務のブータンの紹介がありました。閑日で御一報迄。山居して稗がゆ綴ろ雪こんこ。六日午后より雪。戯句、全国的に雪の被害はあるようですね。好しく六日。

113/1984.4.5

春凍る桜咲けずして黙想と。春が遅れて新記録の如くですね。いつか四月になりました。お子供さん、お健やかになりましたか。夫婦で何度目かの風邪で閉口です。暇なうちはいいがそろそろ農耕です。拙宅えも鵠鵜や鶯が来て鳴きますが、二三日晴れると又雨か雪で、寒いと来て呉れません。今日薯をはじめて作りました。昨年より二十日遅れました。まだ北向には雪が積っています。氷河時代にでも入るのかと首をかしげます。全国的に果樹や茶の木の被害は大きい様子。農は全く見込のない時代になりました。といって老人にも転業もできず。甲斐（山梨）の八十八ヵ所や観音三十三札所、郡内（南北都留）の観音三十三札所の所在寺名をその道の方達に問合せ、やっと探し当てました。是が今冬の光岑のたいくつしのぎでした。郷土史にも興味はあるですが、これは仲々で手はつけられません。雪の消える雨の日になりました。艸々

114/1984.4.27

学界え貴重な發表だったと存じます。誠に真剣な研鑽に心より敬仰致します。私迄え御恵與下され、厚く御礼申し上げます。今春は当地など梅と桜の花が一緒に開花する通り、農耕も何も彼も一緒になり、面喰っています。水稲も不安ですから、早めに苗を、その他作物遅れたので、急いで作っています。まだ低温が続いています。お子供さんお丈夫になられましたですか。私も風邪気味が長く、神経痛なのか痛風か、腕、腰、足が痛み弱っています。矢張り私の限界なのかも知れません。寒い間本年は県・郡の三十三ヵ所観音札所の所寺を方々え紹介して探し当てました。老人らしい思ひつきでせう。梅の鉢桜の鉢花きそう。御健闘を祈り、御礼まで。敬具

115/1984.7.9

暑中御見舞申し上げます。教壇や農場に研究と御忙しい御様子更に海外え視察見聞、大いに飛躍を期待します。私はとうとう限界が来た如くで、来年からは百姓も精一杯は駄目で雑穀も様々は作れぬので、昨年度より体調が崩れました。年令でせう。水稲も今年が最後かも知れません。是は水路が台風で被害を受け個人では修理は無理です。七月下旬頃お暇を見てお出掛け下さい。いづれ又。

116/1984.8.24

猛暑の夏も終わろうとしています。何処かえ避暑なさいましたか。大変だったと存じます。當方は暑さに大豊作の秋を迎えられそうで、後は台風の心配だけです。春に遅くまでの低温で心配だった水稲も雑穀も実りを急いでいます。一年もお逢いしませんで、すっかり大成なされた姿を想像しています。八方にお忙しいことと存じます。私も体調振はない夏ながら、日中(日盛り)は午睡を充分とり、朝夕を生業に勤めています。作物の生育もいいが雑草も亦茂ります。七月下旬から八月上旬はお待ちしていました。二十五日より蚕で九

月半ば上簇予定です。残暑も雨から弱まり少し遅れましたが大根日葉作れました。秋の虫が鳴き出しました。動植物も暑には喘えだ如くでした。八月二十四日小雨小閑にて、艸々敬具。

117/1984. 9. 15

久しく心にかけられたご家族で御入来、合憎の天候で残念でした。御知らせを願えれば、何か支度が出来ましたですがね。可愛い御子供さんに申し訳ありませんでした。御忙し体の如くですが、又御都合つけて御家族でお出掛け下さい。平日の方が道は安全です。山梨は只今はぶどう狩りで混雑かも知れません。（中央線はその為が大きいです。）珍しいお土産をいつも戴き厚く御礼申し上げます。返礼も欠き、お詫びいたします。最後の蚕の上簇日で、彼岸頃より農繁期も終りです。昨年頃より体調がくづれ、本年も夫婦共々苦労しました。老齢化したんです。奥さんお子供さんによろしく。いづれ又改めて御礼とお詫びを兼ねて。こおろぎの土間に来て鳴く雨の宵。　　艸々敬具

118/1984. 9. 26

拝復　再び天候回復いたしました。良い彼岸でした。近年稀で、豊作の秋で朝夕肌寒さを感ずる低温です。相変ず学界の仕事は暇なしの事に存じます。次に二十六日繭出荷で、是からは忙しさの峠は下りです。秋の祭りも彼岸の祖先えの祀りも怠りました。是からは余暇もあります。御都合のよい折、京都の友人とお出掛け下さい。ただ閑になるは留守にもなりますから、前にお知らせ下さい。黍飯か栗飯でも作りお待ちしています。本年は甲州トウモロコシが豊作で久し振りで房を乾しています。雪でも降ったら粉にして餅や粥（オネリ）でも作って食べる予定です。アフリカではこの粥を一日一回食べられば好いほうだといふ。飢えている地方の事をきき、せめてその人達の食事でも食べてと思います。蚕上りを初栗のめしも奢りなり。御返信迄。艸々

119/1984. 10. 20

相変ず御多忙と御推察、来夏の既にご計画の事、御よろこび申します。雑穀の研究も拡大な地域ですね。ヒマラヤ山麓ネパール、印度の山脈等、何か日本民族の祖先に深く関連がありそうです。雑穀は高原の作物の如くですね。馬鈴薯、甘藷は南米で他はアフリカ、アジアかしら？西原だけの天地しか知らない農人であるが、その作る作物の発生地の事を考えると、人間の生きる努力は素晴らしい。冷える日もあるが、まだ霜が来ないので、蕎麦が熟そうです。思はぬ雨の日が続き、冬に備えて障子張り替をしました。来客もあり、静に独りの世界にばかりはすめません。晴れるとまだ終らぬ、乾草や乾柴刈です。十一月初旬頃、麦を僅か作ろうと思ひます。山が色づきはじめました。盆栽の楓が紅葉しはじめて雨にぬれると一層濃く見えます。いよいよ霜の来る日が近いのを感じます。御機嫌よういづれ又。菊さけど女おどしの日もありぬ。女おどしとは急激な気候変化の意です。妙な句を作りました。十一月三日文化祭えの句です。

120/1984. 11. 19

落葉しげく、雨降ればこと更で冬めいて来ました。いつも御忙しいことと存じます。あれから寒くなりました。それと共に段々暇になります。京都から小林さんわざわざ出掛けてきて、得るところがあったでせうか？印度え一緒に行く由、御成果あることを祈ります。余生を過ごす私の生活は天地の差です。二三日前、アンデス（南米）に登って雪に降られたといふ人からの便りを受けました。薯のふるさとかとなつかしく思いました。アンデスやヒマラヤの山麓の土人と私など同一かも知れません。昨年は稗の飯や粥をお蔭食ました。今年は甲州トウモロコシの餅、粥等のトウモロコシの粉食を雪が降るころは実行です。四国稗は歯が悪いと食べ憎くて、御都合して、

御一家で又きて下さい。小麦を少し作りました。二十三日は新米を食べます。いづれ又。敬具。しぐれけり冬めく鶴蔭柿あまし。十一月十九日雨になれば暇です。

121/1985.1.1
頌春。年頭のお祝詞を申し上げ本年もよろしく、お暇を見て御出掛け下さい。月半ばから暇です。大かがびの如き山なみはつ日いず。おめでとうございます。山のおぢさんがまっています。またきて下さい。

122/整理上欠番

123/1985.2.9
春立ちより気温があがりました。これから豫寒の強いことも来るかも知れませんが、雪が無ので、楽ですが水不足が心配です。御変わりなく御健闘と存じます。学業相変わらず御多忙と御推察致します。岑子も雪が無いので、冬眠せずに南面にて日を楽しみ、山の仕事です。昨年は四月頃迄何もせず雪掃きだけでした。乾柴を背負たり、植林の枝打ち下刈りと行なったりです。孫に残す杉の手入です。弐月になると客も稀なので木を燃して、麦飯を煮て食べたり、とうもろこしの粉をつくり何年か振りで餅にして食べてみました。今度は粥にしてアフリカの飢饉地の人達のことを思ひながら、食べるつもりです。そんな事が農閑期の望でもある訳です。皆々様の御無事をお祈りして、久々にて御伺い迄。敬具。春立ちて根雪の間え雨けぶる。

124/1985.3.15
雛の節句も過ぎ彼岸になりますが、雪が一杯です。学会の事、新しい学業のこと、参月は忙殺なされてと推察します。異常気象で、十日に畑仕事をはじめ又雪と雨で冬眠です。暇ですから、忙しくなれば食すことは厄介な雑穀の試食です。アフリカを想像して、とうもろこしの粥を作たり餅にしてみたり、稗飯を煮たり、四国稗の餅え友人より招かれたり、麦粥や雑炊に招いたり、昔の食べ物を食しています。一方、テクノロジーの発達驚きまして、雑穀や雑草の種別の保存の必要も少し解され、自然界の貴重さが判ってきました。日本民族の箸の使用は不思議なことだと考え出しました。起原やその時代、他の異族は使っているものがあるか、等に付き、暇だといろいろ考えます。 雪中鶯が鳴き、雪が消えると忙しくなります。近況まで。艸々。

125/1985.5.14
学会の方も一段落になりますか。長雨の春から急に暑い晩春になりました。気象の変化には驚きます。好天気続きの大型連休は混雑を極めた由です。処で筍の西原は期です。家族で掘りにでもきませんか。昨年頃より私も急に老齢化して強がりはいっても体調は整のはず、四十年近い田と別れることになりました。雑穀も後何年作れるか侘しい次第です。当然の事とはいえ、若いつもりでも歳月を重ねるとこうなります。雷雨の音だけであまり降らず、他に細雨が少しある程度で乾きすぎました。異常時代ですね。御家族の御健やかを祈ります。御伺ひ迄。本十一日昨年度の貴重なる記録の報告書有難く頂戴いたしました。御礼申し上げます。茶摘みは下旬頃でせう。山峡は遅れます。南米大陸を半年続けた方が帰国した知らせをうけました。アンデスやアマゾンにひかれる私です。御礼迄、敬具。

126/1985.6.10
拝啓。梅雨になりました。夏日が来たり、雨になると気温が下り、変化が激しい。皆様御健やかですか。学会の方は御多忙と御推察します。藷の苗がありました。三十本ほど分譲して戴きたいですが、農友が苗作り

をしているので、来年度の種に新しい品種をと思ひます。四五日位は経ても丈夫ですから厳重の小包でなくても結構です。御都合が出来たらお願いします。最後の農人我も体調老齢化し、田作りや蚕は終りにしました。それに妻が弱くなり、只今入院中遠からず退院します。私も病院え半分家に半分です。雑穀もいろいろは作れなくなります。予期はしていましたが、老人は淋しい。お願に添え近況まで。敬具。

127/1985.7.20

暑中お見舞申し上げます。長い雨期でした。皆々様御元気ですか。学会の御仕事も御多忙と存じます。農子も限界に達し、鍬も句とも離れる時代が来ました。余生を野菜でもすこし作る程度のことになるでせう。

128/1985.8.30

拝啓。乾天続きで残暑は相変らず厳しい休暇も無く御精励と存じます。水稲の豊作型の年ですのに、田をやめた事は侘しい。陸の作物は乾き過ぎました。早朝に起き仕事をしては、日盛りは寝ています。何か空虚さで、読む書くも嫌になりました。虻に夢破られる午睡木影かな。今夏は学生たちもあまり訪れませんでした。妻も元気になりました。只今子供の所に泊まりに行きました。いずれ又。敬具。

129/1985.12.1

例年より寒が早い初冬です。御無事にご帰宅なされたと御よろこび申し上げます。子供さんがお待ち兼だった事と存じます。現地よりのお便り有難う存じました。雑穀が豊富だった由、人も食物も歴史が古いこと思います。大きな成果が得られたことでせう。一年も長く農を持ち続けたいと思ひますが、体調の老齢化と家庭の時代化とにより、農を捨ててしまいました。然し、今後も野菜と標本的に一部の雑穀は栽培します。田を作り句を作るが私の信念でした。誰かがいいました。右手で生活を左手で句を作れと。それが私の信念と共通でした。いづれ改めて寒さ加る折り、皆々様のお健をお祈りして。艸々敬具。

130/1986.1.1

迎春。皆様おそろいでめでたく新年をお迎えられおよろこび申し上げます。十五日頃になりますと、賀客も僅かと存じますので、御出掛をお待ちします。夏より農を捨て、いやみ捨てられた次第です。山村農は老齢では無理です。でも野菜と雑穀の一部を僅か作ります。ハレー彗星の化身か七十六歳を迎えました。妻も元気になりました。新雪のあかさ眠たしむ初日かげ。光岑。

131/1986.2.4

拝啓。待っていた立春が来ました。皆々様寒にも負けず、お健やかですか。寒はまだまだ続きそうですね。地上が白くなる程度の小雪が二度だけでほとんど雪なしの冬でした。雪がないので、南面の山で日中だけ少し働いています。朝は0.5〜0.4が毎日です。昨年の五月頃より体調不調で寒いと腰、足が痛みます。老齢化といふことでせう。それに残念なことに農は時代の異端者じみてきたといふ有様です。ですから事更元気もありません。昨年は試食しようと用意し腐敗させ、本年はじめてゼンブ試食してみました。味の良いものです。残念なのは仲々他の作物のように殖えません。小さなのを二個残して置きます。種子用として本年はトロシバ（山のかん木）でも採ってその葉を粉にして試食してみたいが、葉を採集は六月頃と思います。古い時代の食ものを求めるのは至難なことです。御伺に添えて。艸々敬具。

132/1986.2.24

拝復。春動を感ずる頃になると、本格の寒の期になりますね。然し自然は妙で今度の雪は二六センチで町や市よりすくなかった。御家族の皆々様もお健やかなによりでした。斯界の権威者として益々御多忙の御様子、本懐と存じ御健闘祈り上げます。山村は急激な老齢化で、後継者も乏しく、円高で海外の農産物、石油、等の価格の低下で、更に影響が強められるでせう。山村は年々荒廃して自身の老化で、侘しい限りであり、将来の地球上の食料問題と森林気候、水に人類は将来どう対処してゆくのでせう？年齢と体調不調のため六十年の農を退職致しました。私は今日運動に僅かな耕作です。時代流、人間の一生涯、そんな事を考えることもあります。今度の雪はまだ日向(南面)も一杯の雪で、家居の毎日です。鶴蔭え雪どっさりとかぶりたり。敬具。

133/1986. 4. 9

拝啓。四月です。都は桜が咲いたといふが、梅がやっと咲き出すところです。御健闘を賀し上げます。三月二十三日の雪台風で（五十センチ積雪)、植林、盆栽は散々の被害でした。ハレーすい星の年は凶年の様です。学会のために益々御忙しい毎日と存じます。科学の進歩には驚き入り、老人には原理が仲々解けなくなりました。若い頃なら私もやってみたいことが沢山ありましたのにと考えられます。久々御伺ひまで。艸々。今年で三年、マルチ黒を敷きさつま藷を作ります。成績が良く、孫や嫁が好むので本年は 100 本挿します。新しい品種がありましたら、三〇～五〇本分譲してください。今からお願いします。他は苗床を友人が作るので、友人より譲って貰います。

134/1986. 4. 19

さくらいま駄々こねやっと咲いでり。お元気ですか。四月に入り雨らしい雨は降らず、強い風がよく吹きカラカラ天気で困ります。きのこも露地ですから、割れて榾木にあるうちに乾き大きくなりません。水につけてからの方がよいかも知れません。採りたてですが。今日は珍しく、しめりそうな雨です。拙宅も孫が三人で賑やかです。世代交代です。妻と二人は体が老化で菜園係です。いずれ又。

135/1986. 5. 6

かたくりも春と別れてしぼみたり。日毎に若葉になりました。斯界のために御健闘およろこび申します。連休が終わり、山里も帰省客が去り、静な雨になりました。作五日は尊い研究発表の論誌有難く頂き、厚く御礼申します。六十年間の農とだんだん遠ざかり、時代の変化、自分の老化に無量の感もあります。ハレーすい星の年は凶作の如くで、夏、秋とどんな気象になることやら、お忙しいでせうから、さつま苗は郵送で結構で遅くも二日目には着ます。お暇はないでせうから、取急ぎ御礼まで。敬具。

136/1986. 5. 27

万緑や忙々とわれほととぎす。御勇健と存じ、御多忙の処をいつも失礼致します。本朝二十七日は異国よりのお土産まで添えてさつま苗有難う存じます。種名をいくつかお教え下さい。老人の慰めか、新しい資材を使って試作です。馬鈴薯もマルチ黒を使うと半月早く出来ますね。さつま藷もマルチ黒を使うと早いと仕度して置きます。土温が高まり、雑草も生えないんですね。キャベツにビニールのとんねるを春作りました。普通より早く結球しそうです。取急ぎ御礼まで。追っておたよりします。

137/1986. 6. 2

前略。早速サツマイモ品種名有難う存じます。お土産は数すくないのに、戴き申訳ありません。貴重なもと

だつと思ひます。改めて御礼申し上げます。サツマイモ苗早速さしました。すこしもいたんでいませんで、用意して置きました（マルチ黒を敷いた畑に）。天気が治ったので、茶摘みです。平年より四五日遅れました。昨夏、妻の病院入院で、怠慢した畑は荒れました。農とは只一年でこんな荒れると事のかと、農営のもろさを感じました。粟とか黍を作ると近年は小鳥の防除網を張らねば収穫できず、網を張るは手間のかかることでなやみです。粟・黍も作りました。蚕、田がないので、すこしは暇も求められます。万緑の奥の山より郭公は。御礼まで。敬具。

138/1986. 7. 28

献涼風。蚊を追って団扇ものうし〇〇。異常な夏で皆々様の御健やかお祈りします。戴いたサツマイモ畑一杯に成りました。マルチ黒を敷いた上にさしました。野菜に依っては腐ってしまったり、成育不良です。是からどの程度回復しますか？盛夏。

139/1986. 8. 22

いたどりの花のこぼれや冷やし麺。残暑は強いが、朝夕は涼しい。暑い折も御多忙の御様子、ご健闘をお祈り申します。研修すればする程、奥は深いでせう。老人の私が、バイオテクノロジーの進歩に驚きました。地球上の一木一草も尊いものであるとしみじみ感じました。北里研究所に本社から派遣で研究にいっているが、建設とどういう必要があるのか。バイオロジー研修とは、時代はどこまで進のか。私も二十年位若かったら、と思うことがあります。農を離れ、暇が得られるようになると、体調が崩れる年齢になっていた。ここ一ケ年は行動は一粁内位です。三四年吾亦紅を山野で探したが、どうしても逢えぬので種苗会社より購入して鉢に植えました。吾亦紅がまもなく咲こうとしています。山村に棲いてやっと吾亦紅。雨にて御伺い迄。

140/1986. 9. 21

拝復。秋雨の時期になりました。山村の秋雨と蕎麦の花は深まりゆく秋に対照が好きです。大きくなられたのに驚きました。家でも孫が小三で今年へちまと瓢（ヒョウタン）の鉢植えをしてやりました。キビ五百種とは、きっと多少その中には特性が違もあるでせう。西原ではキビ、ソバが穀類で収穫が早く次にヒエで焼畑にはよかったのでせう。ただキビは連作が駄目で、里芋も古い作物で馬鈴薯は天保以降でせう。とうもろこし、さつま芋は明治です。考へてみると古い時代は単調だったですね。見聞したいもの、実践したいことが沢山あるが体調が老化しました。十五夜に戴いたさつま芋試食好成績でした。無月に終った夜でした。暇は在りますが、もう一年以上車にも乗らず、出掛けずです。農友、句友もほとんどなくなりました。今年は北里研究所に研修で建設と細菌関連がある時代で、円高時代は山村は住み憎くなります。敬具。

141/1986. 10. 23

茶の花やしみじみ秋の日向なり。十一月半の如き寒波襲来に、十九二十日の大霜に終りです。予気はしていましたが、水も凍り、例年より十日は早いです。皆々様御元気ですか。御多忙の毎日と御推察いたします。四百種の黍の壮観をとうとう見学できませんでした。穀物で収穫の早いは黍で夏荏は七十五日、蕎麦も同じで、他に馬鈴薯も早いですね。信州と越後の国境の秋山郷で珍しく粳種を作っていて、是は挽て粉となす由、私は粳は知りませんでした。寒くなると腕、腰が病みが増します。霜枯れて刈り憎い草をまだまだ刈り続けます。焼酎を草疵うずきむる今宵。近況まで。草々。

142/整理上欠番

143/1986. 12. 25
きれいなお手紙ありがとうございました。木のたかいところにはよいみがなっているが、としがよってとれなくてざんねんです。鳥がたべてしまいます。あたたかくなったら、あそびにきて下さい。もうはたけの地がこうり午後でないとだめです。いよいよお正月ですね。よいお正月をむかえて下さい。お父さんお母さんえよろしく。西原はさむいです。それでも雪はまだふりません。おれいまで。雪虫の母まつこどもそばをこふ。

144/1987. 1. 1
賀春。ご健康と皆々様のご多幸をお祈りし本年よろしく。かぎろびの谿々そめしはつ日いづ。光岑。

145/1987. 2. 4
残寒お見舞申し上げます。暖冬とはいえ寒暖交差で低温の日もありますが、立春になりましたので、寒い時期も峠を越えたと存じます。本年御多忙の事との年頭のお話御健闘と存じます皆々様もお元気とおよろこび致します。冬らしく今年は三四回の雪が降りました平年は三月が雪の時期です。然し、暖冬故は消えるが早く南面の山で半分ほど楽しみながら、仕事です。何にやら私の老齢化に似た山村は荒廃行くことが時代とはいえ侘しい。然し、春になれば農の誇りだけはまもりたい。御飛躍をお祈りします。皆様によろしく御伺いまで。艸々。　凛然と紅梅花もつ寒明けり（寒紅梅花開きはじめる）。

146/1987. 2. 23
蕗のとう摘のも奢り山居なり。広大な米国の農場の視察良き体験と存じます。世界の農を語るには米国を語らねばなぬでせう。今後更に農業国の現地視察を願ます。西原だけしか知らぬ私ですが、今日本はあらゆる面で岐路に立っているようですね。益々御忙しい御様子ご健康には特に留意して下さい。皆様にどうぞよろしくお願します。二月前半は暑い程で後半は例年並みで当方は珍しく雪が多く大雪ではありませんが、五回目の雪、春雪らしくあまり積ません。晴日は妻と微々な力ですが働きます。先日は県都甲府市え十年振りで行きました。雪模様で暇のまま。敬具。

147/1987. 5. 18
拝啓。旱天つづきから雨期に変わろうとしてきました。皆々様御健やかでと存じます。何やら異常に振り廻され困難です。山村は農耕は無関心で照りすぎ水不足まで及ばねば晴天がいい訳で、農は崩れてたからです。五月に入り多摩市の都埋蔵文化財センター縄文の村に栽培するために雑穀の種を求めに係員が来ました。四国稗、黍、粟、トウモロコシ、穂モロコシ、蕎麦夏秋、を分譲しました。近いのでこの遺跡公園へ一度尋ねたいと思ひます。雨以来、作り直し、蒔替に追れています。七〜十日間遅れました。照りの被害です。御健闘をお祈りします。雨に青葉が濃くなりました。敬具。

148/1987. 6. 3
拝復。六月は白い花のみ多く咲く、更衣を促す精か、卯の花、柚、やまぼうし、がまずみ、などなど。御勇健にてお忙しい御活動何よりと存じます。野外教育、・・学習・・に根強い農業のいぶきを感じます。私は判りませんが、円高より日本の農業を見直す時代でせう。そこから真実の農業が生まれてくるのでせう。一部の方々が雑穀に関心を持つようになったのも、誠のようで、ともあれ若い世代の力をまちませう。四国稗

を苗作りして、今年は何年か振りで昔型の栽培をしてみます。五月半より痛風にて足腰痛み強く、雑穀栽培も思うようにはならず、現在すこし痛やわらぎ仕事にかかりました。宮さまも行ったネパール、四国稗、何か古い日本人とのつながりがありそうです。昨日は種々の御報告書御礼申し上げます。御礼迄。敬具。

149/1987.6.20

拝啓。雨の乏しい入梅ですね。関東地方は水不足ですが、一月より雨量の多い月はありませんでした。過般は新しい教区運動の展開に付ての記録有難う存じました。皆々様御元気でと思います。私もやっと痛風の痛み快方になり、六月は仕事ができます。何年振りかで、四国稗の移植栽培をして植付終で沢山穫っても困るので、一升位の予定、粟、稗、穂もろこしは休みました。畑はあるが、老人では数多くは作れず、隔年にでもと思います。照りで被害があり、自分が五月は半休業でその空白は大きい。今度関東甲信越小さな旅に上野原町を、その中で西原の雑穀を取材に入れたい予定らしいが、雑穀の村としては現実は僅かな栽培で取材に含まれるかどうかです。ＮＨＫより近日来る予定で七月九日木曜日 19：30 の放送で（再）が日曜 11：20 です。今日は雨なので、休息なのでおたより致しました。敬具。父の日の父老たればぢぢの日か。万緑のいよいよふかしほととぎす。

150/1987.7.30

献涼風。雨も乏い高温の夏、東奔西走の事と存じます。皆々様のご健勝をお祈り申します。五月より照りの強い年で作りし作物の発芽に苦労します。印度への研修の日が近くなりますね。西原も雑穀の村として知られてきました。栽培面積は僅かですが。夏ソバ収穫終り、八月半秋ソバを作ります。キビが出穂で四国稗は八月中旬出穂でせう。先の横浜の新聞より稗の俳句を所望されましたが、突然で間に合せんでした。今度は雑穀の句に挑戦します。夏の日コビリは薯と稗の餅。コビリは小昼の意でおやつのことです。いづ又。

151/1987.8.22

前略。　御出発の日が迫り、御準備にて御多忙と存じます。雑穀の豊富な地方の由、御無事と御成果をお祈り申し上げる次第。猶事務所の由、雑穀の様々な情報が集まることと今後が期待されます。今夏は子供さんとお越し下さるやもと思ひましたが、年々忙しさが増ばかりと御推察します。皆々様にどうぞよろしく。農場で作るとは存じますが、終わりの遅いとうもろこしバンダムを子供さんにお送りしました。馬鈴薯は伯爵種で試食を、準高冷地帯の雑穀や薯、南瓜は味がよい筈ですが、西原も雑穀の村で知られてきました。私も若ければ沢山作れるのですが、黍、粟、稗作るは作れますが小鳥防除の網張が老人には大変な仕事です。黍の草丈が二米近くになり苦労して網を張りました。四国稗は網を張らずでもよいかと何年振りかで少し移植栽培好成績の如し。大雷雨が四回あり、山野水分充分、大根ソバ作りが遅れ、昨日終わりました。鳥類があばれ、甲州とうもろこしは四回作り、発芽した後餌になり皆無、網でも張らねば収穫できず。

152/1987.10.25

菊の花ざかりで紅葉はチラホラです。ご主人のお留守番大変ですね。ご帰国の日が近づかれたと思います。お待ち兼と存じます。九月暑に現地よりのお便りを戴きました。雑穀の収穫が終わりました。みんな豊作の幸です。十月上旬珍しく県の美術館見に行きました。久しい念願でした。ミレーの画で有名です。雨日は休日で、晴日は忙しい生活で、晴ると山へまだ干草刈です。御機嫌よう、いづれ改めて。

153/1987.12.19

前略。恙無ご帰国およろこび申し上げます。先日は皆様ご一同でのお便り有難く心より御礼申し上げます。今回も良きご成果を得られたことと存じます。本日はまだご整理もせぬことにかかわらず、過分なるお土産を戴き、印度のイメージを強く感じます。感動を持ってお礼申し上げます。ご一同様にどうぞよろしくお願致します。年尾ご無事に御越年お祈り致します。霜は二十日遅く雪は二十日早く二回の雪に冬籠りの仕度もとまどい、正月の先どりといった昨今です。取急御礼迄。栃餅や山家吹雪て炉端かな。(友人に栃餅を戴き)敬具。

154/1988. 1. 1

迎春　皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。本年もご高配のほどお願いいたします。かべに掛く黍のたね穂え初日さし。

155/1988. 2. 22

拝啓。暖冬から気早な春一番の吹いてから一変して寒が強くなってきました。その寒さは段々増してくるばかりです。ご帰国なされてよりご多忙とご推察いたします。皆様寒にもご元気ですか。残寒お見舞い申し上げます。さて一月四日以来雪も降らず暖冬で地も凍らず、冬籠りも無く畑仕事が続けられ、荒れ果てた桑畑の一部を桑をこぎ小石を出し、草根をふるい山の開墾と同一で老人には風労働でした。二月より山の仕事と半半でしたが、ここ二三日の寒さは例年の厳寒なみで地も凍り流れに氷が張り、何処を見ても雪はありませんが、雲は日をさえぎり北風はあり、避寒生活です。久々に筆を執る次第です。ご健闘をお祈り申し上げます。敬具。(1) シコクビエについて。◎学名シコクビエの名稱の由来を知っていたら教えて戴きたい。シコクビエほど作物でさまざまな名稱されるものはありません。私知る分でチョウセンビエ（西原)、サドビエ（小菅方面)、鳥の足ビエ、エゾビエ（是は広い)、コウボウビエ（七保)、竜の爪。一部では四国から来たゆえにシコクビエ、コウボウビエともいはれているが、昨年十一月四国高知より、シコクビエに興味を持ち、研究するだといって西原最初に来ました。四国では昔から作たといふ跡はまだ発見できず、話もきかぬ由、彼は十二月タイの北部の山村を尋、現在作ている処、以前は作た処を見て来ました。面白のは稲四サク、一サクをシコクビエを植た混植栽培を見た話です。タイには又里芋の自生といふか野生がある写真を送って呉れました。又東アフリカのサバンナ地方の原生地へ半年がかりで行っている人もあり、四五月頃帰国するでせう。テレビで関東甲信越の小さな旅で西原もとりあげられ、それより雑穀の里としてだんだん知られて雑穀に関しての人々も来るようになりました。(2) 私がシコクビエの不思議な作物と取り上げたのは水稲を作り出して（水稲三十五年間栽培）から播種の時期、植つけ、収穫、同一で田と畑の違だけで、試験手入の同一にしてみたら好成績でした。他の雑穀より何故、移植栽培すのかそれは研究してみませんでした。次に、キビですが、西原では昔からキビのウルチは作た話は聞かず、然しウルチの方がモチより古い筈ですから、西原としてあまり古い作物ではないかも知れません。キビのウルチを探しているが仲々入手できません。長野県の山奥秋山地方では現在でも作って食しているとは聞ています。◎西原で栽培できるキビのウルチがありましたら、ご分譲をお願いしたいですが、二十粒か三十粒あれば結構、十本生育すれば、来年度は友人同志と満足栽培して収穫試食できます。昨年は七十年振りで同志が栃餅をつくり試食しました。まだ昔の古い食物が私の試食しないものが探せば沢山あります。一つ一つ実行に移したいと思っています。農閑期を幸といろいろお願いしました。

おげんきですか。あたたかな冬も、春がちかくなるのに、さむくなりました。雪も雨もふらない、からからてんきがつづき風がつよい日は、土けむりがたちます。どこにも雪は見えません。このあいだはおはがきいただきありがとう。おげんきでよかったですね。わたしはだんだんとしがよってきて、あしやこしがいたみ、

山のしごとに山へゆくのには、つえをついてのぼってゆくのです。でもまい日しごとをしています。さむさでさき出したうめのはなもふるえているように見えます。でも日あしがのびてきたせいか、春のことりがきはじめました。ごきげんよう、おかあさんえもよろしく、山のおぢさんより。

156/1988.3.15

拝復。ご多忙中にかかはらず、雑穀につきご教示の程忝く、特にシコクビエのご教示御礼申し上げます。目立つ事なく真実の研究そのご努力のご成果を期待し尊しと今更ながら感動いたします。シコクビエといいキビといい妙な作物と思はれます。シコクビエは八重穂と普通穂とで、西原では八重穂は絶えました。特徴は収量が多く、味も好きよしなれど、晩生種で気候の悪しき年は完熟せず、霜の早い年は特に凶作になる為作る人がなくなったでせう。又こんなに呼び名の数の多いのも妙です。是は稗より後より作られるようになったからと思はれます。ヒエは西原でも昔は何種類か作られていたようです。田の中でも畑でも草の中でも負けぬ作物です。キビは西原では昔は白い粒と現在の黒い粒二種類でした。六月半頃より作ると(暑くなって)非常に成長が早く七十五日位で収穫できます。ソバ(秋)と同様です。シコクビエは移植栽培が通常で、キビは移植栽培はなぜせぬか、成長が早い為かもしれません。キビは連作が駄目で五～七年位一度作れば休みます。キビ、粟、ヒエは最近は防除網を張らねば小鳥の餌になり、収穫皆無ですが、シコクビエはその点小鳥が僅かかる丈です。焼畑は西原では終戦直後頃迄は僅に残っていました。私の覚えている限りでは、焼畑えはソバ、小豆、大豆、粟、ヒエ、陸稲、里芋、菜類を作りました。特にソバ、小豆、大豆が多かった。◎キビのウルチは不知ないので、農友などと何とかしてこれを求めて、作りたいといふ念願です。キビの飯を食べてみたいのです。キビのモチは餅にし、赤飯、おはぎにはして食しますが、まだ煮たご飯や粉として団子、餅にはして食せず、ウルチでない故に、キビは吉備に通じ岡山県に関係がありそです。童話の桃太郎のキビ団子はおそらくキビのウルチを粉にしたもので臼でついた団子では無く、遠い昔はウルチ性のキビだったのだろうと、農友と話がはずんだことがあり。ウルチを西原へ導入してみたいのです。御健闘をお祈りして、一寸と暇なので、不得手なペンを執りました。ここ急に気温上昇です。皆様にもよろしく願ます。

157/1988.4.25

拝復。本日は貴重なるキビウルチ性種子誠に有難受領致しました。大学附属野外教育実習施設に今度は大変ご迷惑をかけ申訳無くお詫び致すと共にお礼申し上げます。次に日本農業新聞は一度も読んだこともありません。西原では愛読者は無と存じます。キビのウルチ性に関しては前便に申し上げた通り、老人の最終の夢の一つといふことで、飛躍したことでありませんでした。西原に昔より栽培も勿論食した事も無かったことを実現したかったのです。まだ三四年は私も細々と農耕をつづけたく、キビの栽培とウルチ性の導入が得られたらそれを地域に根付け度と考へての事にて、七十八才になります。全くとんだ失礼を致しました。貴重なキビの種子なので、是非成果を得度く、現在不順から不安定な気象なので、八十八夜十日か十五日過ぎの安定する時期に作ろうと思います。鉢に蒔こうか、畑に作ろうかと考へています。完全な穂を五六本得れば来年度は広い畑に作れます。キビウルチ性に付ては、加曾利隆氏より聞き、越後と信州の境、秋山郷で現在でもキビウルチを栽培し粉食として食しているとの話でした。氏は古い食物の研究家で、栽培の方ではありません。日本の山村を隅々まで歩いています。朝鮮及南米(一ヵ年)特アフリカへは三四回行き、全土を歩いた様子、只今東アフリカへ約半年がかりで、雑穀職に付き調べに行っています。氏との出逢は八年位前、私の栽培している四国稗の畑を見の縁です。一年に一度位は西原へも来ます。加曾利氏は日本観光文化研究所員、民俗調査行い焼畑農業に注目し、調理にも興味をはせ、雑穀類の調整調理、山村を歩く。NHK で西原を雑穀の里としてとりあげたのも、氏の書籍や雑誌に西原を発表したのを見たのが動機と思います。私を発

表時にはしてくれます。その度その誌は寄贈してくれます。然しそれにより他からは一度も便りを戴いたことなしです。御承知の如く、名も位置も不用な農人です。他に都教育庁社会教育部文化課埋蔵文化財係（多摩遺跡公園）宮崎博氏、安孫子昭二氏と親しくなる。遺跡公園に雑穀を作りたく種を分譲せしが縁です。五月十四日は筑波大、日本大、その他方々と共に、私の畑と雑穀の話を聞に西原深探かたがたくる由です。何を話したらいいやら。他に四国高知安芸佐藤省三氏が昨秋西原を尋ねて来ました。四国稗に感じ一生をこれの研究に尽くす由、停年退職後の仕事の如く感じました。タイ迄行きました。日本も歩いている如くで、現在西原種とタイ種を本年は蒔き高地は暖なので、先日の便りに発芽したとことでした。取急ぎお詫びとお礼を兼ねていづれ又申し上げます。敬具。

158/1988.5.6

長い連休と異変的な暑さ閉口しました。晩霜から～夏へといた有様です。大変気をつかはれたお便り恐縮です。余生を楽しむ私ですから、お心づかいなく。雑穀の蒔つけ時期ですが、暑さと照りで困ります。又四国稗を作ろうと思います。キビ、ソバは（発芽しました）は作り、粟、ともろこし（甲州種）をこれより作ります。家ではほとんど食しません。長男代になり、農家でなくなりました。東京の二男三男も連休に帰省しましたが、新人類といった私にとつては者達です。時代の変りは老人にはついて行けません。何か大きな矛盾を感じます。然し、私は雑穀を作り、木を育て、その生活は根本には変りなく、耕して天に到る、その言葉が好きです。黙々として、淡々として、生きています。暑くなると花粉症はよくなります。私もだいぶ楽になりました。十四日一泊で西原へ深探の一団は何を得ようとするか、求めるのか。筑波大、日大、国学院の先生達と都の郷土資料館の職員と共同通信の等の由、半頃 NHK でも西原の若葉の風物と雑穀の蒔付を加えたものを撮りにくる予定らしい。葉桜やつばめの来る日となっていて。句を作るそうした心境が乏しい最近です。五日今日は一変して寒さが来ました。皆々様のご健康お祈り申します。子供も上京して、また一家だけの家族になりました。静かな半日なので、筆を執りました。六日より家業です、私独りの。いづれ又申し上げませう。草々敬具。

159/1988.6.9

拝啓。入梅になりました。四五日猛烈な暑に驚きました。是で涼しくなるでせう。皆様お健やかですか。不安定な天候で農家は微力です。私も花粉症から続いて咳かぜにて体調をくずして老人は矢張り年々体力が低下を辿るばかりです。然し農人として頑張っている次第。御伺い迄。艸々。お願いしました黍ウルチ性気候の安定を待って、五月下旬菊鉢二ケに播種しました。心配しましたが、六月八日完全に発芽いたしました。当方は七月三日頃迄の播種は、必ず確実に良き実りいたします。来年は桃太郎の黍団子を試食出来ると、老の夢をふくらましています。右ご報告いたします。

160/1988.6.29

拝復。ご多忙の毎日と存じます。いつもいろいろと心に掛けられ、ご教示下され御礼申し上げます。雑穀研究会に入会したいが、入会しても出掛ける若さがなくなりました。急に体力老化してきました。田、蚕、麦類を捨て、雑穀作り丈を余生の相手と考へましたが、それもあぶなくなりました。果たしてこれから体力が何年もつか？本年は一應僅ですが全部を作りました。モロコシ（モチ性）は何年か休んでいました。是も東アフリカの原産の由、シコクビエと一緒か前後して伝来か、老人になり暇になり、雑穀についても歴史を少しづつ覚えて来ました。鉢でも栽培しみると身近だけに観察が出来ます。六月を終わりいよいよ七月です。御礼を兼ねて、雨が降ると家居ですので、筆を執りました。いづれ又ご健闘の程を。草々。

161/1988. 7. 31

暑中お伺い申し上げます。皆様お健やかにお過ごしと存じます。ご多忙の毎日とご推察いたします。関東は日照不足と低温で困難な夏です。今後どの程度に回復する事やら。晴日が無いので、馬鈴薯や夏ソバの収穫も出来ません。粟や黍は草丈が日を慕ってかのび過ぎ軟弱です。私は老化するばかりで、労力は低下を辿るのみ、山霧一杯と細雨の日が続き、山の高原に棲んでいるようで、別荘暮らしの如き生活です。盛夏。改めていづれ申し上げます。

162/1988. 8. 10

土用明けより本格の猛暑になりました。六七月低温日照不足で軟弱に育ったものは暑に負けます。極端すぎます。白旗村のご成果、期待しています。私の若い頃はまだ西原にも焼畑は残っていて、実際見ましたが、私には体験は有りません。隣村長作では西原より後まで行っていまして、ソバ、粟、小豆と場所により、里芋、蕪菜、陸稲でした。分譲を願ったキビ菊鉢で栽培、二鉢に蒔き間引して、更に一鉢に移植し、四本立十二本健全で、ウルチ性の方が早生らしく草丈も短く、八月末の出穂予定が只今出穂しました。矢張り新しいものは二三年栽培せぬと、トクチョウが判りません。肥料を加減しすぎ不足で、来年の種だけ得られれば、実りの秋にならぬと安心できません。馬鈴薯エキ病か北海道産本年購入の男爵全部腐りました。私の六十年間はじめての体験で、本年の天候は二回目で凶作の年です。キビ穂揃い、粟は遅かったのでまだ、モロコシ出穂中、久し振りで稗を種用に直蒔したが、キビと同日数で出穂す。四国稗予定通り、八月下旬は出穂。夏ソバ長雨で収穫皆無です。西原で七十五日出来る作物、ソバ、キビ、ヒエ、馬鈴薯ですね。トウモロコシ(バンダム)八月早々食べているが、タヌキに良いものを喰われました。私の農事近況迄。

163/1988. 8. 25

前略。夏の無いような年になり、近頃は高温になったと思うと毎日雷雨かにはか雨があり、困ります。関東丈のようですが、老人の僅かな農業は惨胆です。六七八の三ヶ月ですから、人力では及びません。川の水は濁って澄んだことはない半月です。御手紙によるとインドよりの雑穀の大家、来日、西原で足を運んでよいご様子、私はいつでも在宅で、老人ですから一日二日位は暇は有りますが、七月二十三日～四日頃では雑穀は収穫され僅か残るのみで極めて小規模です。私の方は大歓迎です。又感激の出来ごとです。夏の休暇、冬の休暇には、学生や研究家が時々訪づれます。昨日は雨で友人宅に行き、ネパールの四国稗の穂を見てきました。夏、来村した者が持って来たもので、春になったら作ってみたかった。今朝霧で一杯で、又雨か。いずれ又。艸々。

164/1988. 9. 22

黍のたれ穂ほのぼの手にし秋に入る。お願した黍収穫できました。モチ種より早生だった事に栽培に誤算で、穂が小でしたが、私が来年度の種子には満足できます。来年からは分譲ができます。六月以来晴日は数へる程しかなかった不順ながらよく実入ったと感激です。四国稗も穂が色づいてきました。粟も小鳥が食べに来ました。網を張りました。ホモロコシも熟してきて、心配なしですが、小豆、ソバは花が咲いていて、降霜が十月何日になるか異常時代で予想もできず、是非二十日以後を願っています。大根、白菜も成育は悪く、弱りました。陛下のご不例、五輪の秋で平穏を欠く昨今です。皆々様のご健勝をお祈りして野の様子申し上げました。敬具。

165/1988.10.11
前略。来日のシタラム博士日程御知せ戴き有難う存じます。ご多忙と存じます。折悪しき不順な天候にて、六月より十月迄の長期に私の二回目体験で、昭和初期五六年頃だったと思います。是より天候回復の様子ですが、雑穀は収穫期ですので、二十七日には僅か残るかどうかです。ソバ残るでせうが、実は種子程度か、全く本年は散々で天候回復すれば何から整理したらよいやら、里芋、蒟蒻残りました。取急ぎ、御返信迄。敬具。

166/1988.11.1
謹啓。霜月真近になりましたら本格の寒になり、霜も大きく屋根白く風亦厳しく。先日は忙しき日程の中を印度の権威者シタラム博士、西原迄ご来遊下され、是はきっと歴史的出来ことでせう。（西原として）あの広大な大陸から箱庭にも劣る西原で驚いたことでせう。凶作の年で残念でした。然し揃えて置た雑穀の種子は何種類も採種した様子でしたね。菊の花の咲く秋、菊の花の天ぷらはきっと印象に残るでせう。同じアジヤの友人です。また来日をして貰いたい。老人の私は雑穀を作ることを誇りと思います。私の四国稗は凶作の年ながら、平年作には行くでせうが、幸、他の畑と対照が出来たので、お判りと存じます。是も私の種を分譲したものです。黍、粟もどうやら実が入り、蜀黍もそうでした。ソバは来年の種ほど実があるかどうかです。六月より十月半まで日の眼には幾日も無いですから。在来種のとうもろこしは種を失ないました。是からは乾期とでも云うか、反対に雨の降らぬ時期に入るでせう。遅れきった仕事に弱りました。まだ干草干柴を刈るんですが、霜枯れて、枯草刈の如くです。シタラム博士の来日で、何日もご案内でお忙しい事だったと思います。雑穀界の為にご健闘をお祈りします。本年はきのこも不作で、例年ならば、お土産に差し上げられたでせうが。山も野も寂しい年で、小鳥や狸狐のけもの達も飢に辛いことでせう。敬具。

167/1988.11.30
拝啓。十七日に鶴峠の稜線一帯真白でした。以来寒さはつのり、真冬並みです。学界の為毎日ご健闘と存じます。土佐の四国稗研究家、白峰村を探訪現地の様子を知らせて下さいました。今年は暇になったら、四国稗の製粉を作り、お送りします。他の雑穀も精白したらと思います。然し実入りが悪いので、製白できないかも知れず、凶作ですから、仕方がありません。縄文か弥生時代に人と共に渡来と思い、四国稗、きっとインド経由したであろう、その四国稗が里帰りした事に妙な事で私の雑穀の種子が海を渡る。私としては誇りだと思っています。播種、定植、手入、収穫、すべてが稲と同じ時期であることが興味をもったはじめで、こんどは稲の如く刈り取って、知っての通り畑で架けて干すことをはじめました。具合がいいようです。脱穀キは大きく重いので、老人は扱えぬので、穂丈けを臼でつき、これは昔からの方法です。菊す枯れ峠へ寒来て野はむなし。艸々。二十九日みぞれ雪地上少しつもる。山は真白。二十八日予期して柿をとる。甘柿ですが、日照不足で、渋抜けず。雪前あきらめて採る。雪がかかるとだめです。子供さんへ約束ですから、お送りします。食べられればいいですが、皆様によろしく。不順ですからカゼを引かぬよう。凶作の年は何もかもが駄目です。

168/1988.12.13
前略。シタラム博士御来訪記念写真誠に有難く御礼申し上げます。縄文か弥生時代に渡来したシコクビエ、インド迄里帰りした種子が私の作っていた種子とは、農六十年で私が一番の出来ごとでした。他には何もないでせう。四国稗は四石稗らしく、四石とれる稗といふことの意が起源らしく…。一定の種子量であるか、一定の面積であるかは私には判りませんが、一升の種子で四石か？一反歩で四石か？であろうと思います。

切に御健闘お祈り申し上げます。御礼迄。敬具。寒の為持病の痛風がでて、やっと快方です。

169/1989.1.1
本年もよろしくご指導下さい。海こえし稗のすこやかいのる歳旦。

170/1989.1.20
雪ふらずとはいうものの寒である。珍しい寒い暮れから暖冬型に変りました。十二日から一月かけ一度も雪が降らぬも珍しいことで、細雨と霧の日がつづきました。今度新宿からの珍菓お送り下され御礼申し上げます。凶作の粗悪の品ばかり、お眼かけ、とんだご配慮をかけ申訳ありません。珍しく小林央往さんより年賀状を戴き、インドへ本年は行く由を知らされました。私は本年はネパーアルのシコクビエを同じネパーアルのソバらしものとの鉢での試作ですが、ソバは夏まき性か、秋まき性か不明なのですが、夏まきとして作る予定です。頑張って一年も長くやまのおぢさんでありたいと思っています。お子供さんによろしく、好いトウモロコシを送りたい。年頭もご多忙の御様子、ご健闘を祈り御礼まで。敬具。昭和から平成へと変わりましたが、何か思想も経済の上にも変るように思います。雪がなく暖かいので、活動したいが痛風まだ尾をひきて足腰痛みて冬眠の半ば有様です。

171/1989.2.22
前略。平成の世思想と経済変化があるようで、気象も亦世界的に変動があり、暖冬から春への移行に平年より早く、このまま進むか三月に入り寒が戻るか？いつもご健闘と存じます。私は彼岸を待たず農耕開始の予定です。鶯の初鳴きは三月十七～十八日ですが本年は何日か？本年度は畑に試作はキビ粳性で、鉢で試作は入手したネパールのシコクビエ（ガヨマウンテン）、ソバ（ヂシシヘ）又は（ヂシイ？）、現地を知らぬ私はソバが夏蒔性か秋蒔性か不明なので、夏蒔として作ります。未知に挑戦が楽しみと喜びかも知れません。雪は一回で雨がたっぷりとあり、春を早めます。啓蟄を待たで日向は虫もめざめたかも知れません。いづれ又お便りします。皆々様によろしく。立春の日ざしの紅梅はじらいて。持病の痛風で歩行困難で、七〇日この程、友人の薬湯風呂に招かれて、一週間浴しに通ましたら良くなりました。友の手造りの稗の粥（方言ヒエノケイ）を久し振りで食べたり、のんびり静養で、暖冬といっても二月は暇です。

172/1989.4.29
前略。若葉の季節になりました。ご健闘と存じます。気象の不安定で弱ります。五月は雑穀の播種期になりました。今年は是非豊作であってと願っていますが、年々老化が進んで、雑穀作りも骨が折れます。山菜、筍等しゅんになりましたが、連休は混雑で駄目でせうがね。四月半痛む足をひきずり、車で妻と五十年目ではじめて旅を致しました。箱根熱海で一泊翌伊豆スイカイライン川奈伊東迄帰途海岸線を小田原迄、厚木川崎調布で一泊、半日多摩辺りを見て帰宅。私は何処も未知地の地です。晩霜を心配しています。いずれ又。近況迄。艸々。

173/1989.5.12
拝復。風薫る新緑好季野外教育実習への御健闘非常にお忙しくと本日はそれに関係資料を戴きお礼申します。今夏五日市青少年旅行村の冒険学校はきっと成果があがるでせう。「考へている」西原での研究会は雑穀のことと存じますが、私の方は九月初旬頃が好都合です。話すのは雑穀のことでせう？実行の折は詳細をいづれ知らせて下さい。老化して木なら半枯れしたような昨今です。小林央往さんより山口大学へ赴任のお知ら

せがありました。心配して粳キビ八十八夜が来たので作り発芽しました。今年は雨があるので、発芽率よろしいです。シコクビエも苗床に蒔く。雑穀類は西原は五月中に作りたし。四十年来の農友、私の後輩ですが、私の理想を貫徹して紫綬褒章を十八日受章に上京の電話があり、快挙です（岳麗河口湖在）。葱坊主ならんだとなり南瓜うえ。

174/1989. 6. 24

さみだれのやもうともせず薯やめる。夏の行事などの仕度等でお忙しいことと存じます。政治経済ばかりではなく気象も異常つづきです。日照不足低温で困ります。馬鈴薯に疫病発生既に全滅の畑もあり、まだ広がるでせう。燕の来ぬ年で是も気象に関係ありてかはじめてです。山畑に猿らしいが来て荒しなり、野鳥があばれたりです。二十一日四石稗定植、キビ粳は早く作り成育好きも、薄蒔きでした。遅作りの粟、キビは五月三十日の降雹でたたかれ不良、秋の西原での研究会確定なされたら、早めにご一報下さい。孤独になれた私も家居がつづくと人恋しく、足腰の痛もとれず、又改めて。草々。

175/1989. 7. 24

暑中お見舞い申し上げます。国際会議よいご成果が得られたと存じます。私の粳キビ八月上旬の出穂です。予定だけの収穫をねがっています。夏ソバは今年も不作で、二十五日刈取りです。冒険学校が近づきましたですね。忙しい中にも亦喜びと楽しみもあってと思ひます。秋はインドへの由、行く度興味が深いことで、四回目になりますでせうか？お土産に戴いた白檀の筆立今もよい香を発しています。シタラム博士と再会も出来るでせう。広大畑を想像しています。帰国してから第三回研究のこと改めて都合申し上げます。

176/1989. 8. 24

夏も終わる。でも残暑は厳しい。いつもご健闘の程およろこび申します。先日は貴重な時間をわざわざお寄り下され御礼申し上げます。十一月の研究会は農休日で秋の収穫も作りことも一段落した好期です。きっと貴意に添えるでせう。元気ですが心身老化致し方ありません。視力も衰へ、読む書くがつらくなりました。九月になればインド行の仕度ですね。雑穀の国ですね。何回も行くので、理解されるインドでせう。私もシタラム博士の印象は消えません。秋ソバ二十日終了の予定が夕立がつづき二十三日蒔き終り、霜が早いと不作ですが、是から秋野菜や越冬野菜です。よろしくお伝え下さい。今度の玉蜀黍は味が落ちないで食べられたでせう。南瓜やゆうがほ、三四日経ても味は変わりません。御礼迄。インドより帰国されてよりにまた申し上げます。艸々。

177/1989. 9. 11

名月の直近となりぬ露白し。残暑がつづきますが、雨が夕立ぎみによく降ります。不安定天気がつづきます。然し秋の虫が鳴き出して露も白く輝くようになりました。インド行きが迫りましたね。矢張り是からはインドも多少涼しくなる時期と存じます。御自愛の上、ご成果を得られ度お祈り申します。ご訪問下されたシタラム博士の事を昨日の如く思います。雑穀を通して奇縁であろう博士と接したらご健闘を祈るとお伝声下さい。早生の菊花を食べました。新暦重陽の節句ですから。無事黍粳収穫、予定位は収量ありそうです。ご帰国頃に又申し上げます。ご無事を願って。敬具。

178/1989. 11. 17

拝復。目出度くご帰国をおよろこび申します。仏陀の国よりのお土産俸じなことです。終生の記念になりま

す。信仰にはこだわりませんが、佛教徒の日本は国ですから。ですから私は働くことは菩薩の行で、生く限り行は続けることを。シタラム博士と面会なされし由、私を忘れずの御伝声有難し。廿二日は午後は仕度していますから、ご都合の時間で結構です。阪本先生のスライドは私に判るものかどうか私にも解されるので、木俣さんの判断にお任せです。ボダイジュの実を蒔く由、ジュズはこの実が最初ともききました。佛陀の国から興味ある記念でせう。私は又山形の紅花の種を貰いました。花を見たり、若い茎葉を摘んで浸しもので食べる予定です。昨日はヨメナを（ペンペン草）摘んできました。浸しものです。突如寒さが襲来お体をご大切に、私は少し健康の調子を狂はせました。しぐれが続き、黙然として家居です。敬具

179/1989. 11. 28

拝啓。小春日和も崩れたようです。ご帰国後休息の間も無く、研究会開催でお疲れと存じます。研究会には格別の待遇にて更に阪本先生、古守先生より先に挨拶を戴きて忝なく存じました。無名の老人ですのに。阪本先生の講話を何か聴講生になった気分でした。翌日印度亜大陸の広大さと雑穀の畑を思い浮かべて半日感動に酔っていた次第。午後より好い天気ですから、仕事です。気候の変化に体調も亦影響のある私でまだ不調ですが、短日と向寒の時期ですから、以後ぼつぼつ働き続けています。西原は関東山地の雑穀中心である土地であることは妙ですね。交通の開発の遅れも原因でせう。それが世間並みになった現在は米の残る時代、雑穀作りは限定された人になって、年々減じます。野育ちで対照のない生活ですから。自分では自らに厳しい生き方のつもりでも、矢張り自我が強くなります。座談会でもとんだ放言になった点もあり、ご迷惑をかけことをお詫びします。出席の方達はその地方の指導者や先生方と見受けしました。語り合へば、お互いに何かを新に知ることが出来ますね。私の方から謝礼を出すべきに、沢山戴き恐れ入ります。重ねてお礼致します。廿五日は河口湖町の農友（私の後輩で四十年近い間柄）が春に黄章受章し今秋町主催で町を挙げての祝賀会を船津平安閣で開催に招待されましたが欠席でした。農友は私の農道精神の実践者で、欠席は心苦しいが、老人であり、家からバスで行くと乗換えが三ヵ所はあり、階段は苦手で事故でもと思いやめました。今は山仕事はせず、安全な畑で周囲に迷惑のかからぬ事を考へています。是非暇を得て子供さんとお出掛けをお待ちします。土曜日は除く、毎土曜日町の塾に嫁が孫を連れて行き留守になります。皆様のお健やか祈り、お礼に添えあれこれ申し上げました。敬具。

180/1989. 11. 17

拝復。目出度くご帰国をおよろこび申します。仏陀の国よりのお土産俸じなことです。終生の記念になります。信仰にはこだわりませんが、佛教徒の日本は国ですから。ですから私は働くことは菩薩の行で、生く限り行は続けることを。シタラム博士と面会なされし由、私を忘れずの御伝声有難し。廿二日は午後は仕度していますから、ご都合の時間で結構です。阪本先生のスライドは私に判るものかどうか私にも解されるので、木俣さんの判断にお任せです。ボダイジュの実を蒔く由、ジュズはこの実が最初ともききました。佛陀の国から興味ある記念でせう。私は又山形の紅花の種を貰いました。花を見たり、若い茎葉を摘んで浸しもので食べる予定です。昨日はヨメナを（ペンペン草）摘んできました。浸しものです。突如寒さが襲来お体をご大切に、私は少し健康の調子を狂はせました。しぐれが続き、黙然として家居です。敬具。

180. 2/1989. 12

拝啓。八九年も幕が閉じますね。お忙しいと存じます。昨年より友人のわさび屋が暮れに一回丈造るわさび漬、今年も注文したのでお送りします。好評で材料を惜しまず造るたものでせう。ご笑味下さい。次に何年か前に戴いた。ゼンブに似た大和芋の変種も併せてご笑味下さい。煮てもよし、焼いてもよし、すりてとろ

ろにしも味よく、但し凸凹で洗い上げる面倒です。ぜんぶの如く仲々殖へず且つ育ちもニブシ。実でも得て増殖がよいと思います。ゼンブもいろいろやってみるが、ふえません。失はぬよう一株確保して、他は試食してみました。お送りするのは四株あるので半分を試食用に差し上げる次第。夏から秋の不順の天候で、秋作は二年不作で特に本年は柿はすこしもなりませんで、柚はなりました。小さく矢張り日照不足でせう。風呂にで入れて香を味って下さい。良きご越年を祈り、草々。

181/1990. 1. 1

山河春暦日むかし山居かな。光岑。よき年でありますことをさらに本年も精一杯のご健闘をお祈りします。昨年ほとうにご厚志にあずかり本年もどうぞよろしく。天馬飛翔そんな言葉を思ひます。お暇を見てお出掛け下さい。山中暦日も無く、雪がないと正月も南面日向です。

182/1990. 3. 2

四十年振りの大雪、その後も雪と雨でしたが、二月後半から気温が上ったら、毎日の如く細雨です。好日は一割そこそこです。皆様悪性の流感にもかかわらず、お元気ですか。ここ四十日は全冬眠です。怠け出すと何処へもご無沙汰です。次に教育学会の創立準備完了になりますか。インドよりの収集しました雑穀の整理の方もいかがですか。いつもご多忙ご推察いたします。段々雑穀の事が重視されて来たのか、興味を持って来たのか、私の処へも時には尋ねてくる方があります。一月は昨年桷原の長寿村を編集の記者達が健康医学誌の方が来宅、私の話を聞に来ました。三月号に玄米雑穀を見直すの特集号のための如くでした。自分でも雑穀を試作したい由、三種類ほど分譲してたりました。〇古代から日本で何ヵ所かで作られている神事用に使ふ赤米を食べたことがありますか。都の遺跡関係の職員(知人)が、日野市落川遺跡の調査会で苦心してカマドや用具を復元して、古代人の食べた飯を作り試食を教へて呉れました。弥生人の食べた飯ですね。煮ることをせず、蒸して食したで、鍋は土器では無理だったのでせう。二月末福井県へこの大会に行く由で、赤米の種があるから試作を奨めています。恐ら玄米で蒸したでせうから、現代人には美味ではなく、雑穀の飯と同様のように思います。次に平素足腰の弱いのに、不注意にも家の前の坂道で残雪の凍ったため倒転して左腕を脱臼骨折で一月十八日町の病院行き治療を受ました。幸に軽傷で入院せず週一回づつ通って五週間目でギブスをばとりましたが、脱臼は仲々後を引くものの如く、手間どれますが、元気ですが、三十年目で医師にかかりました。八十才で新生再起に努めていますが、畑にはまだ当分立てません。いずれ改めて申し上げます。

183/1990. 3. 2

四十年振りの大雪、その後も雪と雨でしたが、二月後半から気温が上ったら、毎日の如く細雨です。好日は一割そこそこです。皆様悪性の流感にもかかわらず、お元気ですか。ここ四十日は全冬眠です。怠け出すと何処へもご無沙汰です。次に教育学会の創立準備完了になりますか。インドよりの収集しました雑穀の整理の方もいかがですか。いつもご多忙ご推察いたします。段々雑穀の事が重視されて来たのか、興味を持って来たのか、私の処へも時には尋ねてくる方があります。一月は昨年桷原の長寿村を編集の記者達が健康医学誌の方が来宅、私の話を聞に来ました。三月号に玄米雑穀を見直すの特集号のための如くでした。自分でも雑穀を試作したい由、三種類ほど分譲してたりました。〇古代から日本で何ヵ所かで作られている神事用に使ふ赤米を食べたことがありますか。都の遺跡関係の職員(知人)が、日野市落川遺跡の調査会で苦心してカマドや用具を復元して、古代人の食べた飯を作り試食を教へて呉れました。弥生人の食べた飯ですね。煮ることをせず、蒸して食したで、鍋は土器では無理だったのでせう。二月末福井県へこの大会に行く由で、赤

米の種があるから試作を奨めています。恐ら玄米で蒸したでせうから、現代人には美味ではなく、雑穀の飯と同様のように思います。次に平素足腰の弱いのに、不注意にも家の前の坂道で残雪の凍ったため倒転して左腕を脱臼骨折で一月十八日町の病院行き治療を受ました。幸に軽傷で入院せず週一回づつ通って五週間目でギブスをばとりましたが、脱臼は仲々後を引くものの如く、手間どれますが、元気ですが、三十年目で医師にかかりました。八十才で新生再起に努めていますが、畑にはまだ当分立てません。いずれ改めて申し上げます。

184/1990.4.5

拝復。花の世をご移転とは大変なことだったと思ひます。都内では珍しいことでは無いでせうが。（調布から甲府へ転勤した子供の処へ行きましたら、二か月経る忙しさで、そのままの荷物がありました。東京支店から甲府へもう一年調布にいましたら、本年はお尋ねの予定でした。）阪本先生の講演、小野田先生のこと、絶えずご多忙ですね。野外教育、実習に是非素晴らしい成果をとご健闘お祈りします。私は思はぬ路上転倒で、一月半より空白つづきです。キビの粳で桃太郎のキビ団子を試食を楽しんでいた長い雪の日も病院通いで終りました。三月廿一日より一週間老妻と甲府湯村温泉―塩山と保養を兼ねて湯治に行きましたが、左腕が不都合か苦痛が多かったです。甲府は桜満開で白雪の峰々南ア、特に甲斐駒の雄姿が桜と印象的で、富士は時々霞んで見えるのみ。遺跡等から出土した現在一番古い雑穀の炭素化して発見された年代を教へて下さい。弥生か縄文か？春の農耕期ですが鍬もまだよく使へず、空虚な毎日で、いづれ又。敬具。

185/1990.5.15

立夏の日から高温になり、僅か一週間で作物も平年並になりました。八八年に譲って戴いたキビ粳 13 粒八九年は七升の収穫が得られ本九〇年精粉し、知友、農友とキビ団子の試食いたしました。念願の桃太郎のキビ団子を味はへました。古代食の味でせう。大好評でした。キビ粳の団子の味、知っていますか。（キビ粉は僅少あり）猶シコクビエの精粉もあります。食べる事が出来ましたら、お送りしませうか？希望でしたらご一報下さい。皆さんお元気ですか。西原へお出かけの機会は仲々ありませんね。五日市から川乗、武甲トンネル開通で近いそうです。一月転倒の影響が残り仕事の為にも、左腕の為にも苦労していて空いた畑が増してきました。老人は矢張り駄目です。頑張っても限界がきたといふことです。それでも山形の紅花と福井か石川の赤米の試作をしています。ネパールのソバももう一度試作したし。

186/1990.6.16

つゆいりぬシコクヒエ植ゆ無事である。いつもご多忙ですが、高温の入梅皆さんお元気ですか。武甲トンネルが出来てより、五日市が近くなりました。昔塩の西原へ来た道で、遠い時代より縁のある処、さて私も痛風と腕の故障で苦しい百姓です。でも四石稗四十五日苗を植えました。キビ粳は桃太郎の団子として人気があり、朝日地方版へ掲載されまして、県外の友人よりも賛辞がありました。粉はお送りせぬ間に、品切れでした。雑穀の実のる頃は誰かが取材や写真撮りに来るでせう。学校から奥の方へ猪が家の近くまで馬鈴薯喰に暴れ、鳥類は発芽を荒します。皆さんご健やか祈り。艸々。

187/190.8.8

残暑お見舞い申し上げます。立秋になりました。日照はつづきます。御多忙と存じます。子供さんと海か山へ行かれましたですか。とうとう子供さんと西原に来遊の機なしでしたね。キビ粳新聞取材された為か人気です。お蔭で苦労しています。只今穂揃で小鳥の防除網張ですが六月より七月半迄で日照不足で徒長して

1.60m 位で妻と私では高くて完全に張れず、半分くらいは残るだろうといふ有様、日照と暑で身心疲れ果てました。今から収穫中のものはいいが、秋のものは凶作、照りで半枯れしてきました。秋野菜作りですが、いつ作れるか。アフリカ通の加曾利氏が年三回来ます。七月海外旅行（半年）出発前に語りました。いづれ又。艸々。

188/1990.10.6

照りの夏から雨の秋に移行してきました。いつもご多忙とご推察、ご健闘の事と存じます。夏は雲採山へ登た御様子、若い頃私も二三回登りました。秩父三峰へ一度、一度は飛龍（大洞山）迄歩いて見ました。老化して二三年内に出なければ生涯だめだと、信州安曇野に旅し、九月廿三日より、卅日帰宅、念願故笹村先生設計の碌山美術館を見ました。穂高のわさび田、大町の蕎麦の花を見にと廿五日尋ねると既に刈取りで驚きました。穂高の町も西原も花盛りなのに標高九〇〇米の由、七〇日かけての完熟で、西原では七十五日と云う。早生種らしく種を僅か入手、来年はこれに挑戦してみます。ネパールのソバ二十四日照で失敗。友人がアフリカのトウジンビエ試作、穂長さや殻の長に驚きました。遅い蒔付に完熟が心配です。雑穀収穫終、後はソバ、大小豆、芋類だけ。お忙しいので、西原へは子供さんと中々出掛る機会も無いですね。最近、山のけものが作物荒しに出たり、小鳥や鳥鳩が暴れ、老人百姓、益々大変です。作ても発芽をやられ空畑になることもあります。中東問題やら世界も平和への悩は多ですね。アフリカは広大で何の辺への視察です。アフリカ通の加曾利さん著書又話をよくもちます。土日は加曾利さん、古守先生、雑誌の阿部氏を交へた懇談会に招かれています。いづれ又。

189/1991.1.1

頌春。ご一家のご健康をお祈り申します。忙しい時代が続そうです。むろがやの奥郡内も初光り。光岑。キビ粳の反響は広がり、昨十一月七日県の試験から拙宅に来て、種の所望をされました。元年でした。信州大町市より秋早生そば百粒得、本年は西原に適すか挑戦し、小鉢花を眺めるために春秋そば蒔き、是は実は得らず花用の試作、山形の紅花は花として成功、紅花の茶を試に飲ます。暇ですから。

190/1991.2.25

拝啓。余寒の厳しい弐月です。（右眼も視力弱くご判読ください）年度末その他でお忙しい事と存じます。皆様お健やかですか。かつて無理にご分譲を乞うた黍粳（秋山郷産）成功してと、評判になり昨年は山梨版（朝日新聞）大きく取り上げてくれました。私は県では著名人です。雑誌や冊子で県外で私を語り紹介も一部でしいて、雑穀の方の篤志家やその道理解者三四深交しています。世界の七分の人が現在食する雑穀を日本丈失ふも惜しく、縄文以来四千年といふ、ここで終るとは、私も小さな力ですが、普及と保持に努めた運動県外に広がっているようです。視察、研究の人も年々二三名来たり、種を求めた人達必ず、二三人は尋ねて来ます。遺跡のグループ安孫子氏金子滝川さん達は年に二回位来ます。昨秋は山形県の芋煮会を西原の川原やりました。参加 22 位、芋、コンニャク、葱は私の提供、もっと二年前より秋川川原で催すのに送っていました。昨年は凶作の芋で現地といふ訳でした。安孫子氏は山形出身で、紅花は氏より戴く。春はアフリカの由、湾岸戦争の影響が心配ですが、大国ですから安全地帯も広いでせうが、気付けて下さい。（加曾利隆氏は三四回行き、その都度ことを刊行した書籍を私も読んでいます。）昨年一月坂道でころんで、左腕脱臼骨折し、町の町立外科に四月迄通院後、温泉に行ったり、五月より百姓にかかりましたが、夏の暑さと無理が祟り、十一月疲労で健康害し、暮に年賀状書きれず、寝込みました。今一月七日町立病院内科入院、二月八日通院、町立に眼科なく、退院間際へクナイ症か、左眼失明、右岸視力弱し、病後の快復も待ち、東京

立川市の眼科への予定なり。今五月頃迄に、どの程度回復するか？畑に立てぬ場合は鉢栽培で是は〇のた試作するもの、1 信州の早生ソバ、2 ネパールのソバ、三四日。付きましては一昨年桐原の研究会で徳島県の人らしい方、氏名知らず。古くより黍粳作り居る話を離れて聞きましたが、実際でしたら信州秋山郷のものより前のような気がします。対岸岡山県は吉備といい、恐らく国名から黍の名生じたか、黍により国名がつけられたで、徳島の黍はこの流と思い試作し、比べて見たいのです。山地の山村にあるでせうが、知っていたら是非共に是を紹介して戴きた。一〇～二〇粒で結構で。今後こうした事でも行はなければ、老人には何も出来ず、空虚さばかりです。失礼多謝。艸々。

191/1991. 3. 14

拝復。一進一退ですが、春になります。梅が咲き出しましたが、今日十四日雪が降り里は積もりませんが、山は白くなるでせう。三月四月は年度末と年度初めで勤の人は多忙期ですのに、厄介な事をお願いしました。大変ご厚志のこもったご返信に忝なく御礼申し上げます。歳月の過ぎるは早く、五月よりはいろいろ職耜にもご変化のご様子、どうぞご健康には留意して下さい。私との出逢いも十何年か経過するでせう。西原の雑穀を世に出して、呉れたのでした。次加曾利氏で是によりテレビの小さな旅で取り上げて、段々県外に知られ出したんですね。私も農をやめてより、先栽ものと、余命を雑穀の保持と普及に小さいながら努めてきた訳で、その小さな運動も、一部で雑穀の重要性を取り上げ、その輪は大きくなりました。感謝せねばなりませんですね。暇が出来たらお出掛け下さい。視力が悪く、ご判読ください。（読むこと書くこと休んでいます。）私も昨年から左腕の負傷より散々で、不自由な腕と暑で、疲労と風邪で十二月半より寝込、一月七日より二月八日迄町立病院に入院、退院近く眼は白内症で左眼失明、右眼も悪く、今度は眼科で立川共済病院に入院の手続きやっと漕ぎつけベッドが空次第入院で三月末から四月でせう。回復したらいづれ。お礼まで。艸々。

192/1991. 4. 25

前略。ご無沙汰になりました。いろいろご多忙とご推察します。自然界は花より葉へと移行してきました。皆様ご元気と存じます。私も白内症の手術成功し、視力が回復してきました。当分滴眼（目薬）と時折は立川共済病院に健診には通います。冬から畑はそのままで、時期ですが体力が落ちて仲々畑作業は思うように行きませんが、遅々ながら、老人なりに努めています。六月頃には体力もきっとつきませう。そう自分自身にもいいきかせています。視力が戻ると立川迄の車窓風景が楽しめるようになり、遠望も段々はっきりしてきました。山村は年々荒れて草深い処になる。都会は年々緑が減り、対照的です。若葉風ジャガ芋の芽生えにける。いづれ改めて。艸々。（眼科へ入院の前日作った。早掘りジャガ芋）

193/1991. 6. 19

前略。ご疎遠になりました。盛夏迄に奥秩父の山荘完成しますが、お忙しい毎日と存じます。私は三月より眼治療健診等で雑穀作りも本年は全部は達成できません。又今二回入院で三週間経ました。後一週間位で退院で長い怠慢で体調も崩、すっかり老化です。読むことも書くことも久しく遠ざかりやっと少し書ます。年令ですから再起は望めず、あるがまま行くままです。戦前若い頃は雲採山から三峰神社迄行ったこともあり、足は自慢で山を歩きました。昨夏は雲採山だった様子林の中の家も好ましいでせう。樹下石上そんな言葉も思い出します。快方ですから御安心下さい。いづれ又家に帰って又、お伺まで。皆さんにもよろしく。草々。六月は高温で、雨のない梅雨期家の方はどうなっているか？万緑へさんさんそそぐ日の光り。

194/1991.6.25

紫陽花や傘さす女の顔見えず。光岑。土曜日は早ばやお忙しいでせうに、お尋ね下され、誠に有難く、特に鄭重にもお見舞品まで戴き忝じけなく厚くお礼申し上げます。昨年より老齢化のためか散々で視力も悪くなったのを老人の故と思ひましたが、白内症だったんで、全く失礼をつづけていました。お詫びします。土曜日は午後小雨の中を、はじめて多摩ニュータウンへ安孫子さんの案内行き遺跡公園を見学して、庭先に四国稗を安孫子さんの作た苗を植えて来ました。花に春秋ソバの種を上げたら花が咲いていました。秋ソバですから実とれませんが、七月頃迄は咲いているでせう。私は名は知っていたが、実物を知らなかったエゴノキをこの庭で見て西原にも自生の木で白い花を水につけると、シャボン玉になる液（裏より）がとれ、せっけん代わりになる事は本で読んだが、実物を見たのははじめてです。次にまだ退院予定不明で、来週は左眼でせう。自分でも快方が判って来ました。手間はかかっても見込みはあります。兎もあれ今年は雑穀だめで、秋ソバ(信州入手)七月下旬試作はやりたい念願です。あれこれを加え、お礼まで。

195/1991.6.30

長生し眼を病む病棟夏木立。光岑。先日（土曜）は誠に有難とう存じました。いつもお元気で何よりと存じます。昨日珍しく次男（在都）が来て呉れましたが、今の世は実に忙しい時代だと語っていました。私の退院予定はまだ未定で七月も一週間は確実在院でせう。午後は月火を除けで暇で、四時間位ならば外出は許されます。畑はあきらめました。眼の方はクモリが少しとれ視力がつきはじめましたが、完全にはどうですか。主治医の先生、学界に行き三〜四日不在ですので、尋ねられませ？流石日曜日は閑散としています。艸々。頭の方まで空虚になりしうで、あきらめて淡々とした気持で句作でもと思っています。水の良い病院なので、その点は救はれます。

196/1991.7.4

前略。昨日のお葉書戴きました。八時半の診察の折、主治医より外出許可を戴きました。日曜は昼食（十二時）十二時半には約束できます。四〜五時間予定です。ご拝眉の折いろいろ語れると存じます。来週は退院で、完全には治りませんが、独眼でも不自由はないと思ひます。長い間のご深交ですから、一度はと私も思っていた次第。皆様によろしく。ご返信迄。廿二日遺跡公園の庭にシコクビエを（廿株位植え）。花蕎麦のすがし花咲く遺跡園。光岑。秋ソバを蒔いて貰ったのです。そのソバです。

197/1991.7.9

いよいよ盛夏です。日曜日には休暇に入る前いろいろお忙しい中をお送迎をして戴き、老人とはいえ一つの念願でもありました。学芸大の農園を見学して、満足いたした次第です。ここまで年令が達すると来年のことは予定に入れられません。その日その日のあるがままです。山村と云ふか農の振興に注ぐ情熱頼母しく存じます。一粒の力は大きいものです。ご健闘を祈ります。大きくなったのに驚きました。あれから何年かしら折りがありましたらお出掛け下さい。嬉しいご歓待に心よりお礼申します。奥様にもよろしく、ほんとうにゆっくりさせて貰いました。月曜日から眼帯をとり一週間、具合を見て日曜日に退院致し、長女夫妻がお盆の墓参に行のに一緒です。家に帰れば疎遠になりますが、お礼まで。敬具。

198/1991.7.20

暑中お見舞い申し上げます。皆様のご自愛お祈り致します。此度在院中はお見舞並びにご配慮を戴き厚くお礼申し上げます。終生の思ひ出を積みました。奥秩父の課外教育準備でお忙しいと存じます。ご健闘の程を

やがて素晴らしい成果が得られると期待致します。予定通り十四日退院致しましたが、左眼の本復はまだまだで秋になると思はれますが、遅々ながら視力強まって来ました。延にして百日位病院生活を続けため、体調は軟弱化して帰宅しても、病棟生活の延長で、なにも出来ません。日暮蝉が鳴き山百合が咲き、梅雨を真近に明けるでせう。いづれ又。近況申し上げます。敬具。

199/1991.8.10

七月は暑かったが八月はまたつゆが来たような天気が多いです。夏の休もすくなくなりましたね。今年は秩父の山でお父さんやそのたの人たちで夏をたのしんだですか。私は二年か三年まへから眼が悪いので、おたよりがかくのがいやでごぶさた、いつも致しました。今年は三月より立川の眼科にかかり七月十四日家にもどりました。ですから畑にいろいろつくれませんでした。まだ眼の方で立川へ日帰りで診ていただきに十日に一回位は行きます。お父さんがいそがしいので、西原へなかなか来ませんね。右はよいが左の眼が治りきりません。とうもろこしに狐や鳥がたべに来てこまります。キビへは雀です。やっとあみをはりました。夏もどこへも行けずです。西原は八月のおぼんです。町に行った人も帰りにぎやかになります。今度はきっとおたよりが書ます。お元気で。

200/1991.8.17

秋の気配が致します。蜻蛉が訪づれ法師蝉が鳴き夜は虫も鳴きます。慌しい休暇も僅かになりました。秩父の山の課外と云うか、林間学校は何日頃か何日迄でした。又何処へか講演にでも出ていますか。不順で八月雨が多く、これから下旬はどうなりますか。私はあれから七月十四日退院、昨八月十四日三回目の検診に行きました。経過良好で次回は二週間後です。然し体力づくりは駄目です。是から十月頃までにはと耐えています。でも信州早生ソバの試作は作れました。今日は結球白菜の苗を蒔きます。八月お盆ですか賑やかです。是から秋野菜作りです。平年とは反対に畑がしめり過ぎです。又里芋はひとり元気です。モチ黍、粟、大豆は作れず。雑穀は一部栽培せしのみで、それも放任したままです。いずれ又、申し上げます。書くことはまだ不自由で近況まで。艸々。

201/1991.10.13

暫くです。あれからご消息判りませんが、皆様ご健やかと思ますが、お伺申します。本年は雑穀の研究大会は北国ですか、南ですか？八月廿日の集中豪雨で桐原沢渡地内、車止めでそのままで半分は陸の孤島で重要物資は青梅線で小菅経由なのです。週一回の台風もその後風雨もやさしく災害は増しませんが、日照不足と長雨で秋野菜も腐敗病などで不良です。私も退院後三ヶ月、お蔭で視力は復帰し拡大鏡を使ってすこし読書もします。九月廿四日歩たり車に来たりで、やっと立川へ眼の検診に行きました。信州早生ソバ試作畑土砂で流失、何本か残り、七十日で収穫できることは判りました。その内又申し上げます。草々。

202/1991.12.10

拝復。広範囲の調査をなされたご様子、貴重な発見もあったと存じます。ご動静を尊く感じました。雑穀、雑木林、自然界を忘れた反省、私も考へさせられます。ご発展を祈ります。退院後、六十振りの台風の大荒とで散々でした。車が八十日不通には弱りましたですね。バスはまだ未定の由。後遺症は残っています。視力は強くなり、十月頃よりテレビや新聞も見ますが、老化した体は若返らず、運動を兼畑に出て自家野菜作りです。退院後やっとソバの試作が出来ました。ネパールのソバ三年目で普通のソバより廿日晩生が判り、信州の早生は十日～十五日は早いです。この試作畑も土砂で流出、やっと来年の種丈け確保です。来年は試

食できるでせう。お礼に添えて、いずれ又。艸々。

203/1992. 1. 1
拝年献寿。とし明ぬ出水の流木へ日がさして。

204/1992. 3. 6
待っていた春がきます。お元気ですか。冬は何処かえスキーに行きましたか。四月の新学年がすぐ来ますね。私は雪のすくない冬でしたから日向で毎日仕事をすこしづつしました。まだ寒い日もきませう。カゼを気をつけて下さい。お母さんへもよろしくね。さようなら。東京のサクラは 26 日開花の予定とか、西原はそれより 15〜20 日おくれますね。梅が三分咲です。2／27 久し振りで立川へ眼の検診に行きましたら、サクラのつぼみが大きくなっていました。昨年は 3／14 に入院でその折つぼみの赤くなったのがありました。私は三月半鶯が鳴き出すとジャガイモ作りをはじめます。昨年は夏と秋は天候が悪く不作でした。今年は良い天気で、お送りできるものがとれればいいですが、久しぶりの雨です。

205/1992. 3. 24
ご無沙汰のままでした。土日も返上で同志との連絡講演又雑穀他の視察とお忙しい活動を続けてと存じます。東京の桜は開花予定が廿二日と発表されて春の展開が今年も早い年のようですね。一月も二月も暖冬で、雪日も少ない年で日向の畑は凍らず毎日畑仕事が出来て退屈せず、済んだ冬でした。老人の私の体調は思うように復帰しませんが、あせらず運動を兼ねて体力づくりです。林や竹林の下刈や藪の整理（山畑の傍らの）で出たものを畑の一部に運び焼畑のまねをして、焚しています。燃し後の畑は作物の成績がよかろうと試しています。退院後は外出もまれで、地区の人達とはあまり語りませんし、農友や句とか盆栽仲間も無くなり、取り残された有様です。去年八月の台風の被害はまだ残っていて、バスも完全に通らず、過疎化が濃くなったように思へます。本年は雑穀の一部は種を失ったものもあり、又粟黍等の小鳥の防除の網を張る、網張りは老人に大変負担なので、栽培が出来なくなります。◎日本も世界大きな転換期が来たようで、どう変わるか？時にはそんな事を考へてみることもあります。山地の農業は時代にそへず崩れて、後を嗣ぐ物もなくなります。世界人口の七割か八割は雑穀食だといふが、将来はどうなることか。私は老人でも蕎麦は作れるので、昨年の試作を続けるつもりです。ネパアール、信州早生、普通種と比較の試作畑は八月の出水で土砂の流込で僅か種用が残っただけですが、試作しそれぞれの性質や特性はやっとつかめました。試作目的は八分果たしました。天候が良いと期待が持てます。春の彼岸は、雪と雨でもう十日休眠で、空白になり天候が快復すると、一度にやりたい仕事が重なりました。退屈でご迷惑ながらあれこれ申し上げました。読みたい本もあるんですが、目が完全に〇らぬので、目を労使せぬようにしています。二月廿七日検診に行き四月中に行けばいいですが、幸老人の生活には拡大鏡を使ふと不自由しません。お体をご大切にいづれ又の日に。艸々。

206/1992. 4. 8
東京は桜満開の御様子、天候は変化の多い春です。先日は御多忙中をいろいろ参考資料お送り下され有難くお礼申し上げます。特にインド亜大陸の雑穀農耕文化は興味深く、私など知ることない世界を知ることが出来まして生き甲斐を感じます。昨四日暖で山桜が咲き出しました。ジャガイモ植え終り、里芋、続トウモロコシです。体調老化で疲れます。お礼迄敬具。

207/1992. 7. 15

梅雨つづく奥郡内は霧のなか。光岑。梅雨末期になりました。平年は廿日頃の梅雨明けの由、旬日中に明けるでせう。今年も野外教育実習施設奥秩父ですか。休暇が真近かで準備その他で御多忙と存じます。ご健闘を祈り上げます。昨年は三月頃より七月十四日迄在院でしたが、グロキーになって了った私ですが、毎日運動を兼、手近の畑に僅づつ出ています。信州早生ソバ百粒を試作成功しました。二回繰返し作り、収量二升にしました。（四月卅日作り、七月十三日七十五日目に取上げる）当日に即秋ソバとして作る霜に会ぬ九月中収穫予定、種子は沢山あるが、作る畑が広くありません。遠い畑は足腰悪、通えず、ネパールのソバは四月十日苗として作り、植たもの、花穂出る八月半収穫予定、秋ソバとして七月一日作る。100 日予定で、十月十日頃は完熟予定です。折がありましたら一度お出掛け下さい。草々。

208/1992. 9. 5

こおろぎが鳴く夜となりましたが、九月になっても厳しい残暑です。今夏は不安定な天候でした。奥秩父の野外教育環境教育と夏の休暇はご忙殺にてお疲れと存じます。十一月は雑穀の大会、小金井校内で開催の程、休暇が終わって暇も無くとご推察いたします。皆様お元気とは存じますが、この異常な残暑お健やかをお祈り申します。昨年は八月下旬より台風で大被害で、豆類や玉蜀黍発芽して種子も得られませんでしたが、本年は梅雨明けより雨が降らず、八月下旬よりの猛暑にて旱魃になりそうです。作柄は良かったですが、この日照りで関東は何処も同一でせう。山畑ですから乾いて作た大根も枯れ、秋野菜は蒔くことも出来ず、白菜苗床ですが、雨が降らぬと定植も不能です。後十日も雨が無かったら水不足でせう。台風は逃れたので、黍は近日収穫でシコクヒエは穂揃に、穂モロコシ穂揃です。老人でも作れると蕎麦の試作に取組ました。作物で蕎麦ほど天候に支配されるものはありません。秋蕎麦は早く作ると台風で倒伏し、遅作すれば霜が早いと駄目で毎年安定した収穫は難事なので、昨年より信州早生を試作している次第です。春蕎麦として作りましたが、是は成功、七十五日で完熟。秋蕎麦として第一回を七月十四日～九月半頃完熟。二回目は八月六日（普通種と同一頃）只今花が咲き始む。三回目を八月十二日（やや遅れて）。一回目は成功しそうですが、日照りで二回目三回目もこの日照りでは、今後雨が降ればどうなりますか？ネパール種は成育は実に遅ので、春蒔してみましたが、秋蒔性らしく夏の暑さでは実がつかず、現在収穫に至らず。秋蒔として七月一日に蒔ました。現在花穂が見え出しました。十月頃迄に収穫できればと思っています。◎本年は早生食用菊を作り、七月下旬より天ぷらとして食べています。一部は干して、茶として飲もうとしています。九月になっても夏以上といふ暑で仕事も進まず久々にお伺まで。草々。

209/1992. 10. 9

拝啓。日照りから雨期へ暑さから寒へ急激な変化です。夏期の研究が終り、秋の調査研究とご忙殺の程のご動静忝じけなく承りました。十一月の雑穀シンポジウム貴重な話が出るでせう。雑穀のために盛会を祈ります。黍粳で栄村は忘れられません。一つまみのネパールの蕎麦の種、四年試作してやっと試食できる量を収穫しました。春作でも移植しても 110 日より 130 日位完熟までかかり、結局秋蒔性らしいことで七月上旬に作り成功でした。今度は是が食べる際、麺（ソバ切）で食すか、餅かパン用か現地での食べ方（調理法）を知っていたらご教示を願いたいですが、冬になったら試食です。信州早生蕎麦は春作り、七十五日完熟、秋は七月半より八月半迄に三回作ってみましたが（本年は日照りで暑かつたので例外でせうが）、六十日がいづれ四十五日かけました。早く収穫できるのに驚きました。足腰が弱り鳥の防除網張が難渋で黍粟は多量は作れず、シコクビエやソバが老人むきです。お礼に添えて、いづれ又。草々。

210/1992. 11. 17

茶の花へ蜂のまだ来る日ざしかな。光岑。快晴のまれな秋で、話にきく日本海に面した地方の如くで困ります。雑穀の大会が近かずき、準備にご多忙と存じます。期待の大きい大会で、もう少し元気でしたら参加できるのですが、ここ迄で老化しては、思う丈で体がついてきません。天変地異に加えて人口問題と世界の食糧事情は段々危くなってきて将来は心配で日本もやっと米の作付けに気がついたようです。政治も経済も苦しんでいる時代ですが、生くることは食う事ですね。それが一番先です。二年続きの不順な天候で昨年は種も得られぬものもありましたが、本年は台風が一度もなく、倒伏せぬので、シコクビエ、モロコシ（穂もろこし）、は平年作で、寒さが早いのに晴れの日が無いためか、霜は平年並、初霜十月廿八日十一月二日三日寒波大霜で天候安定かと思ったが、再びぐづついた天候です。日照不足で、収穫したものが乾き上がりません。山野の木実は不作故か、山のけものや鳥が荒して、軒に吊るした種にまで鳥が来ます。蕎麦ネパール産四年目で成功しました。信州早生三年目で実用化。暇な折り精粉を一部送りたく存じます。もろこしの方も食べた事はあるでせうから是も亦送れます。初冬になりました。老人ですから寒くなると僅かな時間しか仕事はできず、御伺に添へ近況を。敬具。

211/1992. 12

シコクビエの精粉お送りします。早くと思いましたが、精粉所なら早かったでせうが、昔の味をそのままにと、水車を依頼して石臼でひきました。食べ方はご存じでせうか？白旗村でオネリは食べたとのこと。器に粉を入れ熱湯を注ぎ箸かサジでねります。後食べるとき好みで塩、砂糖、醤油等で食べます。それをゆるめに作り、フライパンで薄くたらして焼きもいいかも知れます。餅・団子は熱湯を注ぎ、それをすこしかためでよくこねます。こねあがったものを、餅・団子に作り是を蒸かすなり、鍋入れ煮ます。又、こねたものを鍋に湯を熱なった時、手でちぎり入れてうでます。すぐうであがりますから、すくって小皿か椀に取り好みのものつけて食べます。私はキナ粉にころがして食べるが好きです。昔は生の山菜をこねこんだり、サツマ芋を刻んで入たりしました。子供の頃、母に山百合をこねこんで作った餅の味は今でも忘れません。あんを作り置き、まんじゅうも又よし。工風すれば面白い食物が出来るでせう。試食して下さい。モロコシもシコクビエと同一東アフリカ産の由、渡来は後ではないかとも思はれます。食べた事がありますか。モチ性ですから、臼でふかしたものついて食べるが本来ですが、白米と煮る時、一割か二割入れて炊きます。面倒でありません。出来上った飯は赤く赤飯に似た色をします。口あたりはモチ性ですから悪くないが、したまづいからゴマ塩でもふりかけて食してみて下さい。すこしさめてからの方が熱い時よりいいかも知れません。◎前年（六十三年）は大凶作でしたから、味は全部の生産物は悪い、完熟でありませんから。兎も角、精々しましたから、試食してみて下さい。わさび漬は西原生産で、私の友人が正月用に作たものを分けて貰ったので、わさびが多いで辛いです。子供さんに干柿さつま芋の干したのをお送りします。昨年の干柿も柿が悪くだめでした。今年は作物のいい年を願っています。

212/1993. 1. 1

頌春、福招来。本年もよろしく、発酉年だといふ東天紅も鶏鳴に平成の岩戸開きであってほしい。低迷から明朗な世へ。本年も新しい試作に挑戦を考へてます。

213/1993. 1. 1

あけましておめでとうございます。今年もお元気で運動や勉強にはげんで下さい。私はだんだん年がより杖をついて畑に行くようになりました。でもガンバッテ夏はジャガイモ、トウモロコシをたくさんとるつもりです。そうしてお送りします。山の木の実草の実が不作でけものや鳥が作物を荒らします。『こんな話をし

ませう。十二月五六日頃、私の家の近くの小尾根を越え処のシブ柿だけなりました。このシブ柿を丸る坊主に枝を折って熊が来て喰いました。昔から家の近くまで熊が来たことはないのです。五六日たって私が知りましたが、十二月八日の大雨でもう足あとも残っていませんでした。まだ孫達には怖がるかは知りません。熊は今頃は山奥に帰り穴で冬眠でせう。』

214/1993.1.26

寒中お見舞い申し上げます。極寒の折皆様お変わり有りませんですか。流冒が流行のことご自愛の程お祈りします。古守先生が廿日鄭重な信書下されて昨秋の雑穀大会の様子や講演のコピーをその他雑穀の必要性を説いたコピーにしたものを同封でして、盛会な大会と全国的に高まりつつあることを喜んで居られることでした。十五日雨から雪で積雪は十センチ位でしたが重い雪で木が折る雪で後で聞くと雪の積もった所は西原の西の部でから奥で椢原に近い東は降っても積もらず、私の云う奥郡内からも北面は根雪なり、日向(南面)で二日程仕事をすると又雪と雨でずっと炬燵で冬眠です。暇なので残学な私は子供の高校で使った社会課の地図帳を探し出し、今まで未知の中央アジヤ地方開きキビ、粟のふるさとをやっとみつけ出しました。西トルキスタン何処から入国するのか？浅学の老人はだめです。何かでパミール高原とかカサツク共和国キルギル草地は聞たことがあるようで、今問題のウクライナ地方とかバルカン半島、イラク、イスラエル、エジプ等も近くですね。中央アジヤ視察研究の旅の成果を私も期待しています。決行帰国はきっと私にも未知の一部が解けませう。御成功とご検討をお祈りします。猪熊の騒ぎ談議で雪となり。光岑。十二月四五日頃家の近くに熊が来たり、前代未聞です。約六十年前、山深の御坂山系で日本では初めて獲った白鼻心（甲斐白鼻心と言ふ)、その幻しのけものが二年位西原に殖え、作物を荒らし出しました。私は余生を昨年は菊茶を造、ソバ茶を飲み、初めて椎の実を食べました。そんなことが喜びです。ネパールのそば粉僅かなので盟友達と三回目試食会です（二十七日)。西原一号です。雪にてあれこれを。草々敬具。

215/1993.1

麗かな迎春だったと賀し上げます。以前ご面倒をかけました、粳黍（信州秋山郷栄村産）第一回収穫は友人と試食や知人に送り僅かでしたから足りませんでして、平成二年二回収量分をやっと製粉しましたので、食した事はありませうが送ります。是も日照りで粗悪です。ご承知の如く、三年度は正月より病院生活が続き、昨三年は一年空白の年になり、一年遅れ策十二月やっと粉にしました。私の夢の民話桃太郎の黍団子の眞正のもと評日になりました。糯黍を臼でついた団子では変で粉をこねた団子なければならぬ筈。恐らく伝来は中国からで粳であり、糯は無かったと思います。ですから古い時代は粳のみだったでせう。桃太郎は架空の人でも黍団子は粉をこねてのものでなければと厄介でも暇な日、湯こねて団子として煮るか蒸して食してみて下さい。〇の廿五日廿六日雪で、私は長い正月といふか冬眠で正月二日頃より暖で雪がやっと消え、三日より日向で仕事ですが、今年は手のタコまでなくなって、鍬鎌も長く使へず体力養成のつもりで仕事とは運動を兼ねます。果たして今年一年で復帰できるか別として、そうした根性です。黍、粟、稗は作るは老人でもいいが、鳥よけの防除の網張りが老人には無理な仕事です。ですから食用迄はだめで、普及用の種位の確保になります。本年は蕎麦でこの栽培はまだ私にもできます。昨年残念なことに試作畑が台風で土砂流込みやっと本年の種を得た次第です。然し目的は達せられました。ネパール蕎麦は普通種より二十日晩生。信州蕎麦は普通種より十五～二十日早生で本年は最期の味や収量の点です。いづれ又。六日夕方より雪、暖のためあまり積もらず。暇ですから長々書きました。（山葵漬は西原特産で友人の山葵屋が暮れだけ造るもので是も山葵田が台風で全滅の年で、もう復活するかどうか？貴重な品になりました。）

216/1993. 1

トウジンビエ試作栽培記録：平成五年初年度。四月十七日苗としてポットに蒔く。低温乾燥期で発芽不良。六月二日畑に八株（一株三本植）鉢へ三株計三十三本、蒔き付けの粒六十二粒、約半数仕上り。四十五日苗。七月三十日、出穂始む。約一週間で穂出揃う。十月十三日取上る。収穫す。八株で収量約三合です。天候不順で日照不足、特に七月は土用中は晴日なし。十月に入り天候回復。完熟がよく判明せぬより、小鳥もかからぬ故、長く刈り取らず。第二年、平成六年度は収穫量を試食出来る迄と努力する予定です。ご多忙の年を送り、新しい年を迎えられたことをお慶び申し上げます。さて私も無事越年、快晴の元日を迎へましたが、正月も格別の用事もなく、退屈致し、本年の一信として申し上げます。一月十五日、野人講座に付き共鳴は致しますが、私には何の協力も及びませんが、奥秩父の山で火を焚くこと故、沢山有る馬鈴薯を送りますから荷になっても是非使って下さい。馬鈴薯は伯爵（白早生）です。洗って二つ割にして塩を入、煮て食すか、煮たものを焼いて食べるが手軽で良いです。生を焼くには時間がかかります。次、甲州系玉蜀黍粉暮れに粉を作りました。是も添えます。小麦粉半々位に交ぜ餅か団子まんじゅうにして、あんは味噌が合います。灰に埋め焼いたものが焼き餅ですが、是も時間がかかりますから、栃餅も造る由、土地の人に教えて貰って、何とか使用して下さい。玉蜀黍の粉の利用もある土地と思います。以上。例年の如く、雪の来ないうちは、私は運動のため、人の眼にふれぬ場所で日向の日を楽しみながら、仕事を日中は致します。雪が降れば私の冬眠です。家居のみ続けると健康上だめです。寄る年波でせう。筋肉痛は増すばかりで、炬燵に居る事の方が楽ですが、体が弱まるばかりですから、痛んでも使うことにしています。拝具。

217/1993. 4. 19

花冷やジャガの発芽を待ちかねて。光岑。拝復。貴重なる「ブータン」シコクビエ、「ガーナ」トウジンビエご分譲下され、忝なく御礼申し上げます。試作は老生の生き甲斐です。創作に似る喜もあって、結果を楽しみといたします。二年後は何とか試食会迄にと努めます。猶、遠い異国の幻影も追えると存じ、衷心より御礼いたします。ヤット平年に戻りました気候です。桜四分咲き、カタクリ群生満開も十日程遅れました。敬具。

218/1993. 4. 10

四月です。花の世になりました。今度はご尊父様ご不例の由ご快癒お祈り申します。多事にてご忙殺の折のこととて、特にご心痛と存じ、自らも事故とのこと心中ご推察致します。黍、粟のふるさと探訪の出発が近づまれ準備に追れてと思います。何とかご成果を期待を願っている次第です。きっとそれにより、私にも未知の世界の一部が開かれるでせう。お見舞いを兼ねあれこれ申し上げます。加曾利隆氏タイ、インドネシアに彼の地を八ヶ月位探訪、昨日タイより便あり、帰国日は不明、帰国なされたら私にも何かを教へてくるでせう。都庁遺跡に勤務の安孫子昭二先生は二年がかりで編集の「都の遺跡散歩」刊行早々送ってくれました。多摩遺跡公園（縄文村）へ本年は荏ゴマの種と高原のワレモコウをの苗を約束していますが、多摩丘陵には昔からワレモコウはあったかどうか私には判りません。私は縄文人と雑穀に興味があります。東京都に一万二千年前の縄文遺跡の有るのに驚きました。古守先生から激励や教示があり、シコクビエ、粳黍の粉を送りました。桐原に長寿館が建ち、特産物を即売人気ある由。◎奥秩父へ理想郷を求められたご様子、もう少し体調が良いと私も見学是非したいですが、もう駄目です。西原の草分けの人達は秩父系と思っていて、若い頃より奥秩父探訪を憧れていたんです。夢で終わります。貴重な研究集会書有難く存じます。末筆になりましたが、御礼申します。昨年は中国故事から、食用菊（山形安孫子先生故里より）の花を干し茶として呑。本年は山形紅花の花を干し、茶する予定。蕎麦の茶も愛用中。ブータンの穀物の種、都合出来たら一種類試

作したいです。トウジンビエでも結構、五六粒でいいのです。是は友人が一度失敗して、種がとれませんでした。私が挑戦したいです。私も後一二年の余命と覚悟しています。不順の天候で現在十日か半月遅れている春です。いづれ改めて。草々。

219/1993. 5. 22

つばくろの来し日うれしく南瓜うえ。光岑農人。皆さんお変わりもなくと思いますが？お期待の中央アジヤの出発が近づきて準備は整っているでせうがお忙しい事とご推察致します。ご成果の程お祈り申し上げます。次に過日ご入院されたご尊父は全快なされたとは思いながらお見舞いも申し上げず、お詫致します。自然の法則が狂たとか、といふ気候もやっと平年に戻ったようです。雨が乏しく、作物の発芽が悪い春でした。ご健闘をお祈りします。お伺迄敬具。五月十日頃より気温上る。十一日燕来る平年より半月遅れる。十三日気温卅四度になり、作物の葉先暑に焼る。病人や葬式の多い年で、不順な気候精か？生き残った私の男の同級生農友 N 民宿 N 氏四月廿日宅全焼、晩年気毒です。五月廿二日同級生又他界、是で生き残り一割です。(他一人で三人になりました) 私も珍しく歯ぐきが痛み泣つらです。筍が出ない年です。一月より雨量の乏しい精ですかしら？異常の多い半年です。

220/1993. 6. 28

花栗や雨間急ぎて薯を掘る。光岑。前略。ご主人様より先日予定通り中央アジヤご出発のお便りを戴きました。ご成果とご無事をお祈り申します。今夏は父上様お留守の夏ですね。よろしく。例年より梅雨明遅れる由、お健やかの程をお祈りします。早く思ったが雨で遅れますが、近いうちにジャガを送りませう。玉蜀黍は七月上旬でせう。トウジンビエ鉢と畑に植え、はじめて作物の成育を見守っています。草々。

221/1993. 8. 7

涼しい夏です。お元気ですか。方々で花火大会や夏祭りですね。お休みでも宿題やいろいろでお忙しいでせう。晴れた日はメッタに無く、蝉が四日間鳴いただけです。雨が降るとコタツです。ヤット玉蜀黍ができましたら、また狐や狸が喰にきます。昨年から武甲トンネルを通って猿の群が槻原へ来ましたが、今年はもう西原東の部落まで来て、トウモロコシを喰い南瓜を運んで行き、大騒です。山にも食べるものがないのでせう。父上から戴いたトウジンビエが穂が出ました。十月頃は実が入り取り上げられるでせう。私は小学校だけしか行かないので、孫の中学の地図をかりてアフリカやインド、中央アジヤの国々の名を覚えたくて八〇才を越して勉強です。おかしいでせうね。どうぞお大事にお過し下さい。お母上によろしく。さようなら。

222/1993. 11. 15

拝啓。意外なご無沙汰になりました。ご苦労なされた中央アジヤより予定通りのご成果をあげ、御帰国なされたことと存じます。多方面にご忙殺なされてとご推察します。五十年ぶりの凶作になりましたが、試作のトウジンビエ、日照不足ながら、八月上旬に出穂致し、あまり実は穂につきませんが、十月上旬迄完熟させて収穫しました。まだ脱穀しませんが、来年度本格的に作り、試食できる量をと思います。種としては余る程あると存じ、サク巾株間もよく判りました。来年度は天気で予定通りに運べればいいがと、今度は自分の体調の方が心配です。安孫子昭二さんが出穂の写眞を撮ってくれました。ブータンのシコクビエは出穂しませんでした。残念です。例年の全国雑穀大会を開催期になりましたが、本年度は東北ですか、九州ですか？五十年振りの稲作の凶作で、食糧政策の見直しと雑穀に対しても有識者達は更に考えてと存じます。五十才から六十才の熟年といふ年令の死亡率の高さも問題でせう。どうぞご健闘の程を祈ります。西原も今年度は

死亡率が異常気象の影響か高く、現私の先輩（但し男性）は西原在住者は五人でして、私は六番目といふ事になりました。相変ず畑に出ていますが、労働力は落るばかりです。お暇を見てお話し下さい。子供さん達にもよろしく。奥秩父のことも聞きたいですが、いずれ又改めてお伺いまで。敬具。

223/1993.11.24

大根を抜きつ雪虫そっと追う。光岑。拝啓。真剣に取組んで、毎日忙殺のところわざわざ資料を添えて御教示お礼申し上げます。山村農人として決意敬服します。奥秩父系だろうと、私自身信じています。山は高く谷は深く水は豊と思っています。山蔭の村でトウジンビエ試作種は得ましたが、来年度多量に収穫してもどうして食べたらいいか問題は残ります。試食を重、ネパールのそば実用化になるまで六年かかりました。取急ぎお礼迄。拝具。

224/1993.12.19

門男のシンボル・マークは山村人には好いのかも知れません。秩父の山村でも小正月には飾りますか。きっと小正月の行事は似ていると思います。まづ十一日朝、食前に畑に行き、鍬入の行事を済ませ、朝食後、粟穂稗穂切といって、山に行きカツの木（ぬるで）を伐てきて晝食は正月供へた鏡餅を食べます。十三日に伐たカツの木で門男粟穂稗穂農具など造ります。のうを造ると呼ぶ。土間に臼神様や鍬神様をまつり、座敷には蚕神様をまつり、山桑（ヤマボウシ）の木に団子をさし飾ります。『門男は豊作と家内安全（健康魔除）を願ったものと思います。』小正月の行事はいつの頃からか不明ですが、徳川時代か？それ以前？山村農の崩れ今はこの行事も廃れて了い、現在は門男もまれで、団子をさして飾ること、お松焼、ドンド焼で団子を食べます。この行事丈になりました。シコクビエと同じ頃の起原のトウジンビエがインドの西北迄で止まり、それより東へは伝来せぬは不思議思へてなりません。聞けば現雑穀で六位の重要な雑穀とのこと、私の最後の課題として、栽培してみたかのです。成功は考へず、失敗でもいいから是非試作したかったのです。幸に天意か一年で西原として作る時期と完熟迄が判明しました。草丈も判り、畦巾（サクハバ）、株間及び一株の本数も私なりに判明でき、健康である限り、試食量が二年で実現できそうです。ネパールのそばは三年かかりました。トウジンビエは穂もろこしに似ていて、是に準ずればよいようで、小鳥を防ぐ網は不用のようです。次に十一月都埋蔵文化センターの安孫子昭二さんが不思議な自生の蕎麦を発見しました。巨大の蕎麦で虎杖イタドリ程茎で二メートルに及ぶ由、場所はタマニュータウン堀之内地内の土手です。私に紹介があったが、種を送って来ましたが、蕎麦科のようで秋蕎麦でせう。話に聞く、ヒマラヤ地帯にある多年性のやうに思います。ネパールの蕎麦より粒大きく普通蕎麦位です。一年生で晩生でネパールの蕎麦にどこか似ている気もします。来年試作ですが、山蔭の西原では霜が早いので、駄目でせう。私は試験に春五月と夏七月に作り種から完熟迄の日数を調べます。多年性で葉が落ち翌春茎から芽を出して二年目にして花が咲き、実がなるのかも知れず。（実は雑草で見なれぬ草が畑に生え、二年目で花が咲き実が成り、今度は枯れてしまった草が昨年生え、本年枯れる。）こんな経験がありました。私は自生地に行き、調べたかったです。本年は解明するでせう。それにしても多摩丘陵にどして生えたか？曇天気温あがらず、一日炬燵で休養、ふと思のままを書ました。ご忙殺のこと存じます。無事のご越年を祈る。敬具。

225/1994.5.16

拝啓。若葉の風好く五月半も過ぎました。ご活躍と存じます。研究室でせうか。過日三月はご忙殺中をご丁寧なご消息く戴き有難く存じました。「五穀を食べる」講座も嬉しいことでしたが、秩父の第十三回セミナーも盛会でと思います。先日安孫子昭二さんが 5／14～15 学芸大学で考古学協会の開催で全国仲間の会を楽

しまれている様子でした。埋文センターの庭に私の雑穀を作りますが本年はトウジンビエも加へました。いづれも発芽した由。4／17 宿根そば十株、私の畑へ二人で植ました。現在成績がよく、今年に実がつきそうな生育振りです。実の方は 5／2 蒔くも乾燥期に発芽不良です。4／17 当日私の自慢の山桜を眺、姥百合を数株もって行きました。木かげに植えるよう注意しましたが。何年経験しても、百姓はむづかしく、天候の予側が当たればいいが、はずれると失敗で、本年は晩霜を覚悟で早く作たものが霜が四月半で終り成功しました。5／2 より雑穀の苗床に蒔いたものは低温と乾燥で発芽不良でトウジンビエは追加蒔をしました。5／12 より雨があり乾燥期は終り、以後さつま芋をさし、南瓜胡瓜ナストマト、植えしは良好です。六月が近ずき、雨期に入るでせうが、どんな天候か心配で山村農は荒るばかりです。私も秋頃より、足腰の痛強まり、斜面での仕事は不都合で、老化して来て、もう一・二年何とか続たいですが、天意には従がわなければなりません。五月より武甲を越え猿が荒し、北西の山々から猪が出没、狩人達が毎日曜駆除に当たる由、関東山地は何処も似ている様子です。折を見て又申し上げます。ご健闘をお祈りして。敬具。

226/1994. 3. 24

拝啓。三月は年度末四月は新年度とご多忙期とご推察、ご健勝にて活躍と存じます。阪本先生の送別、研究の発表雑穀に関する集会、雑穀の輪も段々拡がって来たようです。千葉鴨川に送りし、雑穀の種は拡がっている様子です。次トウジンビエ私の種一号は安孫子氏に秋一穂、二号は 3／4 拙宅に来宅した加曾利隆、田村真知子、田口洋美の三氏で、田口氏は近くカンボジア渡行で彼の地のチヤダレ氏に一部を、信州秋山郷へも一部を、昨年凶作ながら畑の八株は三合収量あり私は五勺もあれば十分で、トウジンビエはモロコシに似ているので、同一の栽培で株間、畦巾、同じで栽培する予定。出穂収穫期はシコクビエより少し早そうです。二月より不順の天候で、三月現在、十日位平年より気候は遅れています。晩霜に遭ってもつつとジャガを三月 11 日に植る。現在十日遅れで本格に植えます。野菜も作るですが、準備したままです。わずか一年の凶作で外来時代になりました。約 60 年前もあり、私は二回目です。農政の弱を感じます。不順のため休日が続き、体が不調で難儀しています。然し生きている限り鍬は握ります。敬具。

227/1994.5.16

拝啓。若葉の風好く五月半も過ぎました。ご活躍と存じます。研究室でせうか。過日三月はご忙殺中をご丁寧なご消息く戴き有難く存じました。「五穀を食べる」講座も嬉しいことでしたが、秩父の第十三回セミナーも盛会でと思います。先日安孫子昭二さんが 5／14～15 学芸大学で考古学協会の開催で全国仲間の会を楽しまれている様子でした。埋文センターの庭に私の雑穀を作りますが本年はトウジンビエも加へました。いづれも発芽した由。4／17 宿根そば十株、私の畑へ二人で植ました。現在成績がよく、今年に実がつきそうな生育振りです。実の方は 5／2 蒔くも乾燥期に発芽不良です。4／17 当日私の自慢の山桜を眺、姥百合を数株もって行きました。木かげに植えるよう注意しましたが。何年経験しても、百姓はむづかしく、天候の予側が当たればいいが、はずれると失敗で、本年は晩霜を覚悟で早く作たものが霜が四月半で終り成功しました。5／2 より雑穀の苗床に蒔いたものは低温と乾燥で発芽不良でトウジンビエは追加蒔をしました。5／12 より雨があり乾燥期は終り、以後さつま芋をさし、南瓜胡瓜ナストマト、植えしは良好です。六月が近ずき、雨期に入るでせうが、どんな天候か心配で山村農は荒るばかりです。私も秋頃より、足腰の痛強まり、斜面での仕事は不都合で、老化して来て、もう一・二年何とか続たいですが、天意には従がわなければなりません。五月より武甲を越え猿が荒し、北西の山々から猪が出没、狩人達が毎日曜駆除に当たる由、関東山地は何処も似ている様子です。折を見て又申し上げます。ご健闘をお祈りして。敬具

228/1994.9.4
残暑お伺い申し上げます。ご無沙汰のまま九月になりました。記録的な酷暑の夏ご無事に過されたでせう。暑夏も休養もせず、ご健闘と思います。環境教育実践のため、今夏秩父に、また雑穀研究室とご多忙だったと思います。本年の暑い夏に試作栽培のトウジンビエ幸に好成績で七月五日出穂はじめ七月中に穂揃になり、昨年より一ヶ月早く、九月上旬中に収穫です。冬は試食が出来ます。他雑穀も半月早く収穫期になります。私も夏の暑に負けたのは本年で二回目です。五〇年前灼熱の島硫黄島で暑にたおれて内地送還でした。本年も夏風邪にかかったり、もう年令で体力も衰へているためか。いずれ又申し上げます。

229/1994. 9. 14
忽然と曼殊沙華やわが庭へ。光岑。ご健闘の事と思います。九月末の九州椎葉村で雑穀大会が催される由、年々盛会と思います。酷暑の夏に依り私のトウジンビエが美事に実りました。一應穂刈して畑にて乾かしています。8／21 穂揃した時、安孫子さんが撮影したので、今取り上げても写真に残してよかったです。インド迄でそれより東へ伝来なぜしなかったのか？昨日より雨で喜んで休養です。いづれ又。

230/1994.11.2
十一月になりました。十月二日の御手紙を戴てよりご無沙汰しました。夏から秋の私信を申し上げます。酷暑の夏は二回目で、五十年應召で硫黄島の夏です。二国だった私とうとう戦病で内地に十月送還されました。それで今日のある私で一ヶ月遅れると、島は封鎖でした。今夏も暑で苦労しました。米の余る豊作になり、畑作も満作で収穫は半月早まりました。お蔭で二年目のトウジンビエは予想していた倍の収量で、昨年より一ヶ月早く収穫しました。栽培はモロコシと同一に致、サク巾株間（同一て肥料堆肥一握）。冬は粉を送ります。自分で作り食べることは日本の農民で先駆かと独り誇を感じ、シコクビエと同じ起原なのに何故インド東に伝来しなかったか？不思議に感じそれが試作の動起でした。ほんとうに種を有難とうご座いました。里芋が不作で流石にさつま芋が一番当りです。夏の反動か九月中旬より雨期と云ふか晴れた日はまれです。畑のはさにまだ小豆とそばシコクビエが残っていて乾かないのです。今春試作安孫子さんわざわざ持参の宿根そば実生（種を蒔たもの）が僅、実が取れた丈で、根で植えたものは花が沢山咲いたのみで、実はまれです。西原では種用位で結局野菜そばとして葉を使ふのみです。昨年と異り、秋野菜は不作になりました。追って又申上げます。六月は教授になれた由、お祝い申し上げます。雑穀研究の総帥であり、環境教育実践、研究実践と巾広く活躍の忙しい折に御手紙誠に有難く存じます。マリより帰国後亡くなった小林先生は誠に惜し人で、学生時代だったでせうか、急行の無い時代だったでせうか。夜行で京都から拙宅来たのは、拙宅の庭の石垣に生えている子モチ草を採集に来ましたが、初対面、学徒の眞剣さに驚と心強さを感じた私です。二回目はお礼を兼ての訪問だったと思います。一株の雑草、それから私は年一、二回文通していました。間なくバイオウテクノロジイ学が私の知る時代になりました。眞剣な学者と感服しています。改めてご冥福を祈ります。椎葉村の研究会、四国の安芸市シコクビエの研究家佐藤氏よりも様子を知らせがあり、シコクビエは栽培されていなく由、焼畑農残っている土地ですね。山村では古い時代はいづれの土地でもあったでせう。西原でも終戦後二・三年は行ふ人があり、私もよく知っています。秩父で実践ご様子、西原の焼畑のありし日のことをいづれ申し上げます。

231/1994. 11. 22
拝啓。秋が深くなりました。ご無事にて毎日ご忙殺と存じます。夏の猛暑にて雑穀類は例年より早い収穫で豊作でした。私の念願のトウジンビエは九月十一日穂刈して畑のはさに掛け干し、九月十八日脱穀、天候悪

しきためよく乾かぬまま十一月に入りて何日か干し、十一月十七日庭にて臼でつき、調整しました。昨年の試作を参考に栽培しましたが、私の予想より三倍の収量があり、確実に日本でもシコクビエの如く広く作れる作物であると信じられます。近日中に製粉が出来ましたら是非送り度く、調理法はシコクビエト同じにと思いますが、やっと収穫せしもの整理終了致しお伺い添へご報告迄、草々。

232/1995.1.1

拝季。新しい年になりました。どうぞ皆様お健やかに。本年はさらにご飛躍あらんことを併せてお祈り申し上げます。乙亥元旦。トウジンビエ私を支援して下さる方々へも送っています。古守先生へも送ったら普及するようにと激励でした。何しろ老令でもう前進は無理です。サバンナ―のヒエはろばろと畑にみのらし。

233/1995.3.25

謹啓。何年か暖冬でしたが、寒い冬になりました。雨期と乾期の年で、半年小雨で水が心配です。いつもご多忙の御様子、御自愛をお祈り申します。十月は全く感激でした。次にアフリカの東生れのシコクビエト西生れのトウジンビエの精粉を小量送ります。食べて比較してみて下さい。トウジンビエがインドより東で作らぬことは南支で稲が生れてビルマより東は稲の国で、稲が一年中栽培できるから必要がなかったからと推定、私はしました。金子さん達が南支から帰国して十二月に稲を刈る人植える人の風景に驚いたようでした。日本は今七割の食糧を輸入しながら、稲はまた減反の由、その時代にトウジンビエの試食も試作、変な事でした。然し私は満足しました。今年取れた分丈けは又試食と試作にと方々へ送る予定です。何処へも普及して残らなくても、私は誇りと満足をしています。ともあれ十月のお礼です。是が精一杯の私です。雑事に追れています。いづれ又申し上げます。十月研究室、農園、見学の折、大勢ですからお願いしてみませんでしたが、トウジンビエの出穂の遅れたことと、傍のソバ長サク三サク高原か焼畑のソバの如く小さくて花盛りでしたが、作た時期と品種を知りたかったのです。私は健康だったら、秋ソバを研究してみたいんです。ソバは昨年は早生が六五日、普通種七五日でネパールのソバが一一〇日でした。出来たら二・三十粒見学の際見たソバの種を分譲を乞います。平野では始めたソバです。慈姑が鉢植や池に沢山ありましたが、西原では絶て了ったので、是も一株ほしいのです。余程話そうかと思たがやめました。私は矢張り鉢植で観賞用です。西原に無いとほしいのです。現代の縄文人と云ふことでせうか？

234/1995.5.2

謹啓。ご無沙汰のまま五月になりました。種子整理、環境教育、雑穀研究、等いつもご忙殺と存じます。又何処かへ学術調査や講演にもお出掛と存じます。三月以来天候不順で四月も亦晴天乏しく、例年より一〇～七日位遅れたようでしたが、四月二〇日頃より高温で夏日あり、例年並に近づきました。ジャガ芋が発芽して揃ひました。トウモロコシもやと発芽です。◎例年三月十七日頃は鶯が鳴くのですが、本年は四月十七日に初鳴で、どうも異常です。阪神災害から経済も政治もそれにオウム教等世中も激動ですね。次に今年の小正月、甥依頼して、山から門男材料ぬるでを伐って貰ひ、四年振りで門男を造りました。町の民俗芸能研究の親交の小俣光雄氏に一組差し上げ、写真を撮って貰いました。皆様お揃でお元気ですか。ご無沙汰して了ひました。私も三月半頃より体調老化が強く、段々無気力になり、昨年並に畑の方も出来ず、雑穀作りも何処まで出来るか？五月は雑穀の苗や蒔付期です。せめてもう一年トウジンビエ丈でも作りたいと思います。読ことも書こともだめになりました。ご健闘をお祈りして、いずれ改めて、敬具。焼畑について。高知のシコクビエ研究家佐藤省三氏とは（一〇年位）長い親交で年賀状に昨秋の椎葉での大会の折、焼畑視察の写真写を戴きました。ゆるやかな斜面で、高原風で理想の場所のようで結構でした。西原でも、戦後二・三年は稀には焼畑も行い、隣村の小菅長作などが最終だったで

せうか。西原も小菅山の中腹から下で〇の如く急斜で、私は若い頃焼畑刈伏（夏苅り）は手伝たことや焼畑を見たことはあります。斜面が急なので、ソバ刈りは大変手間がかかります。一本一本こぎ集め、手一杯になったたばねる（ハンデ）でそれをはさにかけます。西原では遅くは杉桧の伐採後地を焼き、普通の雑木や草山は昔と違い行いませんでした。二〜三年ソバ、粟、稗、陸稲、小豆大豆を作り、後は桑を植え又植林をしました。耕地が乏しいからで、地力が無くなる頃は作物は作りません。

235/1995.7.7

拝啓。御無沙汰でした。本年は前半期は阪神の災害をはじめ世相も天候も異常でしたが、是より梅雨明けより後半期は安定した期になればと望ます。ご健勝で、研究に実践に講演等にてご多忙と存じます。私も山村農の最後の生き残りとして、自分なりの努力を致して来ました。何と云って老化する体調は戻りません。小学卒業より農一筋七十年になりこの記念にトウジンビエの試作に二年で成功したことは天意だったでせう。想へば木俣さんと出逢って二〇年になるでせう。雑穀が縁でせう。往年七月七日ご案内して戴いて大学の農園を見学した日のことを昨日の如くに思い出します。本年特に雑穀類で畑一杯由で見学に行きたいですが、五年前転んで左腕脱臼骨折で苦労して以来、特にこの三年は他所へは独り歩きは家の者からも注意されていて、何処へも出掛けません。遺跡公園の庭へ安孫子さんが私の雑穀を八年も参観者のため展示栽培して下さることは感動です。実のれば小鳥に喰れ、毎年種を持ち来る熱心さです。又もう一度見に行きたい処です。日照不足の天候と、三月より急に老化が早まって雑穀の植付も播くのも一〇〜一五日遅れました。本年が最後になるでせうが、残念です。三回目としてトウジンビエはやっと十日遅れて定植です。玉蜀黍ハニーバンタムは里芋と共に成績良好で穂が揃いました。狸、狐の防除の針金を張りました。子供さん達に送れると思ひます。雨続きで退屈のままお伺いしました。艸々。

236/1995.10.21

今回はご多忙の処を誠に有難うご座いました。再訪はとても及ばないと思っていました。埋蔵文化財センターの安孫子さんとは顔を合わせたのは今回が最初とは妙なことだと思います。さて、暑さに強ければ、収穫前の農園が見学できたのですが。そうした体力はないのです。前回より僅か五年の経過は近代化した完備の研究室には驚きました。雑穀研究界が全世界が前提になったんですね。私は全くよき勉強でした。全く不思議な縁でした。崩れた山村農の老人は興奮しました。日本の雑穀も絶対に滅びないことが、私にも確認できました。お蔭で長生きしたことの倖を知りました。木俣さんが西原の雑穀を研究して二十年、その次加曾利さんで、加曾利さんが発表世にして、テレビで上野原町が小さな旅に特に西原の雑穀が委しく。それに依り遺跡庭園（縄文村）が開園の年か翌年、庭の一部に参観者の為、雑穀の展示栽培を安孫子さんがなされるのに、種子を求めて西原入来が安孫子さんとの出逢です。それから今日迄私の雑穀が作られています。信州の秋山郷に黍の粳が残っていることを加曾利さんが見けました。木俣さんの案内で、印度の雑穀権威者シタラム博士が来朝の折、来宅の私の雑穀の種が里帰りしたことも、私が雑穀の普及に及んだ原因の一つでせう。朝日新聞が取材して発表の黍の粳（私の栽培）等は木俣さんに依りしこと。（◎今回の私と三人の関係）トウジンビエの試作は加曾利さんに依り、アフリカを熟知したためが原因の一つでした。農園再訪の折、同種で、私はすでに収穫、脱穀調整が済んだのに、出穂まだせぬ、不思議さ、大勢でなかったら播種の日時を尋ねたかったです。私の雑穀作りは八十八やが起点で、五月四〜一〇日頃移植するものは苗床に、四五日か五〇日苗を定植、モロコシ、シコクビエ、トウジンビエ、直蒔は粟、黍、稗は定植か直蒔、です。是は春のことで、麦を作た頃は刈り取りし後、夏蒔は七月四〜五日迄、黍粟等でした。西原は五〇〇〜六〇〇メートルの地です。◎冬になりましたら、皆さんにトウジンビエでも送りたい考へです。只今珍しき好天気続で、シコクビエを残すのみで、脱穀迄済ました。車イスでもほしい体ではだめです。お礼の言葉遅れました。又申し上げます。ご判読ください。敬具。

237/x. 121. 8

雑穀全国大会盛会で終了と存じます。お疲れとご推察致します。実は土佐安芸市の佐藤省三氏より、参加して大会の様子一寸知らせて呉れました。佐藤氏はシコクビエの研究家で西原に来た折に親しくなりました。私がネパールの蕎麦の種を送りました。十一月廿七日小霜有葉が少し焼けた由、収穫は十二月十日予定、南国です。次にネパールそば十二月十日試食。粉の色黄味で、こねるとねばり、出来上がったそばは青味あり茹ると日本ものよりホキホキで味や香は劣りますが、そばとして使へます。日数がかかり、信州早生より五十日は遅れる晩生ですので、収量は多のかもしれず、来年もう一度挑戦する予定。廿粒位で四年かかりやと試食しました。僅かですが粉を参考に送ります。猶、蜀黍（穂もろこし）も添へます。糯性です。折が有りましたら使って下さい。蜀黍は一夜水に浸して使用のこと。寒いと足腰が痛み杖をついて行く日もあり、只今冬耕と落葉を集堆肥づくりで、雪の来る迄つづけます。ご健闘をお祈りします。子供さん達にもよろしく、柿も野菜も不作な年です。山茶花や白菜の圧し重かりき。光岑。

238/1996. 1. 1

拝年。福来春来。平成八年元旦。杖ついて山の端へ出ず初日みん。光岑。不用意にも人生の八六頁を汚すことになりました。現代の縄文人とでもそうことでせうか？

239/1996. 4. 16

謹啓。長いご無沙汰になりました。春の遅れた不順の年ですが、皆様御変わりも無くお健やかとは存じますが、お伺い申します。昨年の春より特に多事多端で御忙殺の御様子でしたが、時代と共に慌ただしい毎日かと御推察致します。四月半といふのに西原は梅がヤット花盛りで鶯が十三日に初鳴きしました。例年より一ヶ月近くの遅れのようですが。農耕は少し遅れて開始ですが、寒い朝は霜で畑が凍ります。いつ迄続くことやら五月になっての晩霜が特に心配です。五月八十八夜を中心に雑穀作りです。トウジン稗は五月五～一〇日播種で四五～五〇日頃定植ですが、是で三年成功したんです。秋再訪の折、大学のものとは同種とは思えません。不思議ですが、私の方は偶然でせう。最近困ったことは、山のけものや鳥類が荒すことで、前年迄はかからなかったトウジンビエも昨年は襲はれました。老人には防除の網張りが難問題なのです。馬鈴薯植え終り、春蒔野菜で、玉蜀黍もどうなるか作りました。越冬のえんどう、玉葱、キャベツは寒と乾燥で枯死。安孫子さんが熱心、忙しい中を私のために〇して下さり、申訳なく誠に有難いことです。何といっても年で私も体と心も駄目になります。お詫を兼ね御伺迄。敬具。

240/1996. 5. 19

つんつんと小麦穂出し若葉かぜ。光岑。ご忙殺の中御手紙有難く存じます。四月廿一日は縄文食饗宴を四人で催した由、楽しく思いました。廿三日は金子さんが珍らしく友人と畑に行きて昼食を戴きました。来月はドイツ、デンマークに来訪なされること、世界の権威者ですね。嬉しく思います。是非共大いに飛躍して下さい。期待しています。期間はどの位ですか？九月はインドにご留学との事、彼の地のシタラム博士の来宅や、私の雑穀の里帰りしたことがなつかしいし、以前彼の地からのお土産の筆立や数珠の香木製が今も老人に尊く匂ます。全く木俣さんとは不思議な縁ですね。次。四月廿三日陛下来県、三ケ日間、廿五日は有史以来のご慶事か、棡原長寿館に迎へる事ができました。当日長寿村として棡原を世に出した、古守先生、産みの親といふか育ての親とでもいふか、長年功績で当然ですが、陛下より三分間程御下問あり、先生も感激に体うちふるえたる様子を知らせて呉れました。私は盛事な歓迎にも望ず、山かげから妻と国旗をたて民草と

して歓迎の意を表しました。廿三日より好日和が続き、三日間に桜は満開でした。五月に入ると、また不順な気候で、本年は作物の発芽や成育が悪く、それに鳥が作たものを掘り、猪や猿も出ます。さて、私は体調も気力も衰えて来て駄目です。小麦は鳥が荒さないので、春彼岸に隣の畑より間引した小麦を試作に植えてみました。秋は是を種に健康がゆしたら作りたいです。いづれ又申し上げます。左腕痛み書こと も障り御判読下さい。

241/1996.8.19

前略。出発前のご準備最中にお騒して申訳ありません。私のごとき者にご配慮を忝くお礼申し上げます。今や世界の権威者であられます木俣さんですね。インドで研習中に将来の日本に指針となるべき道を得て下さい。シタラムさんの大学と聞て何となく嬉しくなります。帰国後のお話を楽しみにしているもの、私も元気でありたいと努めます。時代に逆行した手造り百姓の七十年でしたが自分では誇りと満足な晩年と思っていますが、若さに戻れぬことも天意でせう。お忙しい折柄、沢山なソバ種を有難く、今の私に大量で極小量で結構でした。いかに頑張っても広い栽培は不可能な体調になりました。ご厚志心よりお礼申し上げます。(只今黍の防鳥の網張りもろこしトウジンヒエ穂揃シコクビエ出穂はじむ) ご出発を双手をあげてお送り致します。 ご健闘を遥にお祈りしています。 ご帰国の折迄に私も何か御笑味を乞うものを収穫する事を努めます。お礼と壮行の便りとして。敬具。

242/1996.8.14

謹啓。随分長い間ご無沙汰致しました。八月も半になりましたら、涼しさを感じます。公私ご多用にていつも忙殺と存じます。ドイツに御視察御無事にてご帰国きっと有意ぎなご成果を得たことと存じます。次に来九月はインドへ留学の由など、長期間と思はれますが、どの位の日程ですか。インドは既に熟知の国ですから、安心できますが、御健康をお祈りします。インドと云えば先年のシタラム博士の事を思ひ出します。又見ぬ広大なシコクビエ畑を思います。次に出発前に私の試作二年目のネパールのトウモロコシ御笑味戴ることを満足致します。然し残念なことに収穫が遅れた精かなんら変ず期待いはずれでした。一つの作物を定着させるのには先人も非常に苦労したことが判ります。二年目に試食でがっかりです。(何しろ三米位のび房は下からやつ見るので収穫期が判名せず) 猶クワイ新葉五つで夏の風物として楽しんでいます。あの十月実習農園のトウジンビエの晩生で丈の高さに驚でした。本年五月十日苗床に蒔しもの六月下旬定植現在七割出穂です。あの日見た平野で丈が短く花盛のソバは不思議で品名と播種期が知りたいですね。◎私の書簡と俳句に対し御多忙の中をご評議下され、特に熱心な安孫子さんに心よりお礼を述たいです。句の道も習はず、即興的なもので、後に残るとは汗顔で、私自身は折にふれ自分自身の退屈しのぎに作たもののみです。書止て置く句帳もなし、同一のものや似た着想が多いことでせう。折があったら語り合てみたいです。三百句位あるそうですか、恐らく三倍か四倍は作たでせう。四月は橿原長寿館へ陛下が行幸、当日長寿村を世に出した生みの親といふか、育ての親の古守先生は拝謁ご下問に感激致したる由を私に知せて下さいました。拙宅も四月より孫が大学と高校にて嫁も町に勤めに通い、昼間は私たち老人二人です。流石に私も老化して衰へて、意慾も失せて了ひました。然し杖に縋り蹌踉ながら畑に日中は出ています。畑が私の運動場であり、休養場を兼ね、時に訪づれる人達と語る社交場でもあります。右腕も視力も悪く、読む書こともほどほどです。いつの間にか男性では三位の老人になりました。五月下旬調布在住の青山学院の名誉教授八十二才の身で雑穀の種を所望で来宅しました。机上では知っていても実際ははじめての様子、晩年の雑穀を作り楽しむ由、その後、成育の情態の写真を送て呉れました。老令ながらその意慾に敬服です。かつて奥村土牛画伯は百歳にして絵筆を執るとテレビで見ました。すきだから書くと云う。私は八十六才で生涯をすきで鍬を握ったこ

とは無く、生きるがために他に道なく仕方なしで手作り百姓に行きて来ました。長い乱文ご判読下さい。いづれ又。再開の機を楽しむ私です。ご健闘を祈りて、敬具。取急ぎ当方は八月盆です。

243/1996.8.19

前略。出発前のご準備最中にお騒して申訳ありません。私のごとき者にご配慮を忝くお礼申し上げます。今や世界の権威者であられます木俣さんですね。インドで研習中に将来の日本に指針となるべき道を得て下さい。シタラムさんの大学と聞て何となく嬉しくなります。帰国後のお話を楽しみにしているもの、私も元気でありたいと努めます。時代に逆行した手造り百姓の七十年でしたが自分では誇りと満足な晩年と思っていますが、若さに戻れぬことも天意でせう。お忙しい折柄、沢山なソバ種を有難く、今の私に大量で極小量で結構でした。いかに頑張っても広い栽培は不可能な体調になりました。ご厚志心よりお礼申し上げます。(只今黍の防鳥の網張りもろこしトウジンヒエ穂揃シコクビエ出穂はじむ) ご出発を双手をあげてお送り致します。ご健闘を遥にお祈りしています。ご帰国の折迄に私も何か御笑味を乞うものを収穫する事を努めます。お礼と壮行の便りとして。敬具。

244/1997.7.28

ご無沙汰でした。お元気ですか？夏の休暇どうしています。いろいろあってお忙しいでせう。お父さんも予定通り、無事お帰りと存じますが、きっと休養のない程、沢山、整理やお仕事が積ていると思います。天候が春から異常で、畑の作物は悪い年です。六月二回の台風後は日照りで暑く、西国は洪水、関東は日照り、今度の台風は無事でしたが、後は又梅雨空のような不安定ですが、八月はどうでせう。私も段々年がよって、足腰も弱く、畑仕事も大変になりました。暑い日照りから、雀の群も何処か行き、山のけものも町の方へ行た様子、蝉も今夏はあまり鳴ず、暑い夏を待っているのでせう。作柄が悪のですが、玉蜀黍、ジャガを送ります。みんな私の作たものです。お食べさい。どうかお元気夏おすごし下さい。ご両親様によろしく、いづれお父さんにもお便りします。左様なら。霧雨の日。

245/1997.12.25

山茶花の朱を落としつつ日を惜む。光岑。随分ご無沙汰したもので、今更お詫びするすべもなしです。御帰国後いろいろ整理中を御手紙と記念すべきインドのお土産迄頂戴しながら、お礼も申し上げず痛入ります。やっと玉蜀黍の精粉が出来ました。猶思い出のシコクビエの粉も添へて送ります。お笑味下さい。シコクビエも幻し化になりそうです。木俣さんともシコクビエが仲介での縁だったでせう。本年は渇水の年で、日照り続きには困りました。然し六月の日照りより、けものも鳥も姿を消しました。他分餌場を他に求めたでせう。昨年は雀の大群に荒らされ収穫は無しでした。本年は乾き過で、実は悪が収量を得した。異常な年で一度も雨蛙の声も聞かず、蝉も蜂なども僅のようです。私も老化が強くなりました。あれこれと思うばかりで年ぞゆく。光岑。暖冬かと思うと、冬至から一変して厳しい寒になりました。皆様お健やと存じます。久しい御無沙汰でした。世界の雑穀界の為に御健闘と存じます。帰国後も更に御多忙と存じます。拙宅、本年は喪中に付き、年頭のお祝詞遠慮致します。どうぞ無事のご越年と家庭お揃で楽しい新年を迎へられますことをお祈り申し上げます。歳末に際し、御健康の程切にお祈り致します。追伸。世にうとくいつか師走か老の身に。光岑。昨年の冬頃より私も体調も不調でどうにか雑穀や野菜を作りますが、けものや鳥類、特に雀の大群荒され覇気も無く、種の保持や普及もあきらめました。本年は多種類は作りませんでした。鑑賞の吹田のクワイ、二年目は箱に植ましたら、成績良く花が咲き、実が沢山出来ました。過故を考へず、試作や自分年令も考へず、栽培法発創して良悪は別として、結果を得るが生甲斐にしています。一番長生きして嬉しい

ことは、孫が来年は成人式を迎ることです。今度慾が出て孫が大学卒業迄で生き延たくなりました。世間離れの生活ですが、何やら心忙しい昨今です。乱文にて、お詫します。今度旧交を戻すつもりです。

246/1998. 1. 11

むつくりと親山子山かむる雪。光岑。寒中お見舞い申し上げます。良き拝年を迎へられたことをおよろこび申します。旧臘は繁多の折、雑穀研究 10 号有難く戴きました。国際雑穀学会創立準備の由、シタラム博士と先頭の事、シタラム博士と云えばなつかしく。御成功をお祈りします。高知の佐藤さんがシコクビエを作る人を二人見つけたとの事、群馬北部きつと北関東は栃木も秩父でも昔は作っていたでせう。米寿を迎へた私は田つくりも句作りも駄目になりました。生きる限りは頑張るつもりです。本年は疎遠でなくとも思います。敬具。

247/1998. 2. 23

残雪へ春呼ぶ雨のふりにけり。光岑。御無事の拝年と存じます。御多忙の毎日と思います。それに三月が年度末になると事更でせう。皆様もお元気とおよろこびします。木俣さんの悲壮な決意に私も体は不自由になっても生きる限り畑に立とうと元気を出します。国際雑穀学会の創立も御努力が大変と思います。二月十九日加曾利隆さんが三年振りに尋ねて呉れました。以前から是非奥さんと同伴でと望んでいましたら今回は同伴で初対面でした。その折、木俣さん安孫子さんと会談した由を語られました。私は矢張り廿年一寸越す頃シコクビエが縁でした。安孫子さんは雑穀の種で、高知の佐藤省三さんもシコクビエでシコクビエの研究家です。年賀状に群馬の新治村でシコクビエを作っている人が見つかったと知せて呉れました。北関東（栃木群馬埼玉）の山村には昔は作っていると推定していました。どうも高原が多いようで。長野の上村などは暖な土地のよう思います。私は最近雑穀の普及はやめました。体が続かなくなりました。平成八年度は鳥被害で収穫なしでした。昨九年は六月の日照りからけものや鳥も姿を消し、二年振りで収穫を得た次第です。今日はソバ粉と小麦粉を僅ですが送ります。ソバは何としても谷間では豊作は望めません。昨年は日照り、発芽が悪く乾燥した精か実も細かった。小麦の方は十五年振りに作りました。秋作が鳥に喰れるので、夏実の入る小麦を試作しましたら、成功しました。知の通り日本の小麦は麺用でパンや餅用にはねばり不向です。外国の小麦と交ぜて使て下さい。（もう五十日家居のみ、孤独はなれていますが、日向で日が楽しめず、辛いです。）明暗を重ねて米寿へ達しけり。光岑（正月の句）。正月明け、八日より大雪三回積雪一メートル以上に達し、聞いたことも見たこともない初体験でした。掃く場所も捨てる処もなく、掃ては積み。仰山な雪で戸惑う迂闊かな。光岑。冬籠り雪の砦の山家かな。光岑。テレビで見る豪雪地帯のようですが、近年雪に苦労しなかったため不用意で、教訓になりました。山梨は果樹県で被害は甚大の様子、西原家庭用ビニールハウスがやれ、山の植樹には被害があったでせう。一ヶ月後、小雪二回、十三～十四日、気温上昇、雪がやっと減たと思ったら、翌日は又雪十センチ、二十日の雨で北面を残し、南面は消ました。

248/1998. 3. 23

親山も子山の木々も芽吹きけり。光岑。一月も二月も雪で閉じ籠りでした。三月五日雪から十四日の雨で春らしくなりやっと春の準備にかかりました。雑穀界では世界の木俣さんですのに、程々ご配慮下され痛入ります。心身お疲れと存じます。どうぞ御健康にご留意ください。高知の佐藤省三氏より貴重なシコクビエの研究資料を送て戴きました。敬服しました。私はここ二年老化のため何も実行できなくなりました。西原は平年より春が遅れ桜は四月下旬でせう。梅が花盛りになる処雪も所々残っています。二月十九日加曾利さん夫妻で尋ねて呉れました。三年振りです。いつもご無沙汰お詫び申します。この処足腰の痛で休養していま

す。若さがほしいが自然ですから仕方がありません。いづれ又敬具。

249/1998.8.12

残暑お見舞い申し上げます。永い御無沙汰幾重にもお詫び申し上げます。幾度か書簡書きはじめては破って了ったんです。（八月は高温に復たら午後からは六日間も大雷雨で風こそないが洪水でバス道路桷原地内崩れ二日位通行止でした。雷雨が終たら曇天が多、小雨よく降ります。）昨年より異常気象のためか、年が寄ためか妻の死とい事ばかりでもありません。今冬の記録的の大雪で家居が続たため運動不足が原因が二月頃より体調が悪く、発病前は妻の方が丈夫のようでした。今迄は本年は雑穀作りを続けられると思っていましたが、五六の二ヶ月どうに畑に立ちましたが、七月初旬の猛暑と変化は早く中旬から長梅雨へ低温で、すっかり具合が悪く、足腰の痛とは別に眩暈が時折あって危険ですから家静療する事でした。その頃句集校正といふか、推敲をやっと行なったのです。知の通りの浅学で素養も無い私が頭の方も老化してきたので、全く老化してくると駄目なものです。町から家に帰参してから、家督を譲り、私夫婦は扶養家族で、一切を長男に任せ米麦、養蚕はやめ、野菜と雑穀作り丈に遊びと運動兼妻が亡くとも、不足なこと心配もないのです。只非農家です。無趣味で良く働く妻で随分苦労をかけたのです。退院後昼夜付添て看護したが、だめでしたが、眠るが如く他界で、微笑しそうな安らかな死顔で、死後集た子供達もその顔を見て、満足で、仲良く協力して西原では珍しい盛大な葬儀にて妻も親のつとめの終たことで、安らかに他界できたでせう。子供達は初七日を済して（一週間集ていました）帰りました。八月のお盆は新盆で仕度も整はぬのに十日頃来客で、九月は又新彼岸で、是が済ぬと来客で混雑です。私の友人へはお知せしませんでした。遅れましたが、二年計カクでの句集、安孫子さんより見本御送り戴き、実に私には過ぎた句集です。只私は御礼の言葉もあとがきに書ず、平素の私なら、拙文が加へられたでせう。雑穀が縁の句集雪虫ですね。畑を作り、句を作るが私の信念でした。畑も捨て苦も作れず、当然人の来るべき所迄、私も来ました。日本丈けでなく雑穀の世界的な木俣さんと、三十年近い信交は不思議なことですね。皆さんが私の句と書簡を保存してあったことは驚です。私は世に出すためには作らぬ、無名人を承知でした。加曾利さんとも雑穀が縁で、二十五年でせう。三月珍しく、奥さんとはじめて来まして、八月に入り句集のこと知せましたが、在宅か旅か？お盆が過ぎたら、今度こそお便りします。寝込んで了ふのかと思ひましたが、具合良好です。敬具。

250/1998.4.1

前略。御多忙中をお繰り合わせして御来駕の程、私も楽しみにしていました。何といふ事か廿七日夕方老妻急病にて町立病院に入院させました。幸いに三日程で意識が戻り、経過良好です。大騒ぎで子供に連絡するやら、私も先達ることを覚悟でした。誠に残念で申訳なくお詫します。急激な気象の変化にも驚きました。卅一日迄は春には稀な暑でしたが今日は昼頃より雪です。丹波山へ何年振りかでせう。何処も近代化して畑は荒れます。昨年十月八年振りで車で小菅を一周しました。二時間半位で車窓で眺めた丈でした。お詫に添えて御一報迄。敬具。

251/1998.8.26

不順の夏、皆様お健やかとおよろこび申し上げます。夏の休暇、休暇明けの折、公私御多忙の期の九月四日御入来楽しみにしています。安孫子さんと御連絡とも農友であり句友の畑の傍の民宿阿知河原古家実氏宅です。八月は事多く、雷雨の洪水でバス道路寸継、八月お盆は妻の新盆で、十日より十六日迄来客有難きことでした。盆中、親類葬式二軒あり、應援を乞う。私は七月より畑を捨てました。老人は当然の時期になりました。今後は迷惑をかけぬ事のみに専念です。関東から東北は凶作の年でせうか。

252/1999.1.20

冬天や雪虫舞つつ日は沈み。光岑。十二月廿九日庭で雪虫舞いしを認む。慌しい暮れから正月だったと思いますが、皆様お元気ですか。十二月初旬だったと思ふが安孫子さんが「雪虫」の学術資料を送々もで「雪虫」はアブラ虫の一種で晩秋から初冬に飛ぶは寄生植物を探すためだといふ。害虫と知たら、なんだか詩感を狂はせたようで、雪の降ぬのを幸、庭に来るのを観察しましたが、好天気のためか、推定したより遅く迄舞ていました。次に土佐の佐藤省三さんが一月雑穀研究誌を送呈でシコクビエの根気よく研究調査には敬意を表します。第一人者でせう。私は寒いには弱いが、日中日盛は日向で独り暮も正月も無くコツコツしています。日中は独りで室内のみは退屈です。本年は男性の西原で最高齢者として拝年です。後六十日経ると暖になるでせう。いづれ又艸々。

253/1999.3.31

二月より一ヶ月越える滞在で、彼岸間近十五日に帰宅しました。アルプスを遠望の安曇野の冬を水入らずの生活で、生涯ではじめて保養でした。松本市のそばで、豊科町南穂高で、私と同じで二月暇な時期でした。三月半になると広大な山葵も花が咲きはじめ、アルプスを水源とする犀川に越冬の白鳥も鴨も三月半から北に帰ります。帰て来ても長留守で遊び疲れと運動不足で気抜が了した有様です。それに異常天気で、早いが菜種つゆとでも申しませうか。誰もが畑仕事は困っています。前略。御無沙汰してお詫申します。雑穀界は益々御忙しくとご推察します。帰てきてやっと約束のシコクビエの精粉が仕上り、御笑味が叶へられます。雑草の中から丸で縄文人の如く集たものが多いのです。石の上でなくシートの上で槌で脱穀したんです。雑穀の重要な時代が迫たと思いますが、私は体調老化で、本年も何程度実行できるか、歩行は不自由になるばかりです。四月は亡妻の一週忌で、近身者で営む予定。安曇野は広い精か鳶がよく舞ます。輪をかいて鳶が春よぶ安曇野よ。光岑。四月もう一度、御拝眉が出来ればと思いますが、昨年は都合がつきませんでした。鶯は鳴きませんが、カタクリが日向で二十六日咲いていて例年より半月も早いです。花も葉も小さいです。桜は例年廿日頃ですが、是は四五日早そうです。只今梅花成りです。取急自分の事のみ申し上げました。家の皆様のお健やかに祈り御一報迄。草々。

254/1999.7.8

前略。御疎遠になりました。慌しい時代なので、御忙殺されてと御推察します。私は二月は思いもよらず、信州安曇野に在住が私の孤独を心安して迎へに来て、四十日間程、（松本私在）南穂高に娘を暇な折りで水いらずで、生涯はじめての保養を致しました。晴れた日は白馬やアルプスの雪の姿の遠望、川の淀には鴨や白鳥が越冬にきていました。山葵田（日本一）でアルプスの水により、水が豊で稲田も広大、元芸大の教授笹村先生設計の碌山美術も近いし、幸雪も中間地帯で積らず、寒さはやや西原より寒く、海抜は西原と同一、五〇〇メートルでした。春彼岸近くに戻りました。越冬の白鳥に北帰行はじめ彼岸には帰って了う由、帰宅すると西原も前年と反対に雪の乏しい年で、家に居れば好都合でしたのに。四十日の留守は後が大変でした。五月廿二日珍しく、友人が迎に来て、留守でしたが、帰ると、（民宿）農友の古屋実さんの案内で、木俣教授の紹介と云って地上月刊（家の光りの姉妹誌）から雑穀の特集号への集材に番場友子女史が来宅して、委細を書いた手紙がありその夜電話にて懇請され、二十九日土に約束しました。当日カメラマンと午後二時来宅、二時半の集材でした。七月三日「地上」掲載誌に来ました。昨年より老化した私は全く老醜で恥ます。矢張り旧制中学程度の学が侮られます。小学卒業後只農一すぢに行きてきましたが、山村の農の手造り農人の時代逆行してきた宿命は侘しい。実は六月七日より、平素注意していましたが、五月の日照り、高温等が

障り、寝込で了って、御無沙汰になりました。一ヶ月静療している次第です。畑は鍬は置いたままです。もう何も考えず、生きている間は家の者や人に厄介をかけずにと、それのみです。幸に前の坂を下れば、支所（役場）で傍は診療所ですので、週一回金曜日には町立病院より出張で、自力でどうか、出掛けますが、雨が降らぬと庭に出て運動し、時には近くの野菜畑まで行く迄に回復しました。九月半、彼岸の頃にはと努めている次第です。追って又申し上げます。敬具。

255/2000.1.14

寒中御見舞い申し上げます。御帰国後は寒さが強く感じて思います。お体御大切に西原より帰てより長野飯山や奥群馬を雑穀深訪との由、本年の全国雑穀研究会は六合村との事、片品村も残っている様子、近くの新治村残ると聞たとがあります。北関東は奥日光あたりにも推定されます。又木曽の開田村はどうでせう（木曽馬や犬の保護区)。私は推定で秩父や西原へつながる気します。時に再びアメリカータイに及んだ御様子、御多忙と存じます。私は兄上死去で喪にて年賀は遠慮、正月明を待って年賀代り寒中伺いと知人畏友差し上げています。本年九〇才の拝年で農七十五年の鍬を捨て初の出発です。いづれ改めお伺いまで。双手あげ新千年の日を仰ぎ。光岑。

256/2000.9.6

秋に入り荒畑の竹煮艸。光岑。前略。八月の日程は御無事に終了と思います。峡北へは一度も訪づれたこともありません。韮崎は峡北では有名ですね。暑のにタイ国に行た由、御帰国なされたと、お便り致します。八月十七日は一年振りで会えるを楽しみにしていました。当日学生たちが御来宅で私の様子話されたと思いますが、少々遅れ午後一時迄でお待ちしていました。延期か通過かと存じ、野菜を仕度したので、発送や便りを書き出した折り御来宅でした。小菅泊の由なれば、短時間でした。町出身の井上典昭君は三月も尋ねて戴き顔なぢみで七月はタイ国へ行き帰国したら日本の方がむしろ暑との便りを戴きました。十七日は午後五時頃より雷雨でしたが、他分雷雨頃は鶴峠を越し、安着と思いました。本年は特別暑い夏で異常体質ですから、五月下旬の暑から今夏も体調を崩し、本年は寝込はしませんが、何も出来ず、遊びと運動を兼ね、家の廻りの草むしりやせまい庭に盆栽や草花を相手で五月近くの森かげの畑に野菜を僅か作り、時には手入れや採りに行きます。十七日以後素枯れて了う野菜を私のもう最後の野菜だろうと、子供達や友人に発送しました。御存じの農協も、診療所、支所（役場）前の坂を下った処ですから、自力で済みます。出荷農協です。吾ながら歩行が不自由ですから、杖に頼ってですから疲れます。扶養家族ですから生活は安定ですが、実に倅夫婦も共稼で忙しく、私は昼は一人です。短命の西原の男性では長老として二年座にあります。本年は珍しく、五人の子供が父の日に卒寿を祝て呉れました。生きている間は厄介をかけまいと、体の管理が私の最大の仕事なんです。是非、お暇を求め、もう一度御出掛け下さい。遅々ながら御一報迄。敬具。（急激に三日より低温で四日は富士に初冠雪とか〇着していて夜は室内二〇度です）さりげなく秋の虫の音きく夜かな。光岑。

257/2000.11.6

秋闌けて日追っつ土手の草紅花ふ。光岑。雪虫が短か日舞来て冬隣る。光岑。六日の御入来はお会い出来ず、実に残念でした。何時頃でしたか？又学生も同伴でしたか？小菅泊とすれば、時間はあったでせう。是も私の不徳の至すところでせう。天気でしたから家に近い森影の畑に菜類の間引に行き、一寸とそばの農協に立寄た時だったでせう。昨夏六月は一ヶ月ほど病床で入院はしませんで、町立病院から週に一度出張の診療所に自力で通いました。坂のすぐ下です。以来鍬は捨てましたが、秋頃より回復に向いました。暑さと寒に負

ける体質で秋と春は体調が良いのです。本年は五月下旬からの猛暑にやられ、九月中旬より元気に戻りました。涼しくなったので遅々近い畑に菜類を色々どうにか作れました。日向の畑や山村に住ながら昨年より山へは行かず、雑穀も作れず、日向の離れた畑は荒して了ました。昨年にもう終りかと覚悟したんですが。同級生五〇人（小学校）ほとんど先達て、生き残りなんです。どうした理由か、小菅・桐原より四五年短命です。今は違うが、以前は仕事も食物も同一と生活でした。私は病弱な若い時よりの体で、先に死んでも当然な男で、百姓での労働力ではとても並に働けぬ人間が、宿命でせう。農以外には何もやらず、農一すじに七十五年経ました。転業も考へてもできず、生くる為に続けた次第です。農以外に転業するには旧制中学の学力がなければ、筋肉労働よりありませんでした。生涯宿命と戦てきました。それが男性の長老として生き残たことは不思議です。働きすぎては病み、病院生活も度々でした。俳句は自分の宿命と戦うためにです。句歴五〇年、今は句友もなく、三〇年です。（眼も不自由になり、二段にして書きます。御判読して下さい。）十月は群馬六合村にて雑穀研究大会催されたですか。地図を求めて、信州飯山から六合、新治村を通し、奥只見の栗山村迄を見ました。雪の多い北関東は温泉地帯で、まだ雑穀の残る処があり、西原に似た共通の生活があるでせう。群馬と小菅西原には北関東の人達が遥に富士道者して富士へ通った道が峠道に残っています。茶屋（休息所）の跡まであります。（私は郷土史は好きでしたから分かりました）私は足腰は不自由で、歩行困難の上、転んで左腕を折り、是も不自由で、最近は視力も悪く左眼だめです。半身不随です。杖を頼りです。細字を書くには片手に拡大鏡を持てです。会って語るに代へて、いろいろ書きました。今日忙し時代で、倅夫婦は町に勤め、食事は作て戴き、他は自分の事は自分で行っています。毎日一人ぼっちです。私を尋ねて呉れる人は稀です。對話のない生活です。五月五日は安孫子さんが久し振りで尋ねて戴き、例年は十月半にも会えました。いずれ又御健在をお祈りします。取り急ぎ。

258/2000.11.24

短日やたばこ輪に吹き日を惜む。光岑。追憶の京菜漬たり小春日や。光岑。改革といふか新生せねばならぬ為か、学校ばかりでなく、会社も工場も激動の時代ですね。特に是から若い人達の使命は大ですね。随分御多忙の日程の事御推察します。本年も年末はタイ国の御様子。木俣さんはじめ、学生、加曾利さん等に又高知の佐藤さん等にタイ国を聞き身近に感じます。メコン河上流に先年赤米を尋ねた金子さん達、インドシナはいつでも田植えが出来、恐らく年に三回収穫化と推定します。◎藤村新一氏は安孫子さんの知人の様子、ねつ造事件で大変なようです。何も知らぬ、私は憤激しました。兎も角近代化といふ、山村え影響があり、活性化に取組様子、西原も森の芸術館五月開設、農村公園来三月完成とか？五月下旬から暑で体調を崩し、昨年の如く寝込はしませんが、九月半にやと菜類を作れました。日向の畑へは歩行不自由で行けず、手近の山や森の影の僅な畑を遊び運動を兼ねてです。次、留守お土産珍菓を戴き、特産物雑穀もなく。若い頃、京菜の漬物が好きで食べたのを思い出、農協種が有り作りました。四十年振りでせう。静岡では正月の雑煮欠さぬ話知ていて、今回ははじめて煮も食ています。今は西原の人達は結球白菜好みで、知る人はすくないで間引菜子供や友人にあげました。◎実は舞茸が出巻（でまった）昨年の如く送る予定でしたが、タイ国に行き留守送りました。今年も農協へ入荷遅たらと一應京菜送ります。湯で洗って漬ると四五日食せるし、煮て白菜代わりでもよいです。木俣さんのふるさとは作ているとは思います。取急ぎいづれ改めて。草々。

/2000？.12.7

慌しい時代の歳末にて特にお忙しくと存じます。御主人木俣さん、本年末も昨年の如くタイ国に教鞭を執られる由、御留守と存じますが、年内には御帰国なされるでせうか？実は本年も舞茸農協に入荷したので、御送りします。西原でも活性化のため舞茸も特産品として作り出したようで。次に、私の親友山葵買取り（集

荷業）をして居り、毎年末のみ山葵漬を造り、是は他のものより自慢できる山葵漬で、やっと出来上ったとの事、僅ですが御笑味下さい。京菜寒波でいたみましたが又加へました。度々御手紙を戴きながら、礼を欠き居りお詫び申します。私も昨年より体調老化して、特に暑に弱く、雑穀作りが出来なくなりました。昨年は夏一ヶ月は病床でした。秋はやや回復しましたが、寒にも弱く、齢の精でせう。幸い同居で、生活に心配はありませんが、山村農は崩れ、終日一人です。実に良き人ですが、朝夕食事を造ての通勤ですので、役立たずになった私は申訳無い気がします。今冬は例年より寒が半月ほど早く、寒に弱いので、難渋しています。それに拙宅は森と山影で朝日は遅く庭に日当るは十時で、二時四十分頃は日が没しますので、半分冬眠情態です。喪中の御様子、静かな正月と御推察しますが、どうぞ御無事で新世紀をお迎へ下さい。いずれご主人御帰国改めて申し上げます。敬具。追伸。私は三年喪中を重ねまして、本年は喪明けで久し振りで年賀状の仕度です。半身不随の不自由な体になりましたが、拝年も僅ですので新世紀を迎られます。一を加へ九十一才を数へ、西原の男性の長老です。食事外は介護を願はずと、体の管理が仕事です。不躾なたよりになりました。

/200ｘ.3.14

御無沙汰でした。皆様お揃にて目出度き新年をお迎られことを祝賀申し上げます。急激に時代は変化して、都会も田舎も慌しく生活も変化してきました。学界変革が多く、又、稲さえ青刈する時代望然とします。海外え講演に研習に御忙殺と存じます。御健勝をお祈りします。暖冬で桜の開花も急ぐ由ですが、西原は御承知の土地で例年並かどうか？二月節分に終日雪でしたが、翌日は珍しく暖な好日和になり、雪も二〜三日で消ましたが、その雪以来、山梨(西原)は雨も雪も降らず、彼岸眞近まで旱天続きで、日向は土ぼこり、日陰もすかり凍りも解けました。こんなに乾燥しては弱りました。私の越冬野菜は日陰なのに枯れました。彼岸頃から畑へかかりたいですが？さて、是から作る野菜類は六〜七月でないと収穫で出来ませんで、今日残ている野菜を御笑味するようお送りします。結球白菜は三月になれば、穴に入れても箱でもだめで、本年は蕪を作らず、干葉なしで代用に日陰に白菜を吊し干したのを送ります。他は私が現在も使ている京菜で水に漬て後に食べます。暮れは平年より寒が早く、雪の来ないうちから冬籠りで、現在迄何も出来ず、無事に年は迎へましたが、老化が進みました。不自由な体ですから、歩行が特に難渋しています。食事は倅達が出勤前に毎日お数沢山添一日分づつ戴きますが、毎日一人暮しで、テレビもスポーツも音楽やった事も見たことも無くだめで、生き残りは時代にも取り残され、判らない事ばかりです。老人は当然ですが、時代様式も変り、勤め人時代で連休利用で賑やか小正月もなく、雛祭りもせずです。五月安孫子さんが忙しい処を来宅したのみで、他には私を相手にする暇人はなしです。子供のために一門の人達の為に恥ずかしくないよう精一杯に生きています。今の世は皆慌く生きねばなりませんね。いずれ又西原ことを申上げます。独り居の部屋広し雛も無し。節句三月寒し。光岑。

259/2001.1.18

寒中お見舞い申し上げます。大晦日は無事御帰国なされ、みな様お揃にて拝年なれまして御多幸を祈りまして、日頃の無躾をお詫び申します。新世紀の開幕にてこの慌しい激動時代、期待に添へるよう願いたいものです。忙しいタイ国滞在だったのに、お土産頂戴致し痛入ります。厚く御礼申し上げます。本年度も改革、新設と御忙殺の御様子、本年は例年より寒は厳しので、何卒御自愛の程をお祈りします。猶展示場も添えられることなので、一度は見学致したいですが、半身不随の老化故実現は不可能であろう思います。何に分異常体質で、暑さと寒には弱く、只今は格別の寒にて森と山影にて十時に庭に日が当る家で、それ迄は戸外へ出ず、炬燵に冬眠情態です。置き炬燵のみですから、午前中室内も低温で炉辺育ちですから炉辺が恋しいで

す。年末から日照り続で寒風が毎日吹き、軒下日溜りに長居できず、特に正月三ケ日の強風は門松も吹き倒される程で、日頃の疲が寒さ故か全く人も車もまれで閑散とした正月です。風の吹く度土煙りでした。拙宅は二日迄家族が揃っていましたが、三日から各人が用事で、来客の予定もなく、例の通り独りでした。七日は曇天で夜半から雪が降り出したらしく、八日の朝初雪が二〇センチ位積もっていたのには驚きました。午前中晴れましたが、又曇て了って後の連休頃も雪は解けず、現在は再び晴天ですが、降てから十日ですが南面は消ましたが北面は根雪となり、真白で三月まで残るでせう。孤独はなれていますが、小正月（十五日）の行事は取りやめか不明で、珍らしく北面の軒には氷柱がのびます。日がさしても、凍った雪は僅かしか解ず、弱ることは洗濯場日影で洗濯に難渋です。松明けて初雪積れる仰山に。光岑。高知の農友佐藤省三さんが秋は雑穀大会に六合村に出席と知されましたので、気分好い折炬燵よりはい出し、求めた地図を拡げて地図の旅をしました。北関東は昔は恐らく山伝で二日位で行けた土地でせう。私が山伝に雲取を越し秩父迄は一日で行けました。それから一日も歩けば六合村附近迄は行けたでせう。シコクビエが残っている由です。昔が往来した気がして、積雪は多いが西原に似た生活が残っているよう思へ、六合村横に新治村や通し、奥日光の栗山附近迄、似ているように思います。温泉に恵まれた土地ですね。昔富士道者が北関東人達は富士をめざし、西原の一部や小菅村の一部にはその古道が残っています。道標代りか休憩所か石の小さな祠が私も二つ見ましたが、祠のみで中は空ですが、富士浅間を祀たと思います。私の庭で北西は小菅境の鶴峠から大佐野山が見えますが、大佐野を横に辿ると西原から登る小佐野峠になります。小佐野峠はバスの無い時代は大月猿橋への要路でした。私も此の峠道は大月猿橋に通りまして峠越えですから上野原駅へと里程同一です。二〇キロ五時間で町の方は四時間です。大佐野を行くと高原風の所あり、平で眺望が好い。富士は勿論、谷村附近迄見て昔茶屋があり権兵ヱ茶屋と呼びます。富士道者や小菅方面の人が休んだ所でせう。小佐野峠を下ると大月（七保）市で富士山麓は一日で着きます。私は郷土史に興味はありますが、先輩も同志もなく、今はですが、県の図書館へ通って調べたかったです。若い時代は戦争で特に生活追れ、自分も應召だったりで未完です。安孫子さん依り考古学知り、木俣さん依り雑穀の原産地を知り、加曾利さん世界教へて貰ったで、他に芸大の石井鶴三、笹村草家人先生と親しみ、考へると聴講生であったと思へます。話す代り長くなりました。どうにか卆寿に一を加へました。運動不足と持病の筋肉痛で益々歩行が難儀です。四月になりどの程度回復しますか？風邪は引きません。思いながら御礼遅ました。

260/2001.11.26

拝啓。勤労感謝の日も終り、天候が定まったら本格の寒になりました。九月半に教授から御多忙なされの日定は承たまはれていましたが、海外への学会研修会が多い様子でしたが、帰国なされましたか？何に分とも騒然たる時代で海外への渡航は面倒な様子にて、十月中かあるいは十一月ですか、シタラム先生のお嬢様の結婚式に参列の由で最早お済ですか？御無沙汰致して御様子判明しませんから、又例の野菜をば御奥さん宛に御送りします。京菜と結球白菜それに試作のからし菜で私の畑は森かげ、越冬はどうなるか判らないの一部採りました。越冬すれば来春花の咲きはじめを採り塩でこねて二三日置て食べる予定です。他の菜類より矢張り辛味があります。御飯へ味より春らしく感じが好きです。シタラム先生は来日の折り、忙しいのに教授の案内で拙宅へ来訪され、休息して菊の天ぷらを差し上げたら食べられた事を忘れません。そして私の雑穀の種を四種類ほど持って帰られました。この雑穀は遠い昔インド経由で渡来したものなんで、何千年振りかでインドに里帰りしたことをわたしは光栄と思っています。老化して半身不随な不自由な体ですが、日向の畑へは通へず、家の近く日かげ畑に運動と遊を兼ね野菜を作り、拙宅も非農家勤人の世になり、私の作たものは三分の一位で足ります。倅も休日には野菜（自家用）作りを日向畑で致します。私は子供達や友人に送るが楽しであり、よろこびなのです。御迷惑でも御笑味下さい。茸は不作かまだ入荷しません。宅配は坂

下の農協ですから、自力で運びます。いづれ又御手紙します。連休が明けたので。敬具。

261/2001.12.13

山茶花や師走の風にうつむいて。光岑。無事御帰国だった事およろこび申します。九月に御予定は伺ってはいました。騒然たる時代ですから心配していました。シタラム先生のお嬢さんの盛大な結婚式無事参加なされ何よりです。シタラム先生御来日の折ご案内して御訪問忘れられません。私の雑穀四種類研究に持ち帰られたことは誠に記念すべきことでした。長い間普及の微力の功績と思っています。何千年前かインド経由の種がインド迄で里帰りしたんです。インドから山岳地帯か海上から伝来は様々に渡来の経路は考へさせられます。次に、休息する暇も惜しみ北関東六合村へヒエの蒸しを見に行たとの事、私は蒸して食べた事はあります。今は昭和十九年三月類焼してより、大釜か大鍋を使へる土がま（へつり）も造でありません。現在の家は純農家造の家でなく、農家と非農家の中間の家で若ければ自分で造れます。ヒエの事は研究済でせうが、蒸して精白すれば実に味がよく、ヒエは営養も高いが、蒸さないで精白したものは営養を低いです。折があったら語り合たいですね。北関東は豪雪地帯ですが、昔は山伝に行き来したでせうから、当方と似たことが沢山あると思います。山伝に二日で行けたと思います。秩父迄一日で行きましたこともあり、小菅村と境の鶴峠の尾根路には北関東の富士の道者の古い路が残っていて、尾根の平らに夏のみか？茶屋跡もあり、ここは谷村附近まで見ます。(私は戦争下にならなかったらこの路すぢや茶屋跡の眺望調ることが出来たですが)六合村から新治村片品村奥日光の栗山村迄、一度尋ねたい処で、生活から雑穀、習慣等、似ている点があり、きっと行き来もしたでせう。縄文人から推定すれば、平易だったと信じます。この地方は温泉は多いようですが。清書しないので、ご判読下さい。視力を弱し、意慾も欠けます。この処秋野菜を支援する友人や子供に送ていて助手がないのですから、採って発送迄一人ですから、手間がかかり、それが楽しみであり、よろこびです。ネパールやブウタン地方の作物は、先年いろいろ戴き試作しましたが、皆晩生にて、失敗でした。只、ネパールのそばは七年試作してやっと秋蒔性であり、日本種より一ヶ月早く七月に作り成功しました。友人と何回か試食会を催し、出来たそばは青味があり、苦味が有り、無気味でした。小麦に三割入れたそばは薄青く味も良く、そばどころを開いたら受ると思いました。現在種はあるが、発芽はもう駄目でせう。老化の上体が不自由故栽培が続きません。〇アフリカ産のトウジンビエは試作から成功で、二年目には試食評判良かったですが、草丈が長く、網かけ艱難に依り中止、(本年はシコクビエと穂モロコシは種用を得た。来年は粟とキビを保存のため、折があったら篤士家に分譲のための種保存に尽します。）〇インドの雑穀は試作したこと無く、昨年より種子をお願いして、試作したいです。是は私の生涯の夢で、結果を知り度いのみで、試食迄は及びませんが、庭で鉢に作り、結果を農人として知りたいです。叶へられたら十二粒程分譲願いたいです。恐らく是が私の最後の試作です。いづれ雪でも来れば又申し上げます。

262/2002.1.12

寒中御見舞い申し上げます。御帰国後は寒さが強く感じて思います。お体御大切に西原より帰てより長野飯山や奥群馬を雑穀深訪との由、本年の全国雑穀研究会は六合村との事、片品村も残っている様子、近くの新治村残ると聞たとがあります。北関東は奥日光あたりにも推定されます。又木曽の開田村はどうでせう（木曽馬や犬の保護区)。私は推定で秩父や西原へつながる気します。時に再びアメリカータイに及んだ御様子、御多忙と存じます。私は兄上死去で喪にて年賀は遠慮、正月明を待って年賀代り寒中伺いと知人畏友差し上げています。本年九〇才の拝年で農七十五年の鍬を捨て初の出発です。いづれ改めお伺いまで。双手あげ新千年の日を仰ぎ。光岑。

263/2002.10.11

野沢菜の蒔き遅れ雨をきにしぬ。光岑。作り遅れの野沢菜五日作りて。思ひ違い致しました。雑穀の大会は日帰りて、上野原で会散と思っていました。当日お会いすることは不可能と、降り出しそうな空模様を雨衣を用意して畑に行き、自動車は多いが、人の気配がないで、野沢菜作りで、幸に人目つきませんが、五時頃しぐれ出し、予定通りに作れず、帰宅致致しましたら、大会準備の為、特に小菅村に他の研究施設もあり、奥多摩経輸で度々御出だった事も知り、帰宅しました。折よく思いも依ず御来訪下され、感激しました。五時頃ですから、他の方々はいづれかに御待ちと、雨衣と野良着をぬぐや、家に入らず、門にて談笑でした。時間は無し、用意し、二年か三年振りでの事で、無躾は承知で自分のことのみ申し上げ御無礼お許しください。本年は天明の飢饉に類似の気象の由で、私も七十何年かの百姓で初体験です。五～六月の低温は記録的で、冷害とでも申しますか。雨は降りますが、農協より求めし夏野菜は根づかす、腐てしいました。日照りで枯死は当然です。初体験でした。自分苗は日当たり悪い苗床ですから、初なりは求めし苗より、一〇～一五日遅れますので、ハウス栽培を毎年一部購入です。処が七～八月は記録的猛暑に急激に代り、日照四十日連日の猛暑で是又初体験で、腐た夏野菜は小さな自己苗を植替えましたが、僅の収穫で末枯れました。九月は上野原は秋祭りで特に四日より有名町の牛倉神社四日～五日続き、在郷の宮、皆お祭りになります。珍しく例年は雨期ですが本年快晴でしたが、六日より例年の如く雨期に入りました。西原は例年九月十五日で各部落が秋祭りですが、今は山村は勤め人時代で、繰り上げ繰り下げで、土日を祭日致し、最終は秋の彼岸中日です。非常に雨に縁がり、お祭りは雨日で済めばやむのです。雨の中を神輿はぬれたままで、本は子供の神輿は中止で仆は神主のみで、淋しくかつぎ急ぎました。廿二日は終日雨でしたが夜に入り珍しくやみ、良く中日は晴れました。私はお祭りも四十年位出掛けません。七～八月の四十日の連休に暑さに負けるの無理を重ねましたら、体調を崩し、不自由な体で特に足腰の間接が痛み、病床迄に至りませんが、歩行が特に難渋致しています。然し九月より雨期に入り、秋涼に入り、多少回復して、元気に戻るでせうが、段々物忘れは強く年齢でせう。ぼけ老人になり、毎日一人で時代に取り残され、御知の慌しい時代私を尋ね人も相手になる人もなく、実に都会も田舎も老人は住み憎く、墓しも急へ変化した時代になり、それは私のみでなく、老人は共通でせう。私の生き甲斐は子供は健康ですから、その孫の生育を一日も長く、知りたいがのみです。只人間は自分の欲望のみに生きず、子供や孫、又親類一門に対しも恥ずかしくなく生きたいと願っています。要に人に親切、弱い者に同情し、生きる。内は苦しくも、人に迷惑や厄介をかけず、介護をうけぬよう努めています。然今、キウリ種南瓜夕顔の種を採り、葱苗を蒔くしている。私は来春それが役立つかと思ふと心細いですね。人は長生も亦死たくもなく、宿命といふか、運命のままです。然し生る限りは遊と運動を兼ね、畑でも行き、手入れでもして、急に短日を日を惜しみます。◎次、僅ですが、雑穀の種を種を保持に今も微力を尽くして是非誰でもよく保持を願いたい。今回も稗とシコクビエの保持のため栽培を見て戴き嬉く思います。本年は小菅村の特志家所望して分譲但し以然（丹波山小菅奥多摩に）分譲したが現在種切れたかは不明、昨は農協職員同志より大月（猿橋農協へ）これは尋ねて結果不明。本年は西原の他分西原の特産品並に野菜の速売の組合員より予約がありました。このグループは退職した元気な人の集まりの組合で、五年の経過である由で、今や稗の精白に人気の様子です。幸是は台風に倒伏なしで一合位は収量の見込で、是は可成畑に栽培と推定、いづれ判明します。次に、呼名は一度聞たことなく、シコクビエと変ない草で、日当たり良い道の人に踏れる処に生え他の雑草の茂らぬ場所に生育で、思い出すと私の行った硫黄島の飛行場の端にも生育し草丈は短く横に広がり、あまり草丈は真すぐには生育せず、シコクビエより早く実が入ります。木俣教授の後輩の小林央往先生が存命なら早く送るだったでせう。京都大学在学中、拙宅の石垣に生えた雑草を木俣さんより聞て、夜行で京都から採集に来たのには敬服しました。列車は鈍行時代で、たしか昼頃来宅でした。愚妻も当時生存していたら、ただちに休息して戴き、昼食を差し上げました。小林先生は大学卒業

後、手土産を持ってわざわざお礼に来宅で、それが縁で年三〜四回の文通を交わしました。山口大農学部の作物及び農業資源学研究室に赴任だったですね。若くしてアフリカの風土病にて他界とは残念です。シコクビエ類の雑草で思い出しました。今回の雑穀研究大会は二泊三日間だったですね。盛会だったと思います。阪本寧男先生は有名人ですが、一度も面接したことはありません。大会は豊富な成果が得られたでせう。視力も気力も弱くなり、左手に拡大鏡を握り、三日ほどかかった次第、ぼけ老人で脱字や誤字が多く御許し下さい。

264/3ｘｘ.14

御無沙汰でした。皆様お揃にて目出度き新年をお迎られことを祝賀申し上げます。急激に時代は変化して、都会も田舎も慌しく生活も変化してきました。学界変革が多く、又、稲さえ青刈する時代望然とします。海外え講演に研習に御忙殺と存じます。御健勝をお祈りします。暖冬で桜の開花も急ぐ由ですが、西原は御承知の土地で例年並かどうか？二月節分に終日雪でしたが、翌日は珍しく暖な好日和になり、雪も二〜三日で消しましたが、その雪以来、山梨(西原)は雨も雪も降らず、彼岸眞近まで旱天続きで、日向は土ぼこり、日陰もすかり凍りも解けました。こんなに乾燥しては弱りました。私の越冬野菜は日陰なのに枯れました。彼岸頃から畑へかかりたいですが？さて、是から作る野菜類は六〜七月でないと収穫で出来ませんで、今日残ている野菜を御笑味するようお送りします。結球白菜は三月になれば、穴に入れても箱でもだめで、本年は蕪を作らず、干葉なしで代用に日陰に白菜を吊し干したのを送ります。他は私が現在も使ている京菜で水に漬て後に食べます。暮れは平年より寒が早く、雪の来ないうちから冬籠りで、現在迄何も出来ず、無事に年は迎へましたが、老化が進みました。不自由な体ですから、歩行が特に難渋しています。食事は倅達が出勤前に毎日お数沢山添一日分づつ戴きますが、毎日一人暮しで、テレビもスポーツも音楽やった事も見たことも無くだめで、生き残りは時代にも取り残され、判らない事ばかりです。老人は当然ですが、時代様式も変り、勤め人時代で連休利用で賑やか小正月もなく、雛祭りもせずです。五月安孫子さんが忙しい処を来宅したのみで、他には私を相手にする暇人はなしです。吾子さへ正月一人、二月八日に年賀に長女、翌九日(土)に三男が年賀来たのみです。子供のために一門の人達の為に恥ずかしくないよう精一杯に生きています。今の世は皆慌く生きねばなりませんね。いずれ又西原ことを申上げます。独り居の部屋広し雛も無し。節句三月寒し。光岑。

265/2002.5.19

若葉冷え細雨にぬれつ竹の子ほる。光岑。いつも御忙殺の木俣教授ですが海外か学校内かあるいは地方へ出掛けて居れるのか？前に日程はお聞きしたんですがのび過の筍を穫って友人や子供に送ています。もう筍は珍しくもないでせうが軟い処を早く茹でて下さい。茹でると味が落ちません。農協は土日は休業ですから、急ぎましたが、木俣さんにお便りします。例年より季節が十日―十五日先立れ追つけずです。取り急ぎ奥様へは御機嫌よう。十七日午後より本降りになりました。連休が終わったら天候が具づ付き出しました。

266/2002.9.9

目まどいに追れ西日や草をる。光岑。(目まどいは知ていますか。虻ブヨ山村特有の小さな虫で頬や手に群がり喰れば痛かゆい害虫、日盛りに群がれず、曇天や日が傾く頃) 九月の連休でせう。小菅村で雑穀研究開催の由、新学生も参加の由、日帰の御様子御多忙と存じます。小菅村には研究施設もある御様子、奥多摩経由で時には来村とか、小菅丹波山は高冷地で桧原の一部も同様で、先年、小菅丹波山奥多摩へはシコクビエの種を特志家には所望され、今も残っているかしら？本年も私の縁者が依頼されたとの事で、シコクビエ、

ヒエを西原の生家へ依頼が有り、今三月生家を通し、分譲しましたが、早いので発芽試験をして作るよう話しました。相手の氏名知ず。結果も不明で、電話より判名するでせうが、私は電話使用せず、昨年は農協職員達の依頼で、猿橋農協へ細々シコクビエの説明を附して分譲しました。作たかどう是も不明で職員に一度尋ねたが、誠実なしで不明。自分で私の処へ来る人は、結果報告有、人に依れば秋収穫した穂を持参します。農人はこんなこと毎年あるんです。変革、改革、慌しい時代です。本年は多種、雑穀を栽培、丈夫なら見学したかったが、もう老化が強まり、それは夢です。末筆になりました。記録的の七～八月でしたが、台風後夕立もあり、猛暑四十日も終りました。九月は涼しいと思ったら、又残暑で散々ですが、六日より秋の雨期ですね。皆々様お健やかを祈ります。五六月は丸で冷凍の如く、雨と脱寒に重着して暮しました。視力は衰へ、物忘は強まり、運動不足です。◎日帰の研究会、お立寄も不可能でせう。いづれお逢いする機もあるでせう。御健闘して下さい。（細字は拡大鏡片手です）

267/2002. 9. 17

しぐれけり野沢菜作れず戻りたり。光岑。降て来ませんから、雨衣はもって、堆肥を背、午後畑に行きましたが、雨が落てきましたから、戻った次第。帰宅しましたら、木俣さんと杣さんと学生と三人の来訪で感激致しました。雑穀研究会はどうも日帰らしく帰途は西原棡原を見ての由。十五日の老日の日と思っていました。五時ですから雨衣と土の野良着を脱だまま私は家にも入らず、談笑で、今日はお逢いする事は及ばないと思っていました。時間がないから何の支度もせず、お詫びします。二～三年振でお逢だったでせう。今の世で電話も使ぬ、生活ですから拙宅は土・日か朝晩のみです。御覧の通り、半身不随の体は益々老化しました。毎日一人ですが、犬が居りますが、犬は散歩したいですが、犬と散歩は出来ない、自分が一人で歩行もやっとです。犬も独り私も一人です。少年時代より病弱で、病気学校も休んだ。医者通いや入院で同級生で一番弱いのに生き残た私です。宗教家はきつ前世の罪を背負て来ただろうと云うでせう。完全な体で生れ今日の姿は実に親不孝者です。同級生が旧制中学（現高校でせう）実にうらやましかったですが、父が病気で百姓が出来ず、小学卒業から母に種を蒔て貰たら、親類は全部農家ですが、時々手伝って頂たいもの、當方又手伝にも行きました。拙宅では私が一番愚者で浅学の上、無器用者で竹細工も出来ず、百姓は並の人が 10 なら 7 です。弱い為で、それで失敗を重ながら、作物の多集穫取を続け、それに依り、農では誰にも負ぬのです。百姓は嫌ではないが、私の如き山畑では労働が無で、一頃、もっと軽る仕事を求めたが、旧制中学の資格の無い者は採用されず、何か商売を思っても視力は無し、借入てやれば経験の無い者は危険だし、一層生活の不足の借入れた方がよいと、不足は借入でした。子供の頃からスポーツは禁じられ、やっとことも見る機会もなく、音楽も同様です。ですから現在テレビでも各地の祭風景や気候自然を見ます。相撲は見ますが、今は時間が早いから、雨でも降らぬ、外です。時代に取り残され、かなに弱く、学が無から、国名か人名が新語か判断苦しみます。物忘れは強なり、ぼけ老人で、私を尋る人もまれですが、人は恋しいが世間話は知らず、慌しい時代相手をして下さる人もなし。ここ二年はお祭も物日や各種の集会にも行きません。車時代で自転車、単車、自動車ですから、付添へでも無いと事故は老人は七割はあります。判っていても動作がにぶいから、間違のもとですから。◎残念なのは、インドの雑穀の種の試作の出来ぬことで、大半はインド経由ですが、どんな結果であろう？以前、ネパール、ブウタンの種は試作しました。木俣より頂たり、登山家から貰たり、晩生で、今はやめました。アフリカのトウジンビエは一年で成効、二年目に試食、本年沢山の雑穀を作られ由、元気なら見学したかつです。本年は九月中に稗の種の所望の特志と約束しました。末筆になりました。老日日のお祝を兼ね、お土産有難御礼申し上げます。人は自分の事のみより、親類一統や子供や孫の為、世間から笑われぬよう気を使て、人眼にふれる折は、汚ない服装をしたり、人に愛されるようにしています。隣村棡原の農家に嫁し、俳句が上手です。時々句信を交します。いつ頃はじめた。私に

似ているから、血すじは恐です。ですから、私も血すじは将来に続から心得ています。自分勝手を申し上げなつかしさて承知の上でした。御皆様のお健やかを祈り。

268/2002.10.11

野沢菜の蒔き遅れ雨をきにしぬ。光岑。作り遅れの野沢菜五日作りて。思ひ違い致しました。雑穀の大会は日帰りて、上野原で会散と思っていました。当日お会いすることは不可能と、降り出しそうな空模様を雨衣を用意して畑に行き、自動車は多いが、人の気配がないで、野沢菜作りで、幸に人目つきませんが、五時頃しぐれ出し、予定通りに作れず、帰宅致致しましたら、大会準備の為、特に小菅村に他の研究施設もあり、奥多摩経輪で度々御出だった事も知り、帰宅しました。折よく思いも依ず御来訪下され、感激しました。五時頃ですから、他の方々はいづれかに御待ちと、雨衣と野良着をぬぐや、家に入らず、門にて談笑でした。時間は無し、用意し、二年か三年振りでの事で、無躾は承知で自分のことのみ申し上げ御無礼お許しください。本年は天明の飢饉に類似の気象の由で、私も七十何年かの百姓で初体験です。五～六月の低温は記録的で、冷害とでも申しますか。雨は降りますが、農協より求めし夏野菜は根づかす、腐てしいました。日照りで枯死は当然です。初体験でした。自分苗は日当たり悪い苗床ですから、初なりは求めし苗より、一〇～一五日遅れますので、ハウス栽培を毎年一部購入です。処が七～八月は記録的猛暑に急激に代り、日照四十日連日の猛暑で是又初体験で、腐た夏野菜は小さな自己苗を植替えましたが、僅の収穫で末枯れました。九月は上野原は秋祭りで特に四日より有名町の牛倉神社四日～五日続き、在郷の宮、皆お祭りになります。珍しく例年は雨期ですが本年快晴でしたが、六日より例年の如く雨期に入りました。西原は例年九月十五日で各部落が秋祭りですが、今は山村は勤め人時代で、繰り上げ繰り下げで、土日を祭日致し、最終は秋の彼岸中日です。非常に雨に縁がり、お祭りは雨日で済めばやむのです。雨の中を神輿はぬれたままで、本は子供の神輿は中止で仆は神主のみで、淋しくかつぎ急ぎました。廿二日は終日雨でしたが夜に入り珍しくやみ、良く中日は晴れました。私はお祭りも四十年位出掛けません。七～八月の四十日の連休に暑さに負けるの無理を重ねましたら、体調を崩し、不自由な体で特に足腰の間接が痛み、病床迄に至りませんが、歩行が特に難渋致しています。然し九月より雨期に入り、秋涼に入り、多少回復して、元気に戻るでせうが、段々物忘れは強く年齢でせう。ぼけ老人になり、毎日一人で時代に取り残され、御知の慌しい時代私を尋ね人も相手になる人もなく、実に都会も田舎も老人は住み憎く、墓しも急へ変化した時代になり、それは私のみでなく、老人は共通でせう。私の生き甲斐は子供は健康ですから、（孫は外三人、内が三人です）その孫の生育を一日も長く、知りたいがのみです。只人間は自分の欲望のみに生きず、子供や孫、又親類一門に対しも恥ずかしくなく生きたいと願っています。要に人に親切、弱い者に同情し、生きる。内は苦しくも、人に迷惑や厄介をかけず、介護をうけぬよう努めています。然今、キウリ種南瓜夕顔の種を採り、葱苗を蒔くしている。私は来春それが役立つかと思ふと心細いですね。人は長生も亦死たくもなく、宿命といふか、運命のままです。然し生る限りは遊と運動を兼ね、畑でも行き、手入れでもして、急に短日を日を惜しみます。◎次、僅ですが、雑穀の種を種を保持に今も微力を尽くして是非誰でもよく保持を願いたい。今回も稗とシコクビエの保持のため栽培を見て戴き嬉く思います。本年は小菅村の特志家所望して分譲但し以然（丹波山小菅奥多摩に）分譲したが現在種切れたかは不明、昨は農協職員同志より大月（猿橋農協へ）これは尋ねて結果不明。本年は西原の他分西原の特産品並に野菜の速売の組合員より予約がありました。このグループは退職した元気な人の集まりの組合で、五年の経過である由で、今や稗の精白に人気の様子です。幸是は台風に倒伏なしで一合位は収量の見込で、是は可成畑に栽培と推定、いづれ判明します。次に、呼名は一度聞たことなく、シコクビエと変ない草で、日当たり良い道の人に踏れる処に生え他の雑草の茂らぬ場所に生育で、思い出すと私の行った硫黄島の飛行場の端にも生育し草丈は短く横に広がり、あまり草丈は真すぐには生育せず、シ

コクビエより早く実が入ります。木俣教授の後輩の小林央往先生が存命なら早く送るだったでせう。京都大学在学中、拙宅の石垣に生えた雑草を木俣さんより聞て、夜行で京都から採集に来たのには敬服しました。列車は鈍行時代で、たしか昼頃来宅でした。愚妻も当時生存していたら、ただちに休息して戴き、昼食を差し上げました。小林先生は大学卒業後、手土産を持ってわざわざお礼に来宅で、それが縁で年三～四回の文通を交わしました。山口大農学部の作物及び農業資源学研究室に赴任だったですね。若くしてアフリカの風土病にて他界とは残念です。シコクビエ類の雑草で思い出しました。今回の雑穀研究大会は二泊三日間だったですね。盛会だったと思います。阪本寧男先生は有名人ですが、一度も面接したことはありません。大会は豊富な成果が得られたでせう。視力も気力も弱くなり、左手に拡大鏡を握り、三日ほどかかった次第、ぼけ老人で脱字や誤字が多く御許し下さい。

269/2002.10.22　最後の手紙か

五錠なる薬忘れず秋深し。光岑。今回の雑穀研究大会は二泊三日だった御様子、盛会だっ事でせう。一町ニケ村の雑穀委しく調べた御様子、参加者大勢だと思います。阪本先生の跡をつぎ会長に就任、ご祝賀申し上げます。是非雑穀のためご努力ください。十五日は偶然のような御来訪感激でした。五時でしたから家にも入らず勝手に自分の事のみ語った無躾お許し下さい。木俣教授とは全く不思議な巡り会ですね。もう三十年に達するでせう。日本と丈げなく世界の木俣さんです。浅学の私は考へると聴講生で何処も行ず世界の雑穀を知りました。前に申し上げたがシタラム先生が拙宅に案内され、僅かの来日だったでせうに、インドを恐らく何千年前か経由した、私の雑穀を何種類か資料に持ち帰られたことは、雑穀を保持した私の微力が是のみでも生涯の生き甲斐です。ご健勝をお祈りします。いずれ又申し上げます。艸々。私も齢でせう。ぼけ老人になり物忘れのみ多く、又本年の如き異常気象で不自由な体は不調で、歩行に難渋します。西原の長老で九二才になりました。然し人間は生くる事は、働くといふか稼ぐとうか、何かをやることが人間の務です。何も行はぬ者は死と同様でせう。本年は特産物並に季節の野菜の即売所より稗の種の予約がありました。(退職した人達で結成で五年になる由、名称知らず、交代に販売所にもつとめる由）稗の精白したものが人気ある由、他分広い畑へ作るでせう。私の見込みで一合位は収量予想です。稗は鉢でなく、地植で御覧と存じます。

270/ｘｘ.6.1

今回の雑穀研究大会は二泊三日だった様子、盛会だった事でせう。一町二ケ村の雑穀を委しく調べた様子、参加者大勢だと思います。阪本先生の跡を継ぎ会長に就任、ご祝賀が申しあげます。ぜひ雑穀のためご努力ください。十五日は偶然のような御来訪感激でした。五時でしたから家にも入らず勝手に自分のことのみ語った無躾お許し下さい。木俣教授とは全く不思議なめぐり合いですね。もう三十年に達するでせう。日本と大げなく世界の木俣さんです。浅学の私は考へると聴講生で何処にも行かず世界の雑穀を知りました。前にも申し上げたがシタラム先生が拙宅に案内され、僅かな来日だったでせうにインドを恐らく何千年か前経由した、私の雑穀を何種類か資料に持ち帰られたことは雑穀を保持した私の微力が是のみでも生涯の生き甲斐です。御健勝をお祈りします。私も齢でせう。ぼけ老人になり物忘れのみ多く、又本年の如き異常気象で不自由な体は不調で、歩行に難渋します。西原の長老で九二歳になりました。然し人間は生る事は、働くといふか稼ぐとうか、何かをやることが人間の務めです。何も行わなぬ者は死と同様でせう。本年は特産物並に季節の野菜の即売所より稗の種の予約がありました。（退職した人達で結成で五年になる由名称しらず交代に販売所にもつとめる由。）稗の精白したものが人気ある由、多分広い畑に作るでせう。私の見込で一合位は収量予想です。稗は鉢でなく地植で御覧と存じます。

271/ｘｘ.4.11
お元気ですか。春がおそいとしですね。冬はあたたかでしたのに、まださくらはとうぶんさきません。七日から雨と雪は八日一日は雪となり、一〇センチつもりました。かげにはまだまだのこっています。きのごでましたが、雪にうづめられ、だめになりました。いつもなら大きくなりさかりですが、わるいきのこを雪の中からとってきました。お送りします。生ですから、たべきれない残りは糸をとうして、つるしておくとよいですが。畑にいろいろつくたりまいたりしていましたが、雪でやすんでいます。二三日すぎるとできます。それでもうぐいすは朝来てなきます。ごきげんよう。父母さんによろしく。山のおぢさんより。

＊＊＊＊＊　宅配便に付き年代不明
272/xx.12.不明
お正月いよいよきますね。お元気ですか。ほし柿をすこしお送ります。まだすこし早いので、しぶいかもしれません。まどのところえつりさげてほして下さい。クリスマスごろはあまくなりませう。高いところには大きい柿がありますが、年がよってひくいところの小さいのです。それをとりました。暖かくなったらあそびにきて下さい。お父さんはいそがしいでせうから、お母さんときて下さい。山のおぢさん、おばさん。寒いけれど里にはまだ雪はふりません。

273/ｘｘ.1.不明
山のおぢさんより。良いお正月でしたか。今年は豊作であればと祈ります。雪が降らぬので、日中は仕事です。凶作で柿もだめです。お元気でね。寒いですね。

274/ｘｘ.3.8
拝啓。寒という中にもやっと春の気配を感じてきました。北面は雪一杯です。南面だけは雪も消えました。お子供さんお健やかですか。老人と子供は冬は大変です。一月より雪が十一回位降りました。例年の倍以上で、仕事も出来ず、雪掃きと槙割りです。いろいろお忙しい事と御推察します。正月も待っていました。三月の節句頃もお待ちして雑穀の餅をつくりました。少しお送りします。ゆでてキナコをつけて食べて下さい。雑穀は穂モロコシでコウリャンの餅性でせう。沢山入れると赤味を持ちます。いづれ又。皆々様のお健やかをお祈りします。

275/199x.12.
雑穀全国大会盛会で終了と存じます。お疲れとご推察致します。実は土佐安芸市の佐藤省三氏より、参加して大会の様子一寸知らせて呉れました。佐藤氏はシコクビエの研究家で西原に来た折に親しくなりました。私がネパールの蕎麦の種を送りました。十一月廿七日小霜有葉が少し焼けた由、収穫は十二月十日予定、南国です。次にネパールそば十二月十日試食。粉の色黄味で、こねるとねばり、出来上がったそばは青味あり茹ると日本ものよりホキホキで味や香は劣りますが、そばとして使へます。日数がかかり、信州早生より五十日は遅れる晩生ですので、収量は多のかもしれず、来年もう一度挑戦する予定。廿粒位で四年かかりやと試食しました。僅かですが粉を参考に送ります。猶、蜀黍（穂もろこし）も添へます。糯性です。折が有りましたら使って下さい。蜀黍は一夜水に浸して使用のこと。寒いと足腰が痛み杖をついて行く日もあり、只今冬耕と落葉を集堆肥づくりで、雪の来る迄つづけます。ご健闘をお祈りします。子供さん達にもよろしく、柿も野菜も不作な年です。山茶花や白菜の圧し重かりき。光岑。

276/ｘｘ
シコクビエの粉を送ります。すぐ食べなかったら、冷蔵庫にでも入れて下さい。雑穀を好む人達と食して下さい。トウモロコシ普通馬の歯と呼ぶもので、味は悪く収量多く、晩生種試食を乞ふ。(飼料用かも知れず)台風被害で復元に忙しいです。

277/ｘｘ6.1
新緑が濃くなりました。皆々様お健やかですか。異常気象で百姓はただおろおろするばかりです。それでも、ここ松蝉が鳴き、時鳥や郭公が鳴きます。雨が降らぬので、作物の生育は悪いです。平年よりまだ十日近く遅れています。次に私の関係している町の同志が出している（年四回）小誌をお送りします。筍がまだ異常で出ています。蚕は六月一日掃立（一週間遅れ）です。公私ともにお忙しいでせう。私は咳風が治り憎く弱りました。それに痛風らしく腰や手足が痛み労働力半減です。

278/ｘｘ.1.6頃か
拝啓。よき団欒のお正月をお過ごしと存じます。また実家の方へ年賀に行かれたとも思ひます。今日は松飾りをとりました。暮のうちにと思いましたが、暖冬で乾かずやっと乾きました。矢張り、異常でどうにもならぬ仕上りの乾柿少しお送り致します。食べるかどうか？百檀の床し薫りに、自らを正している私で、全く私には過分な気が致します。暖冬で日和つづき、春も正月も忘れ、冬耕を畑でつづけました。五日夜の雪八センチ、六日より休業。私の正月であり、冬籠りで暖かい日が来たら、山の南面で日中は日を楽しみ、仕事を楽しみ、春に備へ体力の調整をするつもりです。(一月十九日火午后七時 TBS テレビそこが知りたいに西原へ採録へ行た由、ご覧下さい。）追っていずれ、敬具。

279/ｘｘ4.11
お元気ですか。春がおそいとしですね。冬はあたたかでしたのに、まださくらはとうぶんさきません。七日から雨と雪は八日一日は雪となり、一〇センチつもりました。かげにはまだまだのこっています。きのごでましたが、雪にうづめられ、だめになりました。いつもなら大きくなりさかりですが、わるいきのこを雪の中からとってきました。お送りします。生ですから、たべきれない残りは糸をとうして、つるしておくとよいですが。畑にいろいろつくたりまいたりしていましたが、雪でやすんでいます。二三日すぎるとできます。それでもうぐいすは朝来てなきます。ごきげんよう。父母さんによろしく。山のおぢさんより。

謝辞

降矢静夫光岑老師の書簡のあて先は木俣美樹男（一部は家族）である。東京学芸大学に就職した翌年の1975 年 4 月 10 日に、阪本寧男老師に連れられて山梨県上野原町西原を初めて訪問した。阪本師は私にこの地で文化人類学の調査法を実地で独学せよと教唆した。これにより、以来 45 年間余り、私はこの地を山村調査の定点観測地として訪問し続けてきた。降矢師に初めてお会いしたのは、1975 年 6 月 22 日のことだったと野帳に記録している。その後、1975 年 10 月 4 日の聞き取り調査から親交が始まった。この日に、降矢師は私に次のように言った。「歴史は正史にあるのではなく、書かれていないところにある。若者が農業を捨てるのは当然で、暮らしてゆけないからである。古いものが消えるのは歴史の流れだ。これからどうなるのか、考えてほしい。」

最後の山村農人、降矢静夫光岑老師に師事したことによって、雑穀とは何か、生業とは何か、教養とは何か、人生とは何か、私の生涯にわたる課題解決に、限りない知識と深い学びの内実を与え、また支えていただいた。さらに、限りなく温かい励ましをもいただいた。感謝しきれない、親交の日々であった。加えるに、いつも対談の脇で、微笑みを絶やさずに、茶菓や食事を与えてくださった、この゙奥様にお礼を申し上げたい。

このような書簡集を農事記録として残すことを思いついたのは、先達、考古学者安孫子昭二氏の縄文土器の細部にこだわる、その同じ熱意によるものである。彼に吹き込まれた熱意がなければ、降矢師の貴重な農事記録は私のもとにとどまり、いずれ消えただろう。安孫子氏の叱咤激励に深謝したい。

関連資料

降矢静夫さんを囲む会 1998　、降矢静夫俳句集、雪虫―甲武境の村・西原に生きて。